RICOH

IPSiO SP 4010/SP 4000

ソフトウェアガイド

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書「セットアップガイド」をお読みください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1) 複製、印刷することが禁止されているもの
(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙

(関係法律)

- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- (刑法 第１４８条 第１６２条)

2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

(関係法律)

- 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3) 著作権法で保護されているもの
著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

目次

1. 印刷するための準備

2. プリンタードライバー画面と設定方法

3. いろいろな印刷

4. プリンター本体の設定

5. 機器の監視

6. プリントサーバーの準備

7. Windowsの補足情報

8. Mac OSで使う

9. UNIXで使う

10.付録

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

❖ セットアップガイド

プリンターを箱から取り出してパソコンと接続する方法、オプションの取り付けや基本的な設定と操作方法について説明しています。

❖ メンテナンスガイド

用紙に関する情報、消耗品の交換、紙づまりの対処方法、困ったときの対処方法について説明しています。

❖ ソフトウェアガイド（本書、HTML）

プリンタードライバーなどのソフトウェアのインストール方法や、ネットワーク環境で使うための設定方法、本機の各機能の説明と設定方法などの説明をしています。また、Webブラウザやユーティリティを使っての本機の状態確認や設定方法の説明をしています。

補足

❒ お使いの機種によっては、本書に記載されている機能が使用できない場合もあります。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

[ ]

画面のキーの名称を示します。

【 】

操作部のキーの名称を示します。

お使いになる前に

本書では、IPSiO SP 4010とIPSiO SP 4000の取り扱いについて説明しています。それぞれの機種で、使用できないオプションや機能は次の通りです。

IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
使用できないオプション • 100Mイーサネットボード スロット4	使用できないオプション • 拡張HDD タイプB • PS3モジュール タイプB • マルチモジュール タイプD
使用できない機能 • Web Status Monitor	使用できない機能 • 試し印刷 • 機密印刷 • スプール印刷 • E-mail通知機能 • PDFダイレクト印刷 • 本体給紙A6対応 • Web Image Monitor

1. 印刷するための準備

おすすめインストール

Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、またはWindows NT 4.0をご使用の場合、同梱のCD-ROMから簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

[おすすめインストール]ボタンをクリックすると、プリンターをネットワーク接続している場合は「プリンタードライバー」と「Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi」がインストールされ、TCP/IPポートが設定されます。プリンターをパラレル接続している場合は「プリンタードライバー」がインストールされ、LPT1ポートが設定されます。

おすすめインストールが利用できるのは、ご使用のOSがWindows 95/98/Me/2000/XPまたはWindows Server 2003の場合です。

重要

- ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、またはWindows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administratorsグループまたは PowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 [おすすめインストール] をクリックします。

[使用許諾] ダイアログが表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [次へ] をクリックします。

5 [モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。

パラレル接続の場合、[接続先] にプリンタポートが表示されているプリンターを選択します。

6 ［インストール］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされ、［導入完了］ダイアログが表示されます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

7 ［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示された場合は、Windowsを再起動してください。

8 最初の画面で［終了］をクリックし、CD-ROMを取り出します。

補足

❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。

❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

参照

本機をUSB接続で使用する場合、おすすめインストールではプリンタードライバーをインストールすることができません。USB接続で使用する場合は、P.35「USB接続」を参照してください。

パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールをすることができません。P.49「双方向通信が働かない場合」を参照して、本機とパソコン間の双方向通信を設定してください。

接続方法を確認する

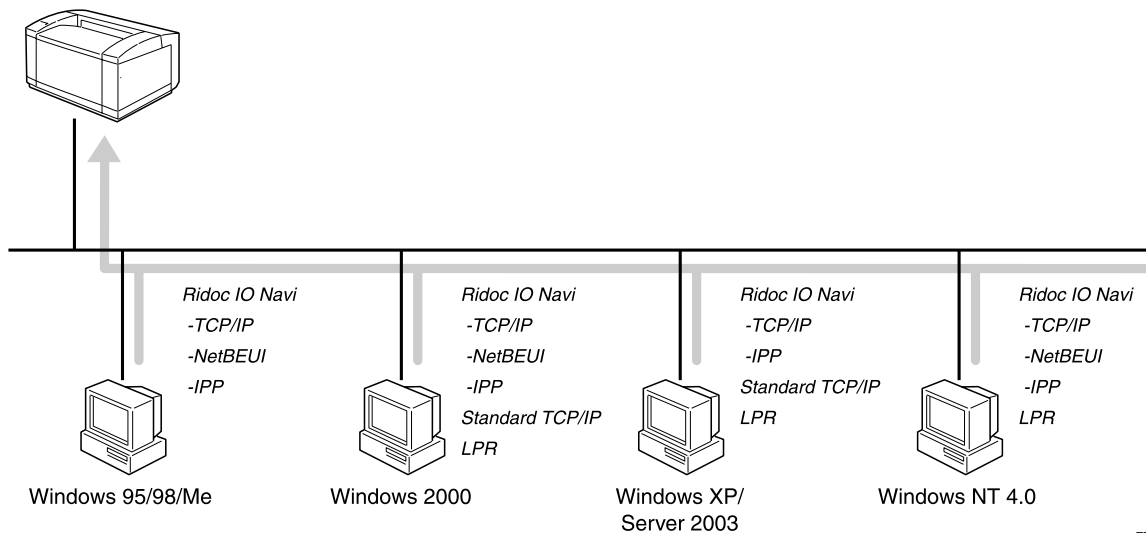
プリンターは、ネットワーク接続またはローカル接続することができます。

プリンタードライバーをインストールする前に、プリンターをどのように接続したかを確認し、ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続では、Windowsの印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷（Peer-to-Peerネットワーク）、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windowsの印刷ポートを使用する

ご使用のWindowsとインターフェースによって、使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネット、無線LANインターフェースを使用します。

重要

❒ IPSiO SP 4010では、NetBEUIのRidoc IO Naviポートを使用できません。

❖ Windows 95/98の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット/無線LAN	Ridoc IO Naviポート

❖ Windows Meの場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット/無線LAN	Ridoc IO Naviポート

1

❖ Windows 2000の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット/無線LAN	• Ridoc IO Naviポート（推奨） • Standard TCP/IPポート • LPRポート

❖ Windows XPの場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット/無線LAN	• Ridoc IO Naviポート（推奨） • Standard TCP/IPポート • LPRポート

❖ Windows Server 2003の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット/無線LAN	• Ridoc IO Naviポート（推奨） • Standard TCP/IPポート • LPRポート

❖ Windows NT 4.0の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット/無線LAN	• Ridoc IO Naviポート（推奨） • LPRポート

参照

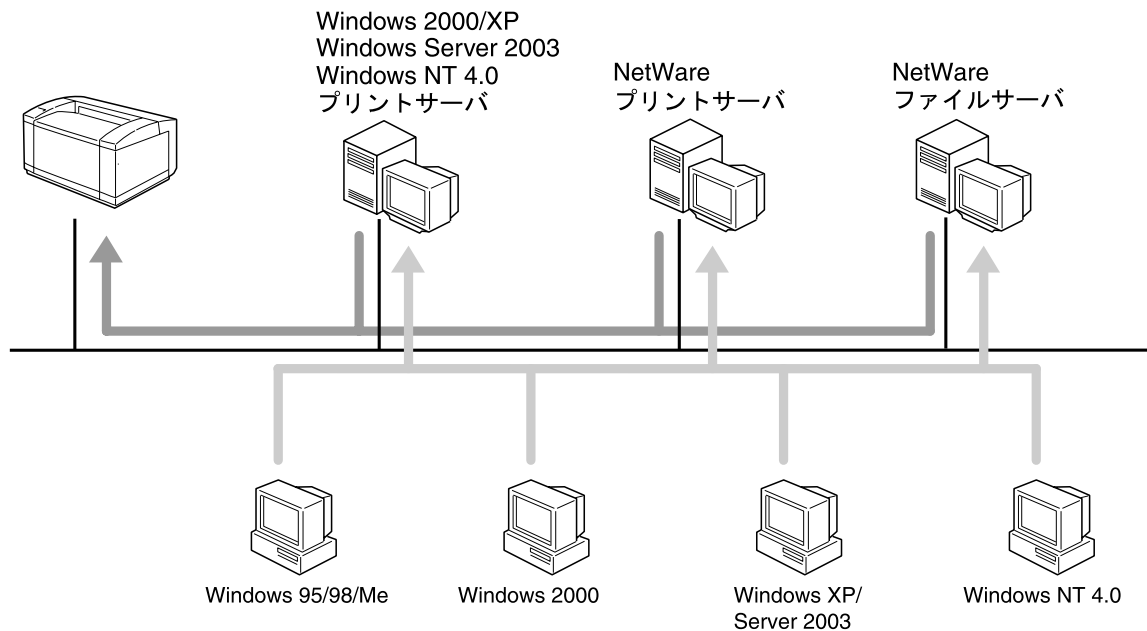
各ポートごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のポートの記載を参照してください。

Ridoc IO Naviポートを使用する場合は、P.13 「Ridoc IO Naviポートを使う」を参照してください。

Standard TCP/IPポートを使用する場合は、P.24 「Standard TCP/IPポートを使う」を参照してください。

LPRポートを使用する場合は、P.27 「LPRポートを使う」を参照してください。

プリントサーバーを使用する

Windowsネットワークプリンター、NetWareプリントサーバ、またはNetWareリモートプリンターとして使用できます。

参照

ネットワークプリンターの種類ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のネットワークプリンターの記載を参照してください。

Windowsネットワークプリンターを使用する場合は、P.29「Windowsネットワークプリンターを使う」を参照してください。

NetWareプリントサーバ・リモートプリンターを使用する場合は、P.31「NetWareプリントサーバ、リモートプリンターを使う」を参照してください。

ローカル接続

ローカル接続には、USB接続とパラレル接続があります。

ご使用のWindowsによって、使用できる接続方法が異なります。

- Windows 95の場合
  パラレル接続
- Windows 98/98 SEの場合
  パラレル接続
- Windows Meの場合
  USB接続、パラレル接続
- Windows 2000の場合
  USB接続、パラレル接続
- Windows XPの場合
  USB接続、パラレル接続
- Windows Server 2003の場合
  USB接続、パラレル接続
- Windows NT 4.0の場合
  パラレル接続

参照

接続方法ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用の接続方法の記載を確認してください。

パラレル接続の場合は、P.44 「パラレル接続」を参照してください。

USB接続の場合は、P.35 「USB接続」を参照してください。

Ridoc IO Naviポートを使う

ここではRidoc IO Naviを使用する場合の方法を説明します。

重要

- ❒ ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsグループまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ Ridoc IO Naviポートを使う場合、プリンタードライバーをインストールする前にRidoc Desk Navigator Ltをインストールします。
- ❒ Ridoc Desk Navigator Ltをインストールすると、同時にRidoc IO Naviもインストールされます。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストール

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 ［Ridoc Desk Navigator Lt］をクリックします。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストーラーが起動します。

4 ［Ridoc Desk Navigator Lt］をクリックします。

ダイアログが表示されます。内容の確認をしたあと、［はい］をクリックします。

5 Ridoc Desk Navigator Ltのセットアップ画面が表示されます。［次へ］をクリックします。

6 ［使用許諾契約］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［はい］をクリックします。

7 ユーザー名、会社名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 ［フルインストール］または［Ridoc IO Naviのみインストール］をクリックします。

1

9 表示されるメッセージに従って Ridoc IO Naviをインストールします。

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

10 [完了] をクリックします。

「Windowsの再起動」ダイアログが表示されます。Windowsを再起動してください。

補足

- ❒インストールの途中で[キャンセル]を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

プリンタードライバーのインストール（TCP/IP）

重要

- ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、またはWindows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsグループまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 ［プリンタードライバー］をクリックします。

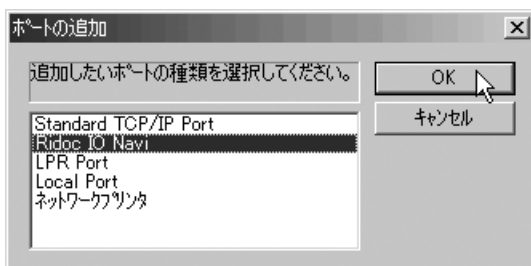
4 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

5 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

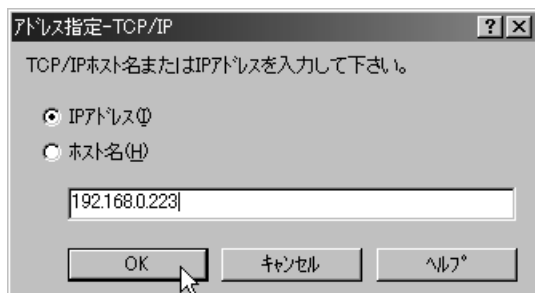
［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

8 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

9 [TCP/IP] をクリックします。

10 [機器検索] をクリックします。

TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

コンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、本機のアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

11 印刷するプリンターをクリックして選択します。

12 [OK] をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

13 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

14 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

15 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

16 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

17 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

18 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windowsを再起動してください。

補足

- ❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ❒ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

参照

「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

プリンタードライバーのインストール（NetBEUI）

重要

- ❒ ご使用のOSがWindows 2000、Windows NT 4.0の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループまたは PowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ IPSiO SP 4010では、NetBEUIのRidoc IO Naviポートを使用できません。
- ❒ Windows XPおよびWindows Server 2003はNetBEUIのRidoc IO Naviポートを作成できません。
- ❒ ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 ［プリンタードライバー］をクリックします。

4 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

5 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

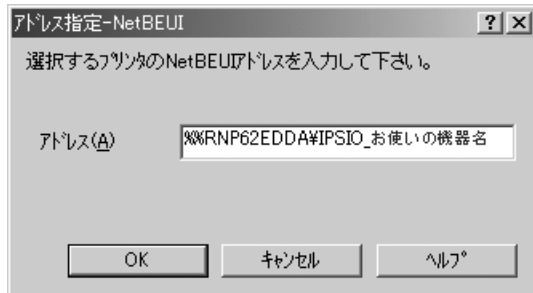
7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

8 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

9 ［NetBEUI］をクリックします。

10 ［機器検索］をクリックします。

NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

コンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

11 印刷するプリンターをクリックして選択します。

12 ［OK］をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

13 ［ポート:］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

14 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

15 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

16 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

17 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

補足

- ❒機器本体の工場出荷時の設定はプロトコルが無効になっています。Web Image Monitorまたは、telnetで有効にしてください。
- ❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

参照

プロトコルの設定方法については、P.125「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4010の場合）」、P.133「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4000の場合）」、またはP.157「telnetを使う」を参照してください。

システム設定リストの印刷方法は、P.101 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

プリンタードライバーのインストール（IPP）

重要

- ❒ご使用の OSが Windows 2000、Windows XP Professional、またはWindows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administratorsグループまたは PowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 ［プリンタードライバー］をクリックします。

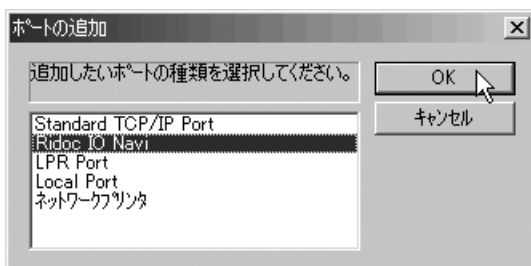
4 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

5 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

8 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

9 ［IPP］をクリックします。

［IPPの設定］ダイアログが表示されます。

10 ［プリンタのURL］に「http://（本機のアドレス）/printer」のように入力します。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機のアドレス）/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorerがインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0以降を推奨します。

［プリンタのURL］には「http://（本機のアドレス）/ipp」のように入力することもできます。

11 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、［プリンタのURL］に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

12 プロキシサーバーやIPPユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

詳しい設定項目については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

13 ［OK］をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

14 ［ポート:］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

15 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

16 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

17 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

18 ［コンポーネントの選択］ダイアログに戻り、［完了］をクリックします。

19 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

補足

❒ インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。

❒ OSの設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

参照

「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

Ridoc IO Naviポートの設定を変更する

TCP/IPのタイムアウト、代行印刷や並行印刷、プリンタグループなど、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

Windows 95/98/Meの場合

1 **［プリンタ］ウィンドウを表示します。**

2 **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［詳細］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。**

ポートの設定画面が表示されます。

Windows 2000/Windows NT 4.0の場合

1 **［プリンタ］ウィンドウを表示します。**

2 **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。**

ポートの設定画面が表示されます。

Windows XP、Windows Server 2003の場合

1 **［プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。**

2 **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［詳細］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。**

ポートの設定画面が表示されます。

補足

❒NetBEUIプロトコルには、設定項目がありません。（Windows 95/98/Me/2000/NT 4.0の場合）

❒印刷通知、代行印刷/並行印刷の設定は拡張機能設定でおこないます。設定は使用するRidoc IO Naviポートすべてに有効となります。Ridoc IO Naviを起動し、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンを右クリックして［拡張機能設定］を選択してください。

❒［代行印刷/並行印刷］はポート毎に設定できます。Ridoc IO Naviを起動し、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンを右クリックして［プロパティ］－［拡張機能設定］を選択し、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックを付けます。

❒IPPの場合、IPPユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。

参照

Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

Standard TCP/IPポートを使う

1

重要

- ❒ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。

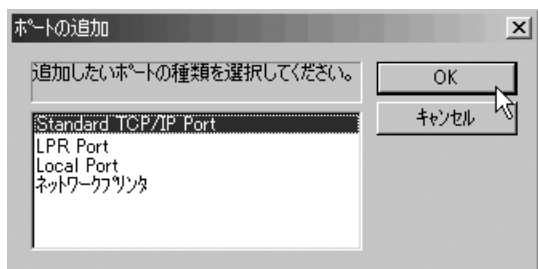
4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

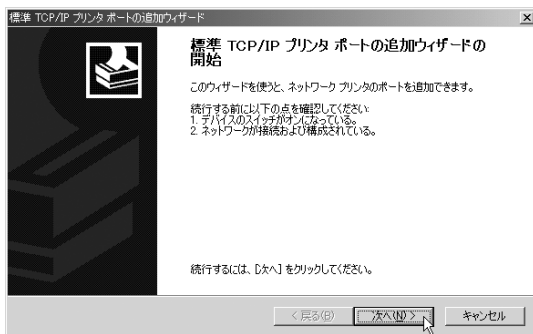
5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

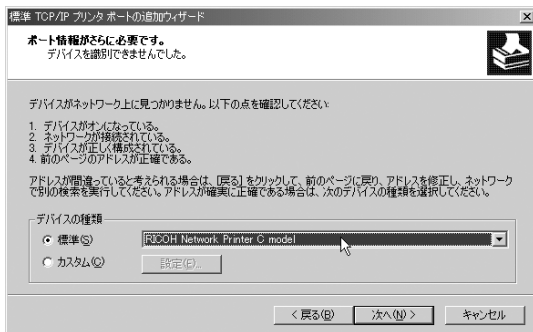
[コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。

「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、WindowsのヘルプをStandard TCP/IPの設定を参照してください。

9 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ]をクリックします。

10 [プリンタ名または IP アドレス]ボックスにプリンター名または本機のアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

[ポート名]ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

デバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「RICOH NetworkPrinter C Model」を選択してください。

11 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了]をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

12 [ポート:]に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

13 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

14 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

15 [完了]をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい]または[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

16 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示された場合は、［完了］をクリックします。

17 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windowsを再起動してください。

補足

- ❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ❒ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

参照

「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

LPRポートを使う

重要

❒ ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、またはWindows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 ［プリンタードライバー］をクリックします。

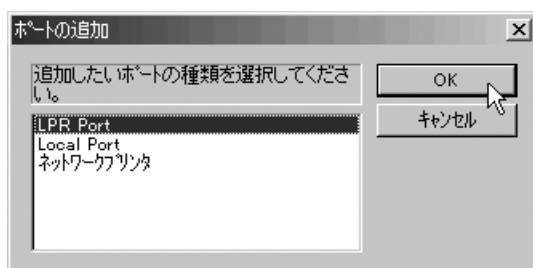
4 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

5 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

8 「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。

「LPR Port」が表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照して組み込んでください。

9 [lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、本機のアドレスを入力します。

10 [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

11 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

13 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

15 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

16 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windowsを再起動してください。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

参照

「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

Windowsネットワークプリンターを使う

Windowsネットワークプリンターを使う場合は、プリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windowsネットワーク上の共有プリンターを選択します。

1

重要

- ❒ ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- ❒ Windows XP、Windows Server 2003の共有プリンターの場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。
- ❒ 共有プリンターがWindows NT 4.0の場合は、共有プリンターに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。

4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 ［ネットワークプリンタ］を選択し、［OK］をクリックします。

9 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10 印刷するプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

11 ［ポート:］に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

13 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

15 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

補足

- ❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ❒ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

参照

「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

Windowsネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールを続けることができません。インストールをキャンセルしてから、P.203「Windowsネットワークプリンターを設定する」を参照してWindowsネットワークプリンターを設定してください。

NetWareプリントサーバ、リモートプリンターを使う

WindowsをNetWareのクライアントとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

重要

- ❒ご使用のOSがWindows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。操作例は次の条件で設定しています。

- OS：Windows 98
- NetWareのバージョン：4.1J
- ファイルサーバーの名前：CAREE
- キューの名前：R-QUEUE

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。

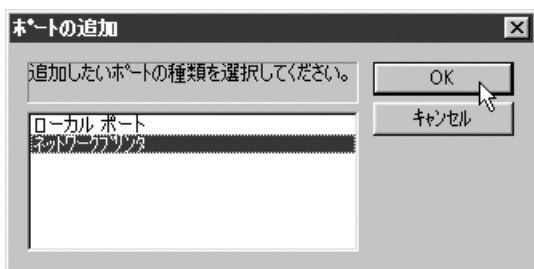
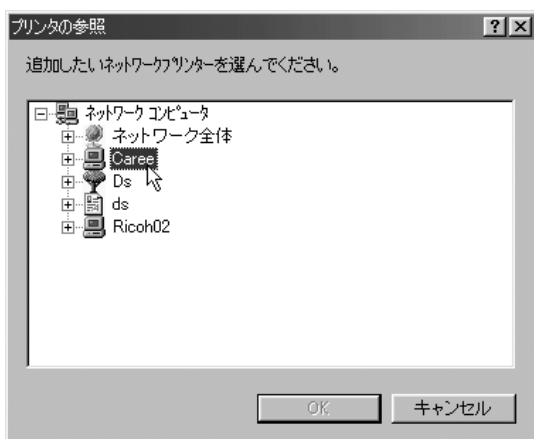
4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

6 [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 ［ネットワークプリンタ］を選択し、［OK］をクリックします。

9 ネットワークツリー上で、NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。

作成されているキューが展開されます。

10 印刷するキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

11 ［ポート:］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

13 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

14 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windowsを再起動してください。

15 再起動後、［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

16 ［プリンタ設定］タブ、または［NetWare設定］タブをクリックします。

17 ［フォームフィード］と［バナーの使用］のチェックを両方とも外します。

Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

補足

- ❒機器本体の工場出荷時の設定はプロトコルが無効になっています。操作部、Web Image Monitorまたは、telnetで有効にしてください。
- ❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

参照

プロトコルの設定方法については、本機に同梱の使用説明書、P.125「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4010の場合）」、P.133 「Webブラウザを使う （IPSiO SP 4000の場合）」、またはP.157 「telnetを使う」を参照してください。

PostScript（Windows）で印刷するとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷するときは、次の設定をします。

1 ［プリンタ］ウィンドウ、または［プリンタとFAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

2 ［PostScript］タブをクリックします。

Windows 2000/XPまたは、Windows NT 4.0をお使いの場合は、［デバイス設定］タブをクリックして、チェックを外す手順にお進みください。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［ジョブの前にCtrl+Dを送信］と［ジョブの後にCtrl+Dを送信］のチェックを両方とも外し、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックし、プロパティを閉じます。

フォームフィードの設定

NetWare上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合は、プリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで［フォームフィード］のチェックを外します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合は、プリンターのプロパティの［NetWare設定］タブで［フォームフィード］のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合は、プリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで［バナーの使用］のチェックを外します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合は、プリンターのプロパティの［NetWare設定］タブで［バナーの使用］のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30～40秒後にいったんプリントサーバーから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これはNetWareの仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバー上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

USB接続

ここでは、本機とパソコンをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

Windows MeとUSBで接続する

重要

- ❒ Windows 95/98は対応していません。Windows Meでご利用いただけます。
- ❒ Windows Meをお使いの場合は、リコーのホームページ（http://www.ricoh.co.jp/）からUSB Printing Supportをダウンロードする必要があります。

USB ケーブルを初めて使用する場合、プラグアンドプレイが働き、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 リコーのホームページ（http://www.ricoh.co.jp/）から USB Printing Supportをダウンロードして、お使いのパソコンに保存します。

リコーのホームページ（http://www.ricoh.co.jp/）からお使いの機種に該当するページを検索して、Windows Me用のUSB Printing Supportをダウンロードして保存します。

保存先は、わかりやすい場所にしてください。

3 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

4 本機の電源を入れます。

プラグアンドプレイが働き［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

7 ［検索場所の指定］にチェックを付け、［参照］をクリックします。

［フォルダの参照］ダイアログが表示されます。

8 リコーのホームページからダウンロードしたUSB Printing Supportを保存した場所を選択し、［次へ］をクリックします。

9 表示されている［ドライバのある場所］を確認し、［次へ］をクリックします。

USB Printing Supportがインストールされ、メッセージが表示されます。

10［完了］をクリックします。

ご使用の機器のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

11 続いてプリンタードライバーをインストールします。［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し、［次へ］をクリックします。

12［検索場所の指定］にチェックを付け、［参照］をクリックします。

［フォルダの参照］ダイアログが表示されます。

13 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します

オートランでインストーラーが起動しますので、［終了］をクリックしてください。

14 プリンタードライバーの場所を選択し、［次へ］をクリックします。

プリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROMドライブがD:¥の場合は「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME」です。

15 表示されている［ドライバのある場所］を確認し、［次へ］をクリックします。

プリンタの追加ウィザードが表示されます。

16［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

❒「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

❒USB Printing Supportをインストール後に別のプリンターをUSBインターフェースで接続する場合、あらためてUSB Printing Supportをインストールする必要はありません。

❒プリンタードライバーをインストールしていない場合は、USB Printing Supportのインストールに続き、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、プリンタードライバーをインストールします。

❒「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

Windows 2000とUSBで接続する

重要

- ❒ 管理者権限が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

USBケーブルを初めて使用した場合、［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示され、Windows 2000の「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、［プリンタ］フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

1 本機の電源が切れていることを確認してください。

2 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

3 本機の電源を入れます。

プラグアンドプレイが働き［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

5 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］をチェックし、［次へ］をクリックします。

6 ［場所を指定］をチェックし、［次へ］をクリックします。

7 キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【**Shift**】キーを押し続けます。

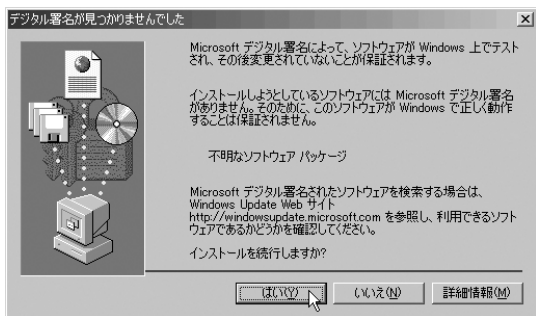
CD-ROMのオートランが起動した場合は、［キャンセル］をクリックします。

8 ［参照］をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

9 ［製造元のファイルのコピー元］にプリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします。

11 次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックします。

12［完了］をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- ❒「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ❒「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

Windows XPとUSBで接続する

重要

- ❒ 管理者権限が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

USBケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示され、Windows XPの「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ]フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

1 本機の電源が切れていることを確認してください。

2 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

3 本機の電源を入れます。

プラグアンドプレイが働き[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されます。

4 [新しいハードウェアの検出ウィザード]画面で[一覧または特定の場所からインストールする(推奨)]をチェックし、[次へ]をクリックします。

5 キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。

CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル]をクリックします。

6 [次の場所で最適のドライバを検索する]の[次の場所を含める]をチェックし、[参照]をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」(CD-ROMドライブがD:¥の場合)です。

7 プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

8 次のメッセージが表示されることがあります。その場合は[続行]をクリックします。

9 ［完了］をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- ❒「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ❒「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

Windows Server 2003とUSBで接続する

重要

- ❒ 管理者権限が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

USBケーブルを初めて使用した場合、［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示され、Windows Server 2003の「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、［プリンタ］フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

1 本機の電源が切れていることを確認してください。

2 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

3 本機の電源を入れます。

プラグアンドプレイが働き［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されます。

4 ［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面で［一覧または特定の場所からインストールする（推奨）］をチェックし、［次へ］をクリックします。

5 キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。

CD-ROMのオートランが起動した場合は、［キャンセル］をクリックします。

6 ［次の場所で最適のドライバを検索する］の［次の場所を含める］をチェックし、［参照］をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

7 プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

8 次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［続行］をクリックします。

9 ［完了］をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- ❒「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ❒「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.46「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

USB接続がうまくいかないとき

状態	対処方法
本機が自動認識されない。	本機の電源をOFFにして、ケーブルを再接続し、接続した後電源をONにしてください。
Windowsが自動的にUSB接続の設定をしてしまった。(「不明なポート」や「不明なデバイス」が表示される)	Windowsのデバイスマネージャで、不明なデバイスを［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の［！］がついたり、黄色の ［？］がついたりしています。必要なデバイスを削除しないようにご注意ください。デバイスマネージャへのアクセス方法、デバイスの削除について詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。 Windows 2000/XP、Windows Server 2003をお使いの場合、不正なデバイスはデバイスマネージャの［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に表示されます。
Windows Meから接続できない。	お使いの機種とWindows MeをUSBで接続する場合は、USB Printing Support （デバイスドライバー）が必要です。リコーのホームページ（http://www.ricoh.co.jp/）でお使いの機種のページを検索して、USB Printing Supportをダウンロードしてください。

「不明なデバイス」の削除手順

1 Windowsの［スタート］メニューから［設定］、［コントロールパネル］をクリックします。

コントロールパネル画面が表示されます。

2 ［システム］をダブルクリックします。

システムのプロパティ画面が表示されます。

3 ［ハードウェア］タブをクリックします。

4 ［デバイスマネージャ］をクリックします。

デバイスマネージャー画面が表示されます。

5 ［表示］メニューをクリックします。

メニューが表示されます。

6 ［非表示のデバイスの表示］をクリックします。

7 ［不明なデバイス］を右クリックし、［削除］をクリックします。

デバイスの削除の確認画面が表示されます。

8 ［OK］をクリックします。

9 デバイスマネージャー画面を閉じます。

システムのプロパティ画面に戻ります。

10 ［OK］をクリックします。

パラレル接続

プリンターをパラレル接続して使う場合は、プリンタードライバーを「ローカルポート」に指定してインストールします。

1

重要

❒ ご使用のOSがWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合、管理者権限が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 ［プリンタードライバー］をクリックします。

4 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

5 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

9 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

10 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

11 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

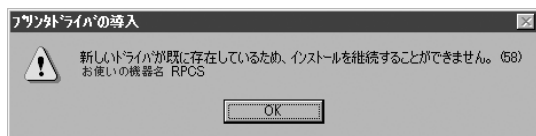
ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

補足

- ❒インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ❒OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

1

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたときの操作方法に関する説明です。

上記のような（58）のメッセージ、または（34）のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。［プリンタの追加］または［プリンタのインストール］でインストールし直してください。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3 ［プリンタの追加ウィザード］にしたがってインストールします。

プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME、¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP、または¥DRIVERS¥RPCS¥NT4になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタとFAX］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］をクリックします。

3 ［プリンタの追加ウィザード］にしたがってインストールします。

プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XPになります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

Windows XP Home Editionの場合

1 **スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

3 **［プリンタとFAX］をクリックします。**

4 **［プリンタのインストール］をクリックします。**

5 **［プリンタの追加ウィザード］にしたがってインストールします。**

プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XPになります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

オプション構成の設定

双方向通信が働いていない場合は、本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定してください。

参照

本体オプションを設定する方法は、P.49 「双方向通信が働かない場合」を参照してください。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からも本機の状態を確認することができます。双方向通信が働く条件についての説明です。

❖ ネットワーク接続の場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準TCP/IPポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷でIPアドレスをを指定して使っている （Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にアドレスを含んでいる

❖ ローカル接続の場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- 本機のパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- 本機のUSBインターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003の場合）

補足

❒Ridoc IO Naviは本機に同梱のCD-ROMからインストールしてください。

双方向通信が働かない場合

双方向通信が働かない場合は、手動で本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定します。

重要

- ❒ Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合、［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ Windows NT 4.0の場合、［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **［プリンター］ウインドウを開きます。**

2 **追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。

3 **［OK］をクリックします。**

4 **［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。**

［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 **［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。**

6 **SDRAMモジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。**

7 **［給紙トレイ設定］で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、［トレイ用紙サイズ］・［トレイ用紙セット方向］・［トレイ用紙種類］を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は［自動トレイ選択の対象にしない］にチェックを付けます。**

8 **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

［初期設定］タブをクリックして［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］をクリックすると、オプション選択の画面が表示されます。

2. プリンタードライバー画面と設定方法

2種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の2つの表示タイプがあります。

本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方について詳しくはヘルプの「プリンタードライバーのウィンドウタイプを切り替える」を参照してください。

❖ 機能別ウィンドウ

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に向いているウィンドウタイプです。

❖ ワンクリック設定

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方に向いているウィンドウタイプです。

ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。

Windows 95/98/Meの場合

Windows 95/98/Meには、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が2種類あります。

［プリンタ］ウィンドウから表示する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定できます。

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］または［情報］、［色の管理］、［共有］、［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］、［ユーティリティ］タブが表示されます。

［全般］または［情報］、［色の管理］、［共有］タブはWindows 95/98/Meが追加するタブで、Windows 95/98/Meの機能に関する設定を行います。ただし、Windows 95をお使いの場合、［色の管理］タブは表示されません。

［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］、［ユーティリティ］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションから表示する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をします。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。

[プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

ここではWindows 98に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、このダイアログで指定できます。

2 [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 2000の場合

Windows 2000には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

［プリンタ］ウィンドウから表示する（プロパティ）

2

重要

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。

［オプション構成の変更］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

［プリンタ］ウィンドウから表示する（印刷設定）

重要

- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、［ユーティリティ］タブが表示されます。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

印刷設定が表示されます。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションから表示する

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[全般]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ］タブが表示されます。

［全般］タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。

［基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質］タブには［プリンタ］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 2000に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 プリンターを選択し、［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ❒ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ❒実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003の場合

Windows XP、Windows Server 2003には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

［プリンタとFAX］ウィンドウから表示する（プロパティ）

重要

- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators またはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタとFAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、Windows XPでは［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。

Windows Server 2003では［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows XP、Windows Server 2003が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003の機能に関する設定を行います。

［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

[プリンタとFAX] ウィンドウから表示する（印刷設定）

重要

- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタとFAX] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 **タスクバーの [スタート] ボタンから、[プリンタとFAX] ウィンドウを表示します。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[印刷設定の選択] をクリックします。**

印刷設定が表示されます。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションから表示する

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ]タブが表示されます。

これらのタブには[プリンタとFAX]ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows XPに付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。

2 プリンターを選択し、[詳細設定]をクリックします。

[印刷設定]ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの[印刷]ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

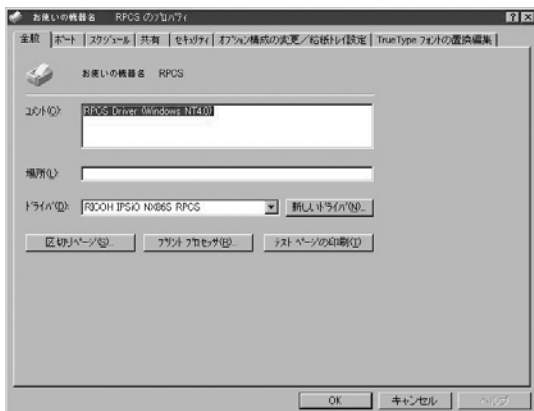
Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

［プリンタ］ウィンドウから表示する（プロパティ）

重要

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォント置換集］タブが表示されます。

［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］タブはWindows NT 4.0が追加するタブで、Windows NT 4.0の機能に関する設定を行います。

［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォント置換集］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

[プリンタ] ウィンドウから表示する（ドキュメントの既定値）

重要

- ❒ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタ] ウィンドウからドキュメントの規定値を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [ドキュメントの既定値] をクリックします。**

ドキュメントの既定値が表示されます。

補足

- ❒ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションから表示する

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ]タブが表示されます。

[プリンタ]ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows NT 4.0に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。**

[印刷]ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 **[プロパティ]をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。

❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

❒ アプリケーションの[印刷]ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

参照

設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

PDFファイルを直接印刷する

PDFファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDFファイルを本機に直接送信して印刷することができます。

重要

- ❒ この機能は、IPSiO SP 4010でオプションのPS3拡張エミュレーションカード、またはPDFダイレクトプリントカードを装着しているときに使用できます。
- ❒ Adobe純正のPDFのみ可能です。
- ❒ 対応しているPDFファイルのバージョンは、1.3、1.4、1.5です。
- ❒ PDFバージョン1.4の固有機能であるTransparencyを使用したPDFファイルは印刷できない場合があります。
- ❒ PDFバージョン1.5の固有機能であるCrypt Filter、16bitイメージには対応していません。
- ❒ PDFバージョン1.6の固有機能を使用していないPDFファイルは印刷できます。
- ❒ 当社の複合機のスキャナー機能で作成されたクリアライトPDFは印刷できない場合があります。

補足

- ❒ 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、用紙サイズエラーが発生することがあります。

Ridoc Desk Navigator Ltを使用する

個人文書管理ソフトRidoc Desk Navigator LtにPDFファイルを登録し、PDFファイルを直接本機に送って印刷することができます。

PDFダイレクトプリントの印刷条件は、PDFダイレクトプリントのプロパティで設定できます。

重要

- ❒ RPCSプリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- ❒ Ridoc Desk Navigator Ltをご使用の場合は、Portの設定をしてからご使用ください。

補足

- ❒ Ridoc Desk Navigator Ltがインストールされていると、プリンタードライバーがインストールされていない場合でも印刷することができます。

参照

操作方法の詳細は、Ridoc Desk Navigator Ltのヘルプを参照してください。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストールについては、P.64「Ridoc Desk Navigator Ltのインストール」を参照してください。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストール

Ridoc Desk Navigator Ltのインストール方法は次のとおりです。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3 [Ridoc Desk Navigator Lt] をクリックします。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストーラーが起動します。

4 [Ridoc Desk Navigator Lt] ダイアログが表示されたら、[Ridoc Desk Navigator Lt] をクリックします。

確認の画面が表示されます。

5 [はい] をクリックします。

6 表示されるメッセージに従ってRidoc Desk Navigator Ltをインストールします。

インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

7 [完了] をクリックします。

8 [セットアップ終了] をクリックします。

「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windowsを再起動してください。

Ridoc Desk Navigator Ltの機能拡張について

ここではPDFファイルを直接印刷するために必要なRidoc Desk Navigator Ltの機能拡張手順について説明します。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プログラム］、［RICOH Ridoc DeskNavigator］、［機能拡張ウィザード］をクリックします。

機能拡張ウィザード画面が表示されます。

2 ［簡単設定］または［全機能設定］を選んで［設定の開始］をクリックし、「印刷機能の設定 2」画面が表示されるまで［次へ］をクリックします。

3 ［印刷機能の設定 2］画面で、［追加 ...］をクリックします。

PDFダイレクトプリントのプロパティが表示されます。

4 プリンタ名を選んでから［OK］をクリックし、［完了］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

5 ［完了］をクリックします。

6 ［機能拡張ウィザードの終了］ダイアログが表示されます。

［OK］をクリックします。

3

Ridoc Function パレットについて

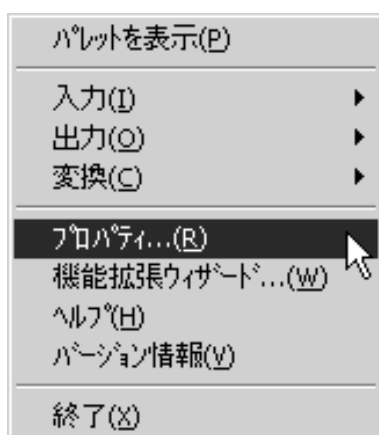
あらかじめRidoc Desk Navigator Ltの機能拡張で設定した機能がRidoc Function パレットにボタンで表示され、Ridoc Desk Navigator Ltを起動することなく、Windowsファイルの印刷や印刷プレビューなどができます。また、これらの機能はパレットのボタンに対象ファイルをドラッグ&ドロップするだけで使用することもできます。

弊社の複合機を含むネットワーク上では、本機のみでは使用できない機能のアイコンを同じパレットに表示させてご使用いただけます。

1. スキャン（本機のみの環境では使用できません）
2. 印刷
3. メール送信（本機のみの環境では使用できません）
4. ファクス送信（本機のみの環境では使用できません）
5. Job Binder保存（本機のみの環境では使用できません）
6. PDFダイレクトプリント
7. 画像変換

1 Windowsの［スタート］メニューから［プログラム］、［RICOH Ridoc DeskNavigator］、［Ridoc Function パレット］をクリックします。

右下のタスクトレイに、Ridoc Function パレットのアイコンが追加されます。

2 タスクトレイに表示されたアイコンを右クリックし、［プロパティ ...］をクリックします。

プロパティ画面が表示されます。

3 ［構成］タブをクリックし、中央に表示されるボックスから［PDFダイレトプリント］のチェックボックスにチェックして、［OK］をクリックします。

プロパティ画面が終了し、パレットにPDFダイレクトプリントのアイコンが追加されます。

PDFダイレクト印刷について

ここではPDFファイルの直接印刷の方法について説明します。

1 印刷したいPDFファイルを、パレットのPDFダイレクトプリントのアイコンにドラック&ドロップします。

出力ファイル一覧画面が表示されます。

2 出力したいPDFファイルを選択し、反転させて［OK］をクリックします。

PDFファイルが印刷されます。

PDFパスワード文書を印刷する

ここではパスワードで保護されたPDFファイルを印刷する場合の手順を説明します。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プログラム］、［RICOH Ridoc Desk Navigator］、［機能拡張ウィザード］をクリックします。

機能拡張ウィザード画面が表示されます。

2 ［設定の開始］をクリックし、［印刷機能の設定 2］画面が表示されるまで［次へ］をクリックします。

3 ［印刷機能の設定 2］の画面で、［プロパティ］をクリックします。

PDFダイレクトプリントのプロパティが表示されます。

4 画面右下の［PDFパスワードを使用する］のチェックボックスにチェックし、［OK］をクリックします。

5 ［完了］が表示されるまで、［次へ］をクリックします。

6 ［完了］をクリックします。

7 ［機能拡張ウィザードの終了］ダイアログが表示されます。

［OK］をクリックします。

8 印刷したいPDFファイルを、パレットのPDFダイレクトプリントのアイコンにドラック＆ドロップします。

出力ファイル一覧画面が表示されます。

9 出力したいPDFファイルを選択して反転表示させ、［OK］をクリックします。

PDFダイレクトプリントのプロパティ画面が表示されます。

10 右下の［PDFパスワード］に印刷したいPDFのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードで保護されたPDFファイルが印刷されます。

補足

❒ パスワードが設定されているPDFファイルを印刷する場合、次の2つの設定のいずれかが必要です。

- PDFダイレクトプリントのプロパティでPDFパスワードを入力します。
- 本機の［PDF設定］メニューから、［PDFパスワード変更］でPDFパスワードを設定します。

❒ Ridoc Desk Navigator Lt、または本機の［PDF設定］メニューの［PDFグループパスワード］でグループパスワードを設定している場合は、もう一方にも同様のグループパスワードを設定する必要があります。

PDFダイレクトプリントのプロパティについて

AQU702S

1. **設定名**
プラグインの設定名を表示します(半角英数字63文字までです)。

2. **アイコン変更**
ツールバーに表示されるアイコンを変更できます。

3. **プリンタ名**
PDFダイレクトプリントに対応したRPCSドライバー一覧が表示されます。

4. **両面**
両面印刷をする場合は、ここで指定します。

5. **集約**
集約印刷する場合は、ここで指定します。

6. **パンチ**
出力した用紙にパンチする場合は、ここで指定します。

7. **ステープル**
出力した用紙にステープルする場合は、ここで指定します。

8. **印刷時にこの画面を表示する**
チェックをつけた場合は、PDFダイレクト印刷時にこの画面が表示されます。

9. **原稿の向き**
印刷する原稿の向きを指定します。

10. **印刷部数**
印刷部数を指定します。

11. **ソート**
ソート印刷をする場合は、ここで指定します。

12. **ページ範囲**
印刷する範囲をページ指定します。

13. **印刷用紙サイズ**
印刷する用紙のサイズを選択します。

14. **解像度**
印刷の解像度を選択します。

15. **PDFパスワード**
PDFファイルがパスワードで保護されている場合は、ここにパスワードを入力します。パスワードを入力しないと、印刷できません。

16. **グループパスワード**
Ridoc Desk Navigator Ltと本機にグループパスワードが設定されている場合は、ここにグループパスワードを入力します。グループパスワードを入力しないと、印刷できません。

コマンドを使用する

UNIXから、ftp、lprなどのコマンドを使用して、PDFファイルを直接印刷できます。

参照

コマンドを使用した印刷については、P.225 「Windowsからのファイル直接印刷」を参照してください。

UNIXでコマンドを使用した印刷については、P.228 「印刷方法」を参照してください。

試し印刷する

複数部数を印刷する場合などに、最初に1部だけ印刷を行い、その結果を確認した後に操作部、またはWeb Image Monitorを使用して残り部数を印刷することができます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防ぐことができます。

重要

❒ この機能は、IPSiO SP 4010でオプションの拡張HDDを装着しているときに使用できます。

❒ 以下の場合、文書は拡張HDDに蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。

- 試し印刷と機密印刷の文書が、拡張HDDに合計して30ジョブ蓄積されているときに送信された31番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります）
- 1文書あたり1,000ページを超える文書を送信した場合
- 送信した文書が、拡張HDDに蓄積されている文書の総ページ数と合わせて1,100ページを超える場合（印刷データによっては、このページ数よりも少なくなることがあります）

❒ 電源を切ると蓄積文書が消去されます。

❒ Web Image Monitorから印刷を実行または削除した試し印刷ジョブは、操作部には表示されません。

❒ 操作部に表示されている試し印刷ジョブをWeb Image Monitorで印刷を実行または削除すると、操作部には表示されますが、試し印刷の実行と削除はできません。

補足

❒ オプションの拡張HDDが必要です。

❒ 蓄積した試し印刷のジョブは、ユーザーIDと印刷要求を出した時間で識別することができます。

❒ 2部目以降を印刷しない場合は、蓄積した試し印刷ジョブを操作部またはWeb Image Monitorから削除してください。

❒ 2部目以降の印刷を実行すると、蓄積した試し印刷ジョブは自動的に削除されます。

❒ 以下の手順は、RPCSプリンタードライバーを使用した場合の説明です。PostScript 3プリンタードライバーを使用した場合の説明については、使用説明書＜PostScript 3編＞を参照してください。

参照

プリンタードライバーの詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

試し印刷の実行、および蓄積した試し印刷ジョブの削除は、Web Image Monitorからも実行することができます。詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

1部目を印刷する

1 プリンタードライバーのプロパティの［基本］タブで、試し印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷機能］タブをクリックします。

2 ［印刷方法］のドロップダウンメニューから［試し印刷］を選択します。

3 ［初期設定］タブの［ユーザーID］ボックスにユーザーIDを半角英数字8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［初期設定］ダイアログで設定します。

4 印刷の指示をします。

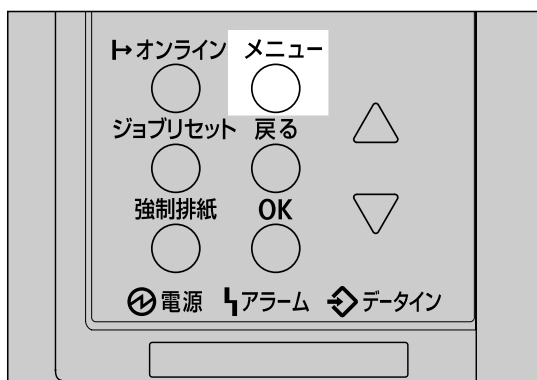
1部目が印刷され、拡張HDDに文書が蓄積されます。

5 印刷結果を確認し、操作部から2部目以降を印刷するか削除するかを指示します。

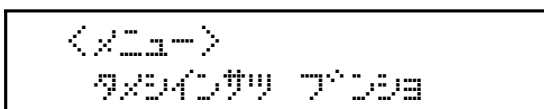
参照

2部目以降を印刷する場合は、P.72 「2部目以降を印刷する」を参照してください。
文書を削除する場合は、P.73 「文書を消去する」を参照してください。

2部目以降を印刷する

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

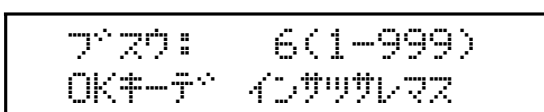
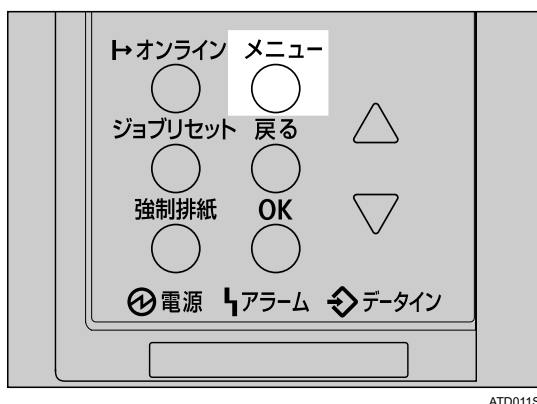
<ﾒﾆｭｰ>
ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

4 「1.インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

残りの印刷部数が表示されます。

印刷をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

5 【OK】キーを押します。印刷部数を変更する場合は【▲】または【▼】キーを使用して、部数を設定してから【OK】キーを押します。

ﾌﾞｽｳ: 6(1-999)
OKｷｰﾃﾞ ｲﾝｻﾂｻﾚﾏｽ

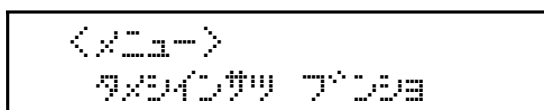
文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

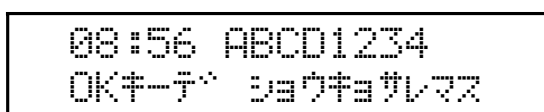
```
<メニュー>
 タメシインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

4 【▲】または【▼】キーを使用して、「2.ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

消去をキャンセルする場合は**【戻る】**キーを押します。

5 文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
08:56 ABCD1234
OKキーデ ショウキョサレマス
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

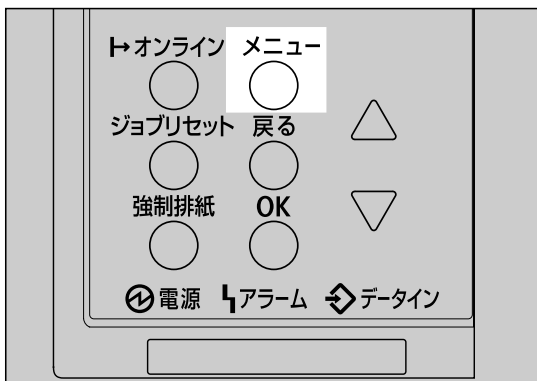
6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

エラー履歴を確認する

文書が拡張HDDに蓄積できなかった場合は履歴が残り、操作部で確認することができます。

重要

❒ エラー履歴に表示されるのは、機密文書と合わせて最新の30件です。また本機の電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

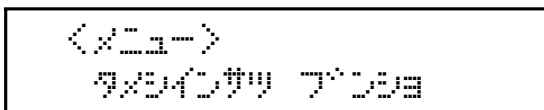
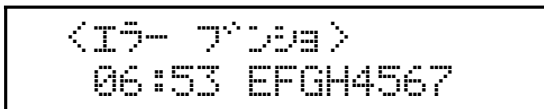
2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
〈メニュー〉
 タメシインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

4 【▲】または【▼】キーを使用して、履歴を確認します。

```
〈エラー ブンショ〉
 06:53 EFGH4567
```

エラーになった文書を印刷するには、拡張 HDD に蓄積されている文書を印刷するか削除してから、パソコンから印刷の指示をし直してください。

5 履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

機密印刷する

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文章を印刷するときなどに有効な機能です。いったん本機の拡張HDDにデータを蓄積し、操作部またはWeb Image Monitorを使用して蓄積したデータを印刷することができます。機密印刷を使うと、本機の操作部またはWeb Image Monitorからパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。

重要

- ❒ この機能は、IPSiO SP 4010でオプションの拡張HDDを装着しているときに使用できます。
- ❒ 以下の場合、文書は拡張HDDに蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
  - 機密印刷と試し印刷の文書が、拡張HDDに合計して30ジョブ蓄積されているときに送信された31番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります）
  - 1文書あたり1,000ページを超える文書を送信した場合
  - 送信した文書が、拡張HDDに蓄積されている文書の総ページ数と合わせて1,100ページを超える場合（印刷データによっては、このページ数よりも少なくなることがあります）
- ❒ 電源を切ると蓄積文書が消去されます。
- ❒ Web Image Monitorから印刷を実行または削除した機密印刷ジョブは、操作部には表示されません。
- ❒ 操作部に表示されている機密印刷ジョブをWeb Image Monitorで印刷を実行または削除すると、操作部には表示されますが、機密印刷の実行と削除はできません。

補足

- ❒ オプションの拡張HDDが必要です。
- ❒ 蓄積した機密印刷のジョブは、ユーザーIDと印刷要求を出した時間で識別することができます。
- ❒ 機密印刷を実行すると、蓄積された機密印刷ジョブは自動的に削除されます。
- ❒ 以下の手順は、RPCSプリンタードライバーを使用した場合の説明です。

参照

PostScript 3プリンタードライバーを使用した場合の説明については、使用説明書＜PostScript 3編＞を参照してください。

機密印刷および蓄積した機密印刷ジョブの削除は、Web Image Monitorからも実行することができます。詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

プリンターに文書データを送る

1 プリンタードライバーのプロパティの［基本］タブで、機密印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷機能］タブをクリックします。

2 ［印刷方法］のドロップダウンメニューから［機密印刷］を選択します。

3 ［初期設定］タブの［ユーザーID］ボックスにユーザーIDを半角英数字8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［初期設定］ボタンをクリックし、［初期設定］ダイアログで設定します。

4 ［基本］タブの［印刷方法の詳細］ボタンをクリックし、［印刷方法の詳細］ダイアログでパスワードを半角数字4〜8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷方法の詳細］ボタンをクリックし、［印刷方法の詳細］ダイアログでパスワードを半角数字4〜8文字以内で入力します。

IPSiO SP 4000では、パスワードを半角数字4文字以内で入力します。

5 印刷の指示をします。

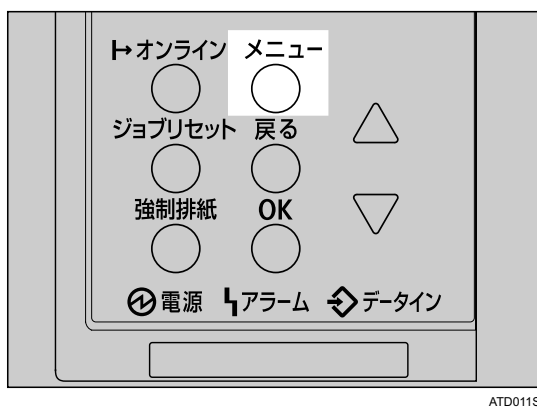
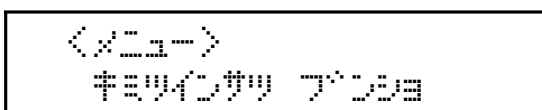
文書が拡張HDDに蓄積されます。

6 操作部でパスワードを入力し、印刷するか削除するかを指示します。

参照

操作部を使って印刷する場合は、P.77 「操作部を使って印刷する」を参照してください。
文書を削除する場合は、P.78 「文書を消去する」を参照してください。

操作部を使って印刷する

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ
```

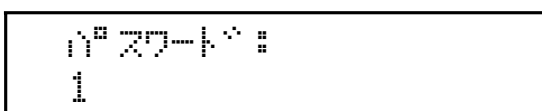
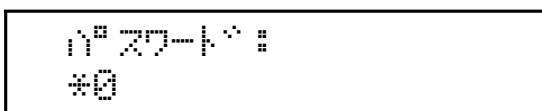
蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

4 パスワードを入力します。【▲】または【▼】キーを使用して、設定したパスワードの1桁目を表示させ、【OK】キーを押します。

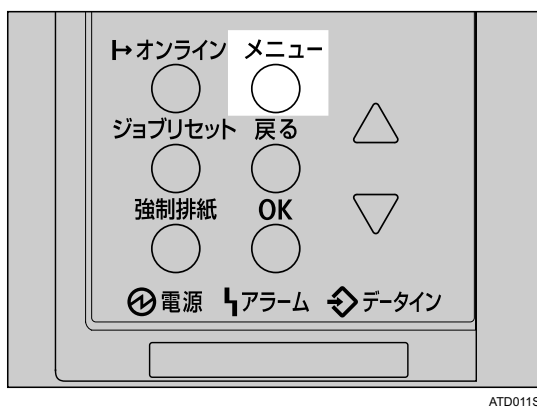
```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
1
```

5 カーソルが次の桁に移動します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
*0
```

6 同様にすべての桁を設定し、【OK】キーを押します。

7 「1.インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

印刷をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

8 【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKｷｰﾃﾞ ｲﾝｻﾂｻﾚﾏｽ
```

文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;ﾒﾆｭｰ&gt;
 ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ
```

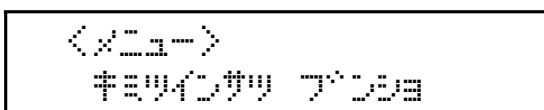
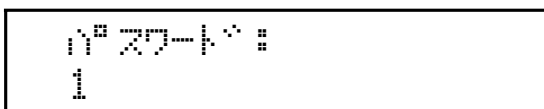
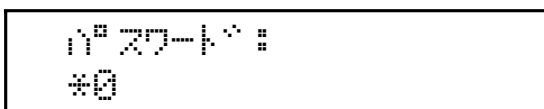
蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

4 パスワードを入力します。【▲】または【▼】キーを使用して、設定したパスワードの1桁目を表示させ、【OK】キーを押します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
1
```

5 カーソルが次の位に移動します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
*0
```

6 同様にすべての桁を設定し、【OK】キーを押します。

選択文書メニューが表示されます。

7 【▲】または【▼】キーを使用して、「2.ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

消去をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

8 消去する文書を確認し、【OK】キーを押します。

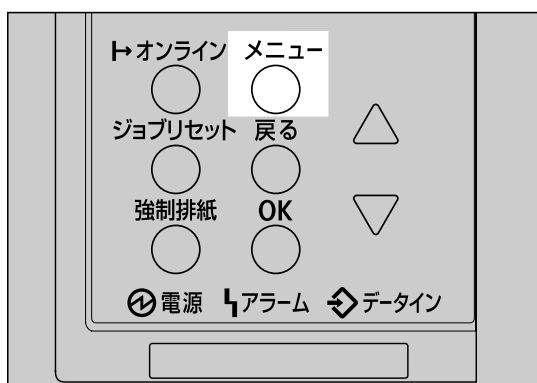
```
07:36 DCBA4321
OKｷｰﾃﾞ ｼｮｳｷｮｻﾚﾏｽ
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

エラー履歴を確認する

文書が拡張HDDに蓄積されなかった場合は履歴が残り、操作部で確認することができます。

重要

❒エラー履歴に表示されるのは、試し印刷と合わせて最新の30件です。また本機の電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 **操作部の【メニュー】キーを押します。**

メニュー画面が表示されます。

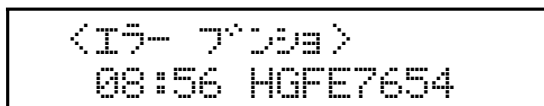
2 **【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<メニュー>
 キミツインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 **【▲】または【▼】キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

4 **【▲】または【▼】キーを使用して、履歴を確認します。**

```
<エラー ブンショ>
 08:56 HGFE7654
```

エラー印刷になった文書を印刷するには、拡張HDDに蓄積されている文書を印刷するか削除してから、パソコンから印刷の指示をし直してください。

5 **履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。**

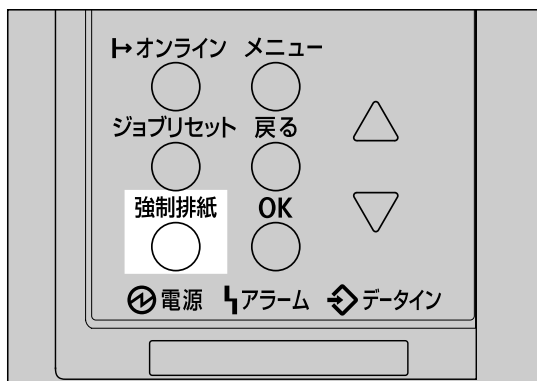
機密印刷文書の選択画面に戻ります。

6 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

印刷中に給紙トレイを指定しなおす（強制印刷）

印刷時にプリンタードライバーで指定した用紙サイズ、用紙種類に合致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったとき、操作部に、トレイ選択のメッセージが表示されます。このとき、トレイを選択して無条件に印刷することができます。

1 **【強制排紙】キーを押します。**

使用可能な給紙トレイが操作部のディスプレイに表示されます。

2 **給紙トレイを選択します。**

【強制排紙】キーを押すと使用可能な給紙トレイが切り替わります。

3 **【OK】キーを押します。**

確認のメッセージが表示されます。

4 **【OK】キーを押します。**

選択したトレイから印刷が実行されます。

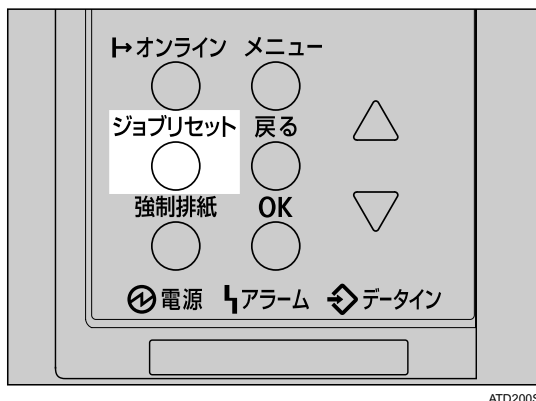
印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

重要

- 複数のコンピュータでプリンターを共有している場合は、他のコンピュータからのジョブを誤ってキャンセルしないように注意してください。

中止したいデータが印刷されているとき

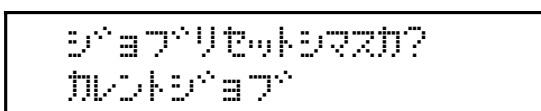
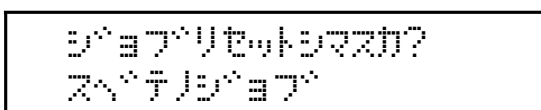
1 オンラインランプが点灯していることを確認し、【ジョブリセット】キーを押します。

操作部のディスプレイに「ジョブリセットシマスカ？」と表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。

印刷中のジョブだけを中止する場合：

```
ジョブリセットシマスカ?
カレントジョブ
```

すべてのジョブを中止する場合：

```
ジョブリセットシマスカ?
スベテノジョブ
```

印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して【OK】キーを押します。

3 【OK】キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

【OK】キーを押さずに【戻る】キーを押すと、印刷は継続されます。

4 【OK】キーを押します。

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

補足

❒IPSiO SP 4000の場合、【ジョブリセット】キーを押すと操作部のディスプレイに「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

❒容量の大きなデータは、印刷の中止が完了するまでに時間がかかることがあります。

❒印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

1 Windowsのタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

2 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

3 ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

❒［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［すべてのドキュメントの取り消し］を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。

❒選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

印刷時の注意

ソートについて

会議資料など複数部数の印刷をする場合などにページ順に仕分けして印刷する機能を「ソート」といいます。

重要

- ❒ ソート印刷を行うには、SDRAMモジュールを増設するか拡張HDDを取り付ける必要があります。
- ❒ IPSiO SP 4010でソート印刷を行うには、256MBの搭載メモリーまたは拡張HDDが必要です。
- ❒ IPSiO SP 4000でソート印刷を行うには、96MB以上の搭載メモリーが必要です。
- ❒ 拡張HDDはIPSiO SP 4010のみのオプションです。

❖ ソート可能なページ数

IPSiO SP 4010の場合：

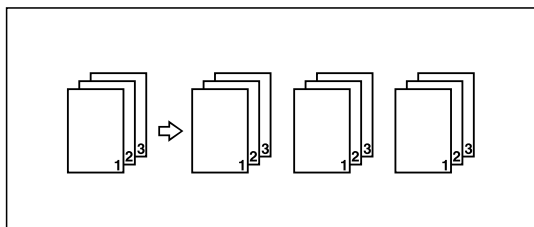
搭載メモリー /拡張HDD	ページ数
256MB	約150ページ
拡張HDDの装着時	約1,000ページ

IPSiO SP 4000の場合：

搭載メモリー	ページ数
96MB（64MB増設）	約200ページ
160MB（128MB増設）	約400ページ
288MB（256MB増設）	約1,000ページ

「ページ数」は、A4、5%チャート、600dpiで連続印刷をした場合の目安です。

❖ ソート

1部ずつそろえて印刷します。

参照

詳しい印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

重要

- ❒ スプール印刷は、IPSiO SP 4010でオプションの拡張HDDを装着しているときに使用できます。拡張HDDが装着されていないと、操作部のディスプレイに表示される「システム設定メニュー」にスプール印刷は表示されません。
- ❒ lpr、ipp、BMLinkS以外で受信したデータは、スプール印刷できません。
- ❒ 最大150ジョブまでスプールできます。
- ❒ スプール印刷のために確保される領域の容量は約1GBです。
- ❒ 一つのジョブの最大容量は、約500MBです。
- ❒ 同時に受け付けられるジョブ数は、次の通りです。
  - lpr：10
  - ipp：1
  - BMLinkS：5
- ❒ スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。
- ❒ 工場出荷時の設定ではスプール印刷中に本機やパソコンの電源を切るとスプールジョブが本機内に残り、繰り返し印刷されます。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。この設定は、telnetの「spoolsw clear job」で変更することができます。詳しくは、P.177 「spoolsw」を参照してください。

補足

- ❒ スプール印刷をすると、1ページ目の印刷開始は通常の印刷より遅くなります。
- ❒ スプール印刷をすると、大容量のデータの時、パソコンが早く印刷処理から開放されます。
- ❒ 本機に蓄積されたスプールジョブはWeb Image Monitorから閲覧・削除することができます。

スプール印刷を設定する

操作部、Web Image Monitorまたは、telnetで設定できます。

- 操作部の場合
  システム設定メニューのスプール印刷を「スル」にします。
- Web Image Monitorの場合
  管理者モードで、［設定］メニューの［機器］の［システム］内にある［スプール印刷］を［有効］にします。
- telnetの場合
  「spoolsw spool on」で設定します。

参照

操作部で設定する方法は、P.109 「システム設定メニュー」を参照してください。

Web Image Monitorで設定する方法は、P.125 「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4010の場合）」または、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

telnetで設定する方法は、P.157 「telnetを使う」を参照してください。

Webブラウザからスプールジョブを閲覧・削除する

スプールジョブをWeb Image Monitorで表示したり、削除したりすることができます。

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、スプールジョブを閲覧・削除するプリンターにアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

3 ［ログイン］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄です。

5 左フレームの［ジョブ］をクリックします。

6 ［プリンター］の中の［スプール］をクリックします。

スプール印刷ジョブの一覧が表示されます。

7 削除したいジョブの横にあるチェックボックスにチェックを付け、削除をクリックします。

チェックしたジョブが削除されます。

8 Webブラウザを終了します。

参照

詳しくは、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

表紙について

表紙用の用紙に印刷します。表紙には両面印刷することもできます。

参照

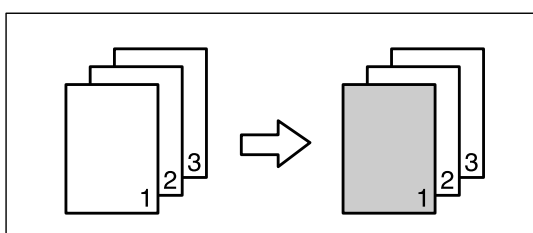
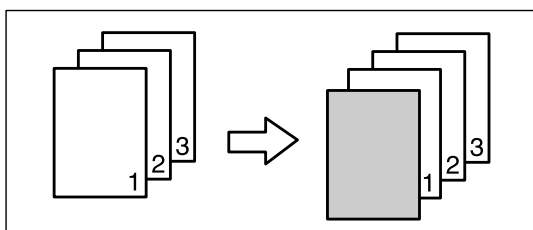
印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

制限

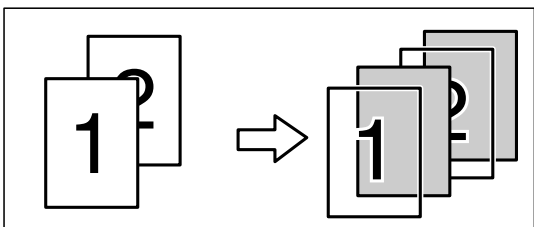
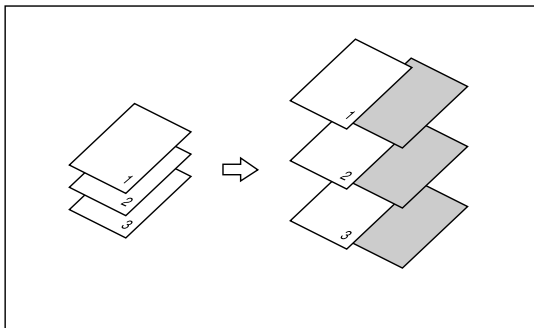
❒ソートの設定が必要です。回転ソートの設定はできません。

補足

❒表紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。

- 表紙用の用紙に印刷するとき

- 表紙用の用紙に印刷しないとき

合紙について

ページごとに合紙を挿入します。合紙に印刷することもできます。

参照

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ 合紙用の用紙は、印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。

❒ ソートは設定できません。

❒ 両面印刷、表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。

メモリー容量と用紙サイズ（IPSiO SP 4010の場合）

印刷できる用紙サイズや解像度は、システム設定メニューの［優先メモリー］の設定やメモリーの容量によって異なります。また、使用する印刷モードによっては、同じ条件でも印刷できる場合とできない場合とがあります。以下の表は、RPCSプリンタードライバーを使用して印刷する場合の用紙サイズ、メモリー容量と、解像度の関係を表したものです。

補足

- ❒ 12×18、ハガキ、長尺の両面印刷はできません。
- ❒ 手差しトレイから印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の指示は解除され、片面のみに印刷されます。

3

優先メモリーが「ページメモリー」の場合

用紙サイズ	メモリー容量	解像度（dpi）	
		600×600	1,200×1,200
A5	128Mバイト	◎	◎
	256Mバイト	◎	◎
B5	128Mバイト	◎	◎
	256Mバイト	◎	◎
A4 Letter （8 1/2×11）	128Mバイト	◎	◎*
	256Mバイト	◎	◎
Legal（81/2×14）	128Mバイト	◎	◎
	256Mバイト	◎	◎
不定型サイズ最大 （216×900mm）	128Mバイト	○	○
	256Mバイト	○	○

◎：片面/両面印刷できます。

◎＊：複雑な画像を両面印刷できないことがあります。また一般的な画像でも、両面で連続印刷するページ数が限られることがあります。

○：片面印刷できます。

－：印刷できません。

優先メモリーが「ユーザーメモリー」の場合

用紙サイズ	メモリー容量	解像度（dpi）		
		400×400	600×600	1,200×1,200
A5	128Mバイト	◎	◎	◎
	256Mバイト	◎	◎	◎
B5	128Mバイト	◎	◎	◎
	256Mバイト	◎	◎	◎
A4 Letter （8 1/2×11）	128Mバイト	◎	◎	○
	256Mバイト	◎	◎	◎*
Legal（8 1/2×14）	128Mバイト	◎	◎	◎
	256Mバイト	◎	◎	◎
不定型サイズ最大 （216×900mm）	128Mバイト	○	○	○
	256Mバイト	○	○	○

◎：片面/両面印刷できます。

◎*：複雑な画像を両面印刷できないことがあります。また一般的な画像でも、両面で連続印刷するページ数が限られることがあります。

○：片面印刷できます。

－：印刷できません。

3

メモリー容量と用紙サイズ（IPSiO SP 4000の場合）

印刷できる用紙サイズや解像度は、システム設定メニューの［優先メモリー］の設定やメモリーの容量によって異なります。また、使用する印刷モードによっては、同じ条件でも印刷できる場合とできない場合とがあります。以下の表は、RPCSプリンタードライバーを使用して印刷する場合の用紙サイズ、メモリー容量と、解像度の関係を表したものです。

補足

- ❒ 12×18、ハガキ、長尺の両面印刷はできません。
- ❒ 手差しトレイから印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の指示は解除され、片面のみに印刷されます。

3

優先メモリーが「ページメモリー」の場合

用紙サイズ	メモリー容量	解像度（dpi）	
		600×600	1,200×1,200
A5	32Mバイト	◎	◎
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
B5	32Mバイト	◎	◎*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
A4 Letter （8 1/2×11）	32Mバイト	◎	◎*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
Legal（8 1/2×14）	32Mバイト	◎	◎*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
不定型サイズ最大 （216×900mm）	32Mバイト	○	－
	96Mバイト	○	－
	160Mバイト	○	○
	288Mバイト	○	○

◎：片面/両面印刷できます。
◎*：複雑な画像を両面印刷できないことがあります。また一般的な画像でも、両面で連続印刷するページ数が限られることがあります。
○：片面印刷できます。
－：印刷できません。

優先メモリーが「ユーザーメモリー」の場合

用紙サイズ	メモリー容量	解像度（dpi）	
		600×600	1,200×1,200
A5	32Mバイト	◎	◎*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
B5	32Mバイト	◎	○*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
A4 Letter（$8^1/_2$×11）	32Mバイト	◎*	○*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
Legal（$8^1/_2$×14）	32Mバイト	◎*	○*
	96Mバイト	◎	◎
	160Mバイト	◎	◎
	288Mバイト	◎	◎
不定型サイズ最大 （216×900mm）	32Mバイト	○	−
	96Mバイト	○	−
	160Mバイト	○	○
	288Mバイト	○	○

◎：片面/両面印刷できます。

◎＊：複雑な画像を両面印刷できないことがあります。また一般的な画像でも、両面で連続印刷するページ数が限られることがあります。

○：片面印刷できます。

○*：複雑な画像を印刷できないことがあります。また一般的な画像でも、連続印刷するページ数が限られることがあります。

−：印刷できません。

印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える

複数のパソコンでプリンターを共有している場合で、その中にDOSで印刷しているパソコンがあるときに使用する機能です。

通常、DOSから印刷するには、使用するアプリケーションに応じてプリンターのエミュレーションを設定しておく必要があります。印刷後のエミュレーションとしてDOSから印刷するときのエミュレーション（または、プログラム）を選択しておくと、次の印刷がDOSからの場合でもエミュレーションを切り替えずに印刷することができます。

RPCSプリンタードライバーでの操作方法を説明します。

重要

❒ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、ワンクリック設定に登録してから印刷します。

1 **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**

2 **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。**

「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。

3 **[印刷後のエミュレーション] ボックスのドロップダウンメニューからエミュレーションを選択します。**

Windowsだけでお使いの場合は、[なし] または [直前のエミュレーション] を選択してください。[直前のエミュレーション] を選択すると、印刷前に設定されていたエミュレーションに戻ります。

4 **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**

5 **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

6 **印刷の指示をします。**

4. プリンター本体の設定

【メニュー】キー機能一覧

操作部では、本機を使用するために必要な各種の基本的な設定や調整を行うことができます。ここでは設定可能なメニューと項目一覧を説明します。

❖ 試し印刷文書（タメシインサツブンショ）

補足

❒ 上記メニューは、IPSiO SP 4010で拡張HDDを装着しているときに表示されます。

❒ 詳しくはP.71 「試し印刷する」を参照してください。

❖ 機密印刷文書（キミツインサツブンショ）

補足

❒ 上記メニューは、IPSiO SP 4010で拡張HDDを装着しているときに表示されます。

❒ 詳しくはP.75 「機密印刷する」を参照してください。

❖ 用紙設定（ヨウシセッテイ）

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
1. 手差し用紙サイズ（テサシ　ヨウシサイズ）	1. 手差し用紙サイズ（テサシ　ヨウシサイズ）
2. トレイ用紙サイズ（トレイ　ヨウシサイズ）	2. 特殊用紙サイズ（トクシュ　ヨウシサイズ）
3. 用紙種類（ヨウシシュルイ）	3. 用紙種類（ヨウシシュルイ）
4. 自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）	4. 自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）
5. 優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）	5. 優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）

❖ テスト印刷（テストインサツ）

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
1. 一括リスト印刷（イッカツリストインサツ）	1. システム設定リスト（システムセッテイリスト）
2. システム設定リスト（システムセッテイリスト）	2. 印刷条件リスト（インサツジョウケンリスト）
3. エラー履歴（エラーリレキ）	3. メニューリスト（メニューリスト）
4. 印刷条件リスト（インサツジョウケンリスト）	-
5. メニューリスト（メニューリスト）	5. 全文字印刷（ゼンモジインサツ）
6. 登録フォームリスト（トウロクフォームリスト）	6. フォントリスト（フォントリスト）
7. 全文字印刷（ゼンモジインサツ）	-
8. フォントリスト（フォントリスト）	8. ヘキサダンプ（ヘキサダンプ）

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
9. PS情報リスト（PSジョウホウリスト）	-
10. PDF情報リスト（PDFジョウホウリスト）	-
11. ヘキサダンプ（ヘキサダンプ）	-

参照

上記メニューは、使用するエミュレーションによって表示されないものがあります。詳しくはP.101 「テスト印刷メニュー」を参照してください。

❖ 給紙トレイ選択（キュウシトレイセンタク）

機能概要
印刷する給紙トレイを切り替えます。

4

補足

❒上記メニューは、RPDL、R16、R55、R98のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。詳しくは各エミュレーションの使用説明書「給紙トレイを選択する」を参照してください。

❖ エミュレーション呼び出し（エミュレーションヨビダシ）

機能概要
エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。

補足

❒詳しくは各エミュレーションの使用説明書「エミュレーションを切り替える」を参照してください。

❖ 印刷条件（インサツジョウケン）

機能概要
アプリケーションやパソコンに合わせて印刷条件を設定します。

補足

❒上記メニューは、RPDL、R16、R55、R98のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

❒詳しくは各エミュレーションの使用説明書「印刷条件を設定」を参照してください。

❖ プログラム登録（プログラムトウロク）

機能概要
設定した印刷条件を登録します。

補足

❒上記メニューは、RPDL、R16、R55、R98のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

❒詳しくは各エミュレーションの使用説明書「よく使う印刷条件を登録する」を参照してください。

❖ 調整／管理（チョウセイ／カンリ）

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
1. 濃度調整（ノウドチョウセイ）	1. 濃度調整（ノウドチョウセイ）
2. 印刷位置調整（インサツイチ　チョウセイ）	2. 印刷位置調整（インサツイチ　チョウセイ）
3. カール低減（カール　テイゲン）	3. カール低減（カール　テイゲン）
4. HDフォーマット（HDフォーマット）	-
5. 電波状態（デンパジョウタイ）	5. 電波状態（デンパジョウタイ）
6. 無線設定値初期化（ムセンセッテイチショキカ）	6. 無線設定値初期化（ムセンセッテイチショキカ）

参照

上記メニューは、装着されているオプションによって表示されないものがあります。詳しくはP.105「調整管理メニュー」を参照してください。

濃度調整および印刷位置調整について詳しくは、P.105「調整管理メニュー」を参照してください。

❖ システム設定（システムセッテイ）

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
1. エラーレポート印刷（エラーレポート　インサツ）	1. ミスフィードリカバリー（ミスフィードリカバリー）
2. エラースキップ（エラースキップ）	2. エラーレポート印刷（エラーレポート　インサツ）
3. 画像エラー処理（ガゾウエラーショリ）	3. エラースキップ（エラースキップ）
4. エラー表示設定（エラーヒョウジセッテイ）	4.画像エラー処理（ガゾウエラーショリ）
5. 省エネエモード（ショウエネモード）	5. エラー表示設定（エラーヒョウジセッテイ）
6. オートリセット設定（オートリセットセッテイ）	6. 省エネエモード（ショウエネモード）
7. エミュレーション検知（エミュレーションケンチ）	7. エミュレーション検知（エミュレーションケンチ）
8. 優先エミュレーション（ユウセンエミュレーション）	8. 優先エミュレーション（ユウセン　エミュレーション）
9. 優先メモリー（ユウセンメモリー）	9. 優先メモリー（ユウセンメモリー）
10. スプール印刷（スプールインサツ）	-
11. 補助用紙サイズ（ホジョヨウシサイズ）	11. 補助用紙サイズ（ホジョヨウシサイズ）
12. レターヘッド紙設定（レターヘッドシセッテイ）	12. レターヘッド紙設定（レターヘッドシセッテイ）
13. 手差し設定選択（テサシセッテイセンタク）	-
14. RAMディスク（RAMディスク）	-
15. メール通知設定（メールツウチセッテイ）	-

補足

❒スプール印刷（スプールインサツ）は、拡張HDDを装着しているときに表示されます。

❒RAMディスク（RAMディスク）は、拡張HDDを装着していると表示されません。

❖ システム設定（EM）（システムセッテイ（EM））

補足

❒IPSiO SP 4000では「システム設定EM D（システム設定EM D）」の項目をあらわします。

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
1. 白紙排紙（ハクシ　ハイシ）	1. 白紙排紙（ハクシ　ハイシ）
2. 用紙なしエラー（ヨウシナシエラー）	2. 用紙なしエラー（ヨウシナシエラー）
3. 自動排紙時間（ジドウハイシジカン）	3. 自動排紙時間（ジドウハイシジカン）
4. マクロキャッシュ（マクロキャッシュ）	4. マクロキャッシュ（マクロキャッシュ）
5. グラフィクス設定（グラフィクスセッテイ）	5. グラフィクス設定（グラフィクスセッテイ）

補足

❒上記メニューは、RPDL、R16、R55、R98のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

❒マクロキャッシュはRPDLをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

❖ PS設定（PSセッテイ）

設定項目
1. 両面設定（リョウメンセッテイ）
2. 白紙排紙（ハクシ　ハイシ）
3. データ形式（データケイシキ）
4. 解像度（カイゾウド）

補足

❒上記メニューは、IPSiO SP 4010でPS3をエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

❖ PDF設定（PDFセッテイ）

設定項目
1. パスワード変更（パスワードヘンコウ）
2. グループパスワード（グループパスワード）
3. 両面設定（リョウメンセッテイ）
4. 白紙排紙（ハクシ　ハイシ）
5. 解像度（カイゾウド）

補足

❒上記メニューは、IPSiO SP 4010でPDFをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

❖ インターフェース設定（インターフェースセッテイ）

設定項目	
IPSiO SP 4010	IPSiO SP 4000
1. 受信バッファ（ジュシンバッファ）	1. 受信バッファ（ジュシンバッファ）
2. I/F切替時間（I/Fキリカエジカン）	2. I/F切替時間（I/Fキリカエジカン）
3. ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）	3. ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）
4. パラレルI/F設定（パラレルI/Fセッテイ）	4. パラレルI/F設定（パラレルI/Fセッテイ）
-	-
6. IEEE 802.11b（IEEE　802.11b）	6. IEEE 802.11b（IEEE　802.11b）

補足

❒ IEEE 802.11b設定設定（IEEE802.11bセッテイ）は、オプションの無線LANインターフェースを装着しているときに表示されます。

❒ IPSiO SP 4000のネットワーク設定（ネットワークセッテイ）は、オプションのイーサネットインターフェースまたは無線LANインターフェースを装着しているときに表示されます。

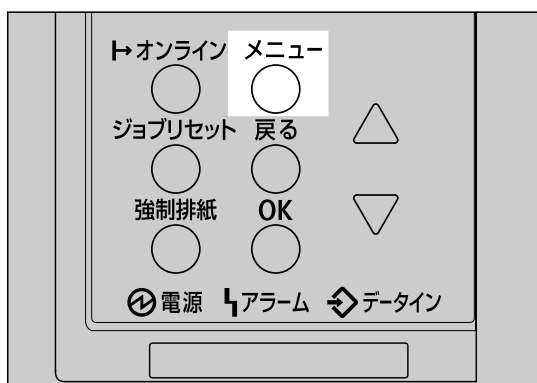
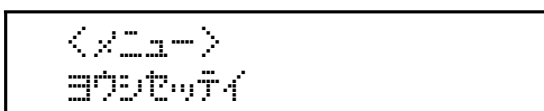
用紙設定メニュー

各トレイにセットする用紙のサイズや種類の設定など、用紙設定メニューで設定できる項目の説明です。

用紙設定メニューの設定を変更する

特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す

自動レイ選択の対象としないトレイを設定します。

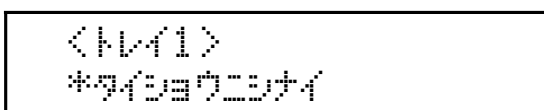
1 操作部の【メニュー】キーを押します。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「ヨウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
ヨウシセッテイ

3 【▲】または【▼】キーを押して、「4. ジドウトレイセンタク」を表示させ、【OK】キーを押します。

4 【▲】または【▼】キーを押して、自動トレイ選択の対象としないトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

対象にするかどうかの選択画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、「タイショウニスル」を表示させ、【OK】キーを押します。

<トレイ1>
*タイショウニシナイ

設定が確定し、用紙設定メニューに戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

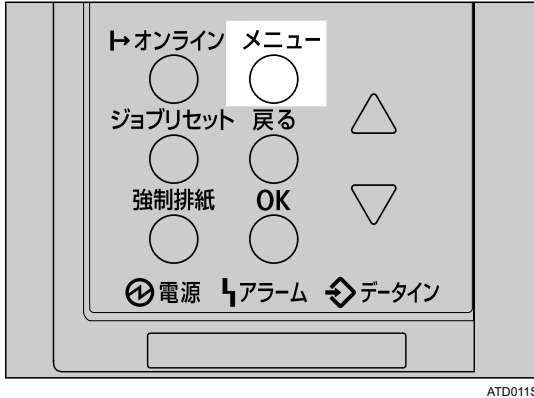
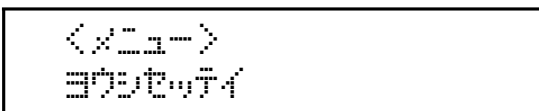
通常の画面が表示されます。

優先給紙トレイを設定する

優先給紙トレイを設定します。

1 操作部の【メニュー】キーを押します

2 【▲】または【▼】キーを押して、「ヨウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
ヨウシセッテイ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して「5.ユウセンキュウシトレイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

4 【▲】または【▼】キーを押して目的のトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

設定が完了し、2秒後に用紙設定メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

用紙設定メニューの設定項目

用紙設定メニューの設定項目の説明です。

❖ 手差し用紙サイズ（テサシ　ヨウシサイズ）

手差しトレイにセットする用紙サイズを設定します。

参照

設定できる用紙サイズについては、<メンテナンスガイド>「用紙のセット」を参照してください。

❖ トレイ用紙サイズ（トレイ　ヨウシサイズ）

用紙サイズダイヤルが「＊」に設定されている給紙トレイにセットする用紙サイズを設定します。

補足

❒IPSiO SP 4000では、「特殊用紙サイズ（トクシュヨウシサイズ）」と表示されます。

参照

設定できる用紙サイズについては、<メンテナンスガイド>「用紙のセット」を参照してください。

❖ 用紙種類（ヨウシシュルイ）

セットする用紙の種類を設定します。

参照

設定できる用紙種類については、<メンテナンスガイド>「用紙のセット」を参照してください。

❖ 自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）

「自動トレイ選択」を設定すると、プリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択されます。工場出荷時は、すべてのトレイが「タイショウニスル」になっています。

❖ 優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）

「優先給紙トレイ」とは、本機の電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択やリミットレス給紙のときに一番最初に対象となるトレイです。工場出荷時の設定は「トレイ1」です。

テスト印刷メニュー

テスト印刷メニューでは、本機の使用環境や印刷に関する条件の設定状況の一覧表を印刷することができます。

また、印字可能なすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

テスト印刷をする

ここでは「システム設定リスト」の印刷手順を説明しますが、基本的な操作方法は他のリストを印刷する場合も同じです。

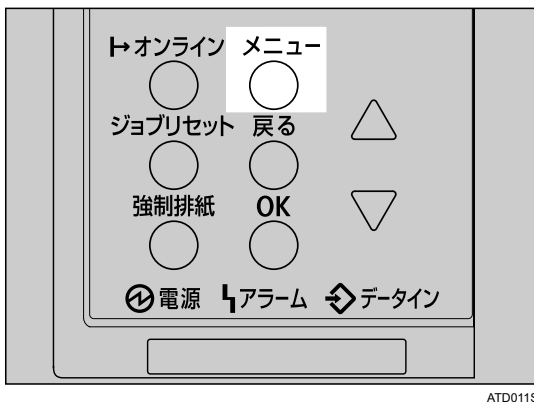
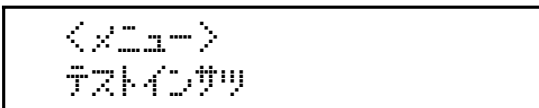
システム設定リストを印刷する

システム設定リストの印刷方法です。

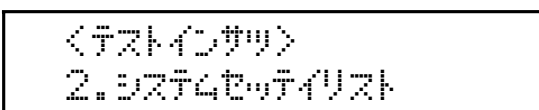
重要

❒ システム設定リストはA4またはLetter（$8\,^{1}/_{2}$×11）で印刷されます。給紙トレイや手差しトレイにA4またはLetter（$8\,^{1}/_{2}$×11）の用紙をセットしてください。

1 **操作部の【メニュー】キーを押します。**

ATD011S

2 **【▲】または【▼】キーを押して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<メニュー>
テストインサツ

3 **【▲】または【▼】キーを押して印刷したいリスト名を表示させ、【OK】キーを押します。**

<テストインサツ>
2.システムセッテイリスト

IPSiO SP 4000では、「1. システムセッテイリスト」と表示されます。

印刷終了後、テスト印刷メニューに戻ります。

4 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

4

システム設定リストの見かた

システム設定リストの見かたの説明です。

システム設定リスト

■システム構成情報

機番　未設定　トータルカウンター　40
搭載メモリ　256 MB
ファームウェアバージョン　プリンター[0.XX / 01105431]、エンジン[0.XX.XX / CP2_DOM]、NCS[0.XX /01105432]
コントローラオプション　ハードディスク、IEEE 802.11b
HDD：フォント／マクロ　空き容量 510442 KB 、最大容量 510448 KB
搭載エミュレーション　RPCS [3.1.31]、RPGL [5.27b]、R81S [4b.18.07]
オプション機器　両面ユニット、増設給紙トレイ2
消耗品状態　ブラックトナー残量：　[■■■■■]

■用紙設定

優先給紙トレイ　トレイ1
手差しトレイ（マルチ）　不定形サイズ　210.0 x 297.0mm　普通紙
トレイ1　A4R　210.0 x 297.0mm　普通紙
トレイ2　B5R　182.0 x 257.0mm　普通紙

■調整／管理

濃度調整　0

印刷位置調整

横：トレイ1　0.0　横：トレイ2　0.0
横：手差しトレイ（マルチ）　0.0　横：両面時裏面　0.0
縦：全てのトレイ　*-0.5　縦：両面時裏面　0.0
カール矯正　しない

■システム設定　*マークは設定値が初期値と異なる項目です。

エラーレポート印刷　しない　エラースキップ　しない
画像エラー処理　ジョブリセット　エラー表示設定　全て表示
省エネモード　移行設定　移行する　省エネモード　移行時間　*60分
リセット設定　する　リセット時間　60
エミュレーション検知　しない　優先エミュレーション　RPCS
優先メモリー　ページメモリー　スプール印刷　*する
補助用紙サイズ　しない　レターヘッド紙使用設定　使用しない
手差しトレイ設定選択　ドライバー/コマンド優先　メール通知設定　する

■システム設定（EM）

白紙排紙　しない　紙なしエラー通知　印刷実行時
自動排紙時間　排紙しない　マクロキャッシュ　マクロなし

■登録プログラム一覧

プログラム番号　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12　13　14　15　16
エミュレーション名　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-　-

■インターフェース設定

受信バッファ　128KB　I/F切り替え時間　15秒

ネットワーク設定

DHCP　Off　IPアドレス　192.168.001.128
サブネットマスク　255.255.255.000　ゲートウエイアドレス　192.168.001.001
NWフレームタイプ　自動選択　TCP/IP　有効
NetWare　無効　SMB　有効
AppleTalk　有効　イーサネット速度　自動選択
I/F選択　イーサネット

パラレルインターフェース設定

パラレルタイミング　ACK outside　パラレル通信速度　高速
セレクト状態　HIGH　インプットプライム　無効
双方向通信　する

IEEE 802.11b設定

通信モード　802.11 アドホック　チャンネル　*14
通信速度　自動設定　SSID
WEP設定　*有効

■インターフェース情報

アクセスコントロール範囲1　000.000.000.000-000.000.000.000　アクセスコントロール範囲2　000.000.000.000-000.000.000.000
アクセスコントロール範囲3　000.000.000.000-000.000.000.000　アクセスコントロール範囲4　000.000.000.000-000.000.000.000
アクセスコントロール範囲5　000.000.000.000-000.000.000.000
イーサネットアドレス　00.00.74.62.ef.e1　ホスト名　RNP62EFE1
動作モード(NW)　プリントサーバ　プリントサーバ名(NW)　RNP62EFE1
ファイルサーバ名(NW)　未設定　NDSコンテキスト名(NW)　未設定
ワークグループ名(SMB)　WORKGROUP　ネットワークパス名(SMB)　¥¥RNP62EFE1¥
物理アドレス(IEEE 802.11b)　00.00.74.6e.fa.4b

***1.* システム構成情報**

本機のバージョン情報やオプションの装着状況、搭載エミュレーション、プリンター言語の名称やトナーの残量などが印刷されます。

***2.* 用紙設定**

現在選択されている優先給紙トレイと各トレイにセットされている用紙のサイズと種類など用紙設定メニューの設定項目が印刷されます。

***3.* 調整／管理**

濃度調整や印刷位置設定など、調整／管理メニューの設定項目が印刷されます。

***4.* システム設定**

システム設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

＊印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

***5.* システム設定（EM）**

システム設定(EM)メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

＊印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

***6.* 登録プログラム一覧**

登録されているプログラムのエミュレーション名が表示されます。

***7.* インターフェース設定、インターフェース情報**

インターフェース設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

テスト印刷メニューの項目

テスト印刷メニューの設定項目です。

❖ 一括リスト印刷（イッカツリストインサツ）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。システム設定リストとエラー履歴が印刷されます。

補足

❒選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

❖ システム設定リスト（システムセッテイリスト）

本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。印刷される内容については、P.102 「システム設定リストの見かた」を参照してください。

補足

❒選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

❒IPSiO SP 4000では、エラー履歴も印刷されます。

❖ エラー履歴（エラーリレキ）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。エラーになったジョブの履歴が印刷されます。

補足

❒選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

❖ 印刷条件リスト（インサツジョウケンリスト）

印刷条件の設定内容が印刷されます。

補足

❒エミュレーションのRPDL、R55、R98、R16が対象となります。

❖ メニューリスト（メニューリスト）

【メニュー】キーを使って設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。

補足

❒選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

❖ 登録フォームリスト（トウロクフォームリスト）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。登録されているフォームの一覧が印刷されます。

補足

❒エミュレーションのRPDL、PS3が対象となります。

❖ 全文字印刷（ゼンモジインサツ）

現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できる全ての文字が印刷されます。

補足

❒エミュレーションのRPDL、R55、R98、R16が対象となります。

❖ フォントリスト（フォントリスト）

現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できるフォントの一覧が印刷されます。

補足

❒エミュレーションのRPDL、R55、R98、R16が対象となります。

❖ PS 情報リスト（PS ジョウホウリスト）

IPSiO SP 4010で、オプションのPS3カードが装着されているときのメニュー項目です。PS3のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。詳しくは、PostScript 3使用説明書を参照してください。

補足

❒ エミュレーションのPS3が対象となります。

❖ PDF情報リスト（PDFジョウホウリスト）

IPSiO SP 4010で、オプションのPS3カードまたはPDFダイレクトプリントカードが装着されているときのメニュー項目です。PDFの情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。

補足

❒ エミュレーションのPS3、PDFが対象となります。

❖ ヘキサダンプ（ヘキサダンプ）

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを16進数で印刷するモードに移行します。

補足

❒ 選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

調整管理メニュー

調整管理メニューでは、階調や濃度などの印刷条件の調整や、HDDのフォーマットなど本機の管理についての設定ができます。

調整管理メニューの設定を変更する

調整管理メニューの変更方法を、例をあげて説明します。

拡張HDDをフォーマットする（初期設置以降）

初期の設置以降に拡張HDDのフォーマットが必要になったときのフォーマットの方法に関する説明です。

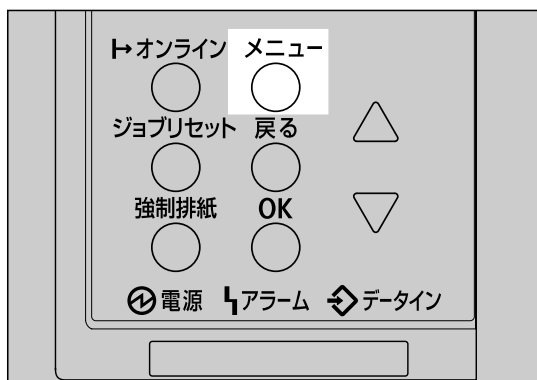
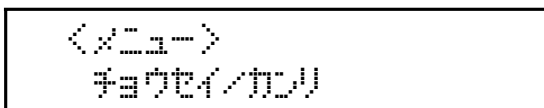
4

補足

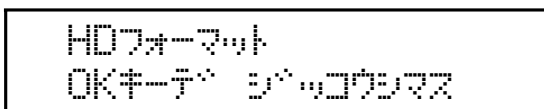
❒ IPSiO SP 4000には拡張HDDのオプションはありません。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

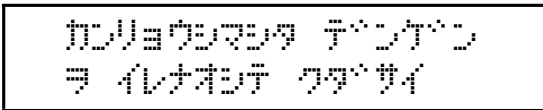
2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
チョウセイ/カンリ

3 【▲】または【▼】キーを押して「5.HDフォーマット」を表示させ、【OK】キーを押します。

4 確認のメッセージが表示されていることを確認し、【OK】キーを押します。

HDフォーマット
OKキーデ ジッコウシマス

拡張HDDがフォーマットされ、再起動のメッセージが表示されます。

5 **本機の電源を一度切り、再び電源を入れます。**

```
カンリョウシマシタ テ゛ンケ゛ン
ヲ イレナオシテ クタ゛サイ
```

拡張HDDのフォーマットが終了し、使用できるようになります。

補足

- ❒「HDフォーマット」が表示されない場合は拡張HDDが正しく取り付けられていません。セットアップガイド「オプションを取り付ける」を参照して、拡張HDDを取り付け直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

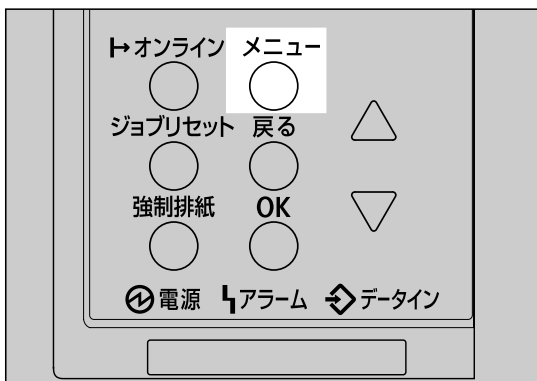
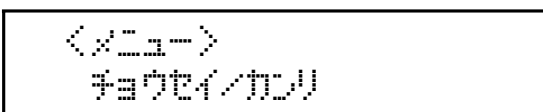
無線LANの電波状態を表示する

無線LANの電波状態を表示する方法の説明です。

1 **操作部の【メニュー】キーを押します**

ATD011S

2 **【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

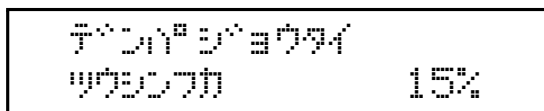
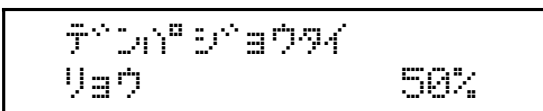
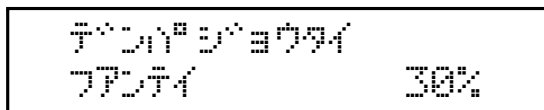
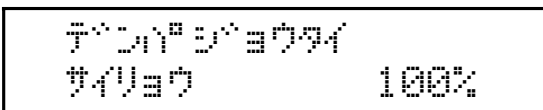
```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

3 **【▲】または【▼】キーを押して「7.デンパジョウタイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

現在の電波状態が表示されます。

```
テ゛ンハ゜シ゛ョウタイ
サイリョウ        100%
```

```
テ゛ンハ゜シ゛ョウタイ
フアンテイ         30%
```

```
テ゛ンハ゜シ゛ョウタイ
リョウ            50%
```

```
テ゛ンハ゜シ゛ョウタイ
ツウシンフカ       15%
```

4 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

補足

- ❒「デンパジョウタイ」が表示されない場合はインターフェース設定メニューのネットワーク設定内「I/F 選択」で「IEEE802.11b」が選択されていません。「I/F 選択」で「IEEE 802.11b」を選択してから、再度調整管理メニューの「電波状態」を選択してください。
- ❒電波状態が測定できるのは、通信モードがインフラストラクチャーのときだけです。
- ❒【OK】キーを押すたびに電波状態が更新されます。
- ❒電波状態は、76〜100%で最良、41〜75%で良、21〜40%で不安定、0〜20%で通信不可と表示されます。電波の状態が不安定または通信不可のときは、電波の通る場所に移動するか障害物を取り除いてください。
- ❒近くで電子レンジや無線機器等をお使いになると、電波の状態に影響を与えることがあります。

無線LANの設定値を初期化する

無線LANの設定値を初期化する方法の説明です。

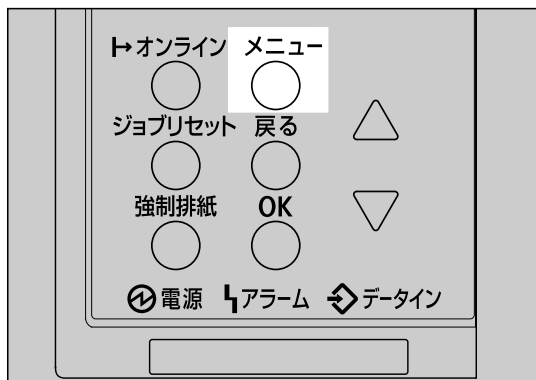
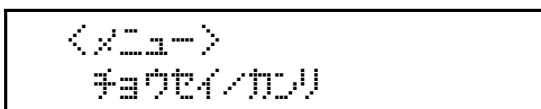
重要

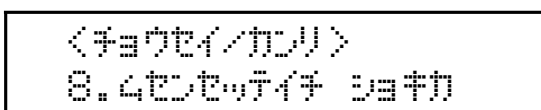
- ❒この実行により初期化される項目は、インターフェース設定メニュー「IEEE 802.11b」の「通信モード」「チャンネル」「通信速度」「SSID」「WEP設定」の5項目です。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

ATD011S

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して「8.ムセンセッテイチショキカ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<チョウセイ/カンリ>
8.ムセンセッテイチ ショキカ
```

確認のメッセージが表示されます。

4 【OK】キーを押します。

無線設定値が初期化され、【OK】キーを押すと設定を変更し、通常の画面が表示されます。

調整管理メニューの項目

調整管理メニューの設定項目です。

❖ 濃度調整（ノウドチョウセイ）

印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

- -3〜+3

重要

❒ できるだけ工場出荷時の設定でお使いください。

参照

濃度の調整方法は、＜メンテナンスガイド＞「調整」を参照してください。

4

❖ 印刷位置調整（インサツイチ　チョウセイ）

トレイごとの印刷位置をあわせるために印刷位置を調整することができます。通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの給紙テーブルや、両面印刷ユニットを取り付けたときに調整します。

参照

印刷位置の調整方法は、＜メンテナンスガイド＞「調整」を参照してください。

❖ カール低減（カールテイゲン）

印刷した用紙がカールするのを低減します。

- しない（工場出荷時の設定）
- する

❖ HDフォーマット（HDフォーマット）

IPSiO SP 4010で、オプションの拡張HDDが装着されているときのメニュー項目です。初期の設置以降に拡張HDDのフォーマットが必要になったときは、調整/管理メニューの「HDフォーマット」を実行します。

❖ 電波状態（デンパジョウタイ）

無線LANの電波状態を確認する必要があるときは、「チョウセイ/カンリ」メニューの「デンパジョウタイ」を実行します。

❖ 無線設定値初期化（ムセンセッテイチ　ショキカ）

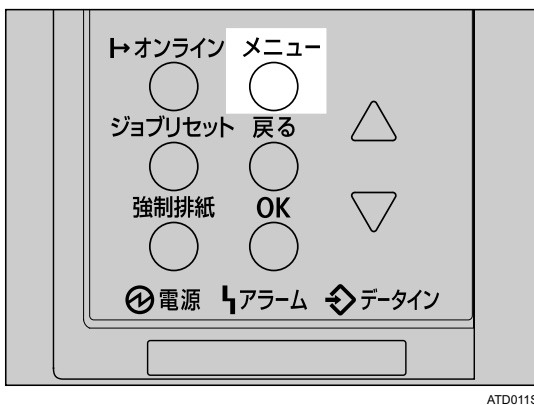
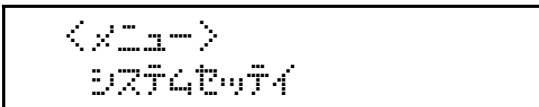
無線LANの設定値を初期化する必要があるときは、「チョウセイ/カンリ」メニューの「ムセンセッテイチショキカ」を実行します。

システム設定メニュー

システム設定メニューでは、本機を使用する上で基本的な動作に関る設定を行うとができます。通常は工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定の内容は電源を切っても保存されます。

システム設定メニューの設定を変更する

システム設定メニューの変更方法を、例をあげて説明します。

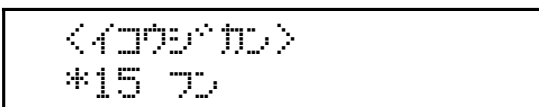
1 操作部の【メニュー】キーを押します

2【▲】または【▼】キーを押して、「システムセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
システムセッテイ

3【▲】または【▼】キーを押して、「6.ショウエネモード」を表示させ、【OK】キーを押します。

4【▲】または【▼】キーを押して設定を変更する項目を表示させ、【OK】キーを押します。

5【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

設定が確定し、省エネモードメニューに戻ります。

<イコウジカン>
*15 フン

6【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

システム設定メニューの設定項目

❖ ミスフィードリカバリー

IPSiO SP 4000のメニュー項目です。印刷中の紙づまりに備えてデータをバックアップし、紙づまりが起こったページから再印刷するか、次のページからにするかを設定します。

- する（工場出荷時の設定）
- しない

❖ エラーレポート印刷（エラーレポート　インサツ）

エミュレーションがRPCS、PS3またはPDFのとき、プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生した場合にエラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない（工場出荷時の設定）

❖ エラースキップ

プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種が一致するトレイがなかった場合の本機の動作を設定します。

- しない（工場出荷時の設定）
  プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。
- 即時
  用紙サイズ・用紙種類が一致しない場合でもすぐに印刷します。
- 1分
  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを1分間表示し、その後印刷を実行します。
- 5分
  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを5分間表示し、その後印刷を実行します。
- 10分
  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを10分間表示し、その後印刷を実行します。
- 15分
  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを15分間表示し、その後印刷を実行します。

❖ 画像エラー処理（ガゾウエラーヒョウジ）

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できない場合のプリンターの動作を設定します。

- ジョブリセット（工場出荷時の設定）
  エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。
- エラーシート印刷
  エラーが発生したページはエラー発生直前の画像まで印刷します。エラーが発生したページ以降は印刷されますが、電子ソートの指示は解除されます。ジョブの終わりにエラーシートを印刷します。エラーコードと、エラーによって出力結果が不完全になったページを最大16ページ分印刷します。

❖ エラー表示設定（エラーヒョウジセッテイ）

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

- すべて表示（工場出荷時の設定）
- 簡易表示

❖ 省エネモード（ショウエネモード）

省エネモードとは、本機の消費電力を節約する機能です。

- 移行設定
  省エネモードに移行するかしないかを選択します。
  - 移行する（工場出荷時の設定）
  - 移行しない
- 移行時間
  省エネモードに移行する場合は、移行するまでの時間を設定します。ここで設定した時間の間本機を使用しないと、省エネモードに切り替わります。省エネモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。
  - 1分
  - 5分
  - 15分（工場出荷時の設定）
  - 30分
  - 45分
  - 60分

❖ オートリセット設定（オートリセットセッテイ）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。一定時間操作を行わなかったとき、設定内容を電源投入直後の状態に戻すかどうかを設定します。また、戻すまでの時間を設定します。

- リセット設定
  オートリセットするかしないかを選択します。
  - する（工場出荷時の設定）
  - しない
- リセット時間
  オートリセットを設定した場合は、オートリセットするまでの時間を設定します。
  10〜999秒（1秒単位）の範囲で設定します。
  - 60秒（工場出荷時の設定）

❖ エミュレーション検知（エミュレーションケンチ）

本機に送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象となるのはPS3です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーションで設定されているエミュレーションになります。

- する
- しない（工場出荷時の設定）

❖ 優先エミュレーション（ユウセンエミュレーション）

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS（工場出荷時の設定）
- RPDL
- R98
- R16
- R55
- PS3
- PDF
- BMLinkS
- プログラム1〜16

補足

❒「プログラム1」〜「プログラム16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されて本機が起動します。RPCS、PS3以外で有効です。

❖ スプール印刷（スプールインサツ）

IPSiO SP 4010で、オプションの拡張HDDを装着されているときのメニューです。スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、印刷する機能です。

- しない（工場出荷時の設定）
- する

補足

❒ オプションの拡張HDDを装着時にのみ表示されます。

❒「スル」を選択すると、1ページ目の印刷開始は遅くなります。

❖ 優先メモリー（ユウセンメモリー）

ページメモリー、ユーザーメモリーのどちらを使うか設定します。

- ページメモリー（工場出荷時の設定）
- ユーザーメモリー

❖ 補助用紙サイズ（ホジョヨウシサイズ）

A4とLetter（8 $^1/_2$ × 11）の切り替えをするかどうかを設定します。

- しない（工場出荷時の設定）
- 自動

補足

❒ 切替を行った場合、A4とLetter（8 $^1/_2$ ×11）では最大印字領域が異なるので、それぞれの領域を越えた描画は、端部が切れたり、正常に印刷されなかったりします。

❖ レターヘッド紙設定（レターヘッドシ　セッテイ）

レターヘッド紙印刷を行うかどうかを設定します。
レターヘッド紙印刷を行うと、両面印刷のとき、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷されます。

- 使用しない（工場出荷時の設定）
  レターヘッド紙印刷を行いません。
- 使用する（自動）
  レターヘッド紙が指定されたときに行います。
- 使用する（常時）
  常にレターヘッド紙印刷を行います。

補足

- ❒ 両面印刷ができない紙サイズの場合、両面印刷は解除されます。
- ❒ 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になった場合、ソートの2部目以降は全て両面印刷となります。2部目以降も片面で印刷したいときは、両面印刷ができない紙サイズを給紙してください。
- ❒ レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意が必要です。

❖ 手差し設定選択（テサシセッテイセンタク）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。手差しの設定を機器側で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

- キキガワ
- ドライバー /コマンド（工場出荷時の設定）

❖ RAMディスク（RAMディスク）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。PDFダイレクトプリントをする場合で、オプションの拡張HDDを装着していないときに指定します。2MB以上の値を指定してください。

- 0MB
- 2MB
- 4MB（工場出荷時の設定）
- 8MB
- 16MB

❖ メール通知設定（メールツウチセッテイ）

IPSiO SP 4010のメニュー項目です。本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかをしていします。
設定を変更したときは、いったん電源をOFFにし、あらためて電源をONにしてください。

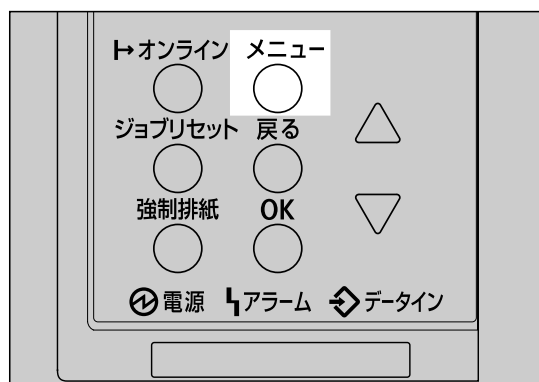
- しない
- する（工場出荷時の設定）

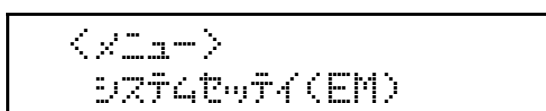
システム設定（EM）メニュー

システム設定（EM）メニューでは、DOSで使用する上での基本的な動作に関わる設定を行うことができます。対象となるエミュレーションは、RPDL、R98、R16、R55です。通常は、工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定（EM）の内容は電源を切っても保存されます。

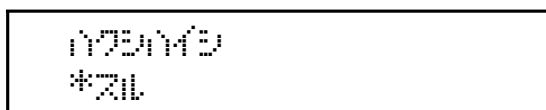
システム設定（EM）メニューの設定を変更する

システム設定（EM）メニューの変更方法を、例をあげて説明します。

1 操作部の【メニュー】キーを押します

2 【▲】または【▼】キーを押して、「システムセッテイ（EM）」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 システムセッテイ(EM)
```

3 【▲】または【▼】キーを押して、「1.ハクシハイシ」を表示させ、【OK】キーを押します。

4 【▲】または【▼】キーを押して「シナイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
ハクシハイシ
*スル
```

設定が確定し、システム設定（EM）メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

4

システム設定（EM）メニューの設定項目

❖ 白紙排紙（ハクシハイシ）
白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

- する
  排紙します。
- スペース
  排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。
- しない（工場出荷時の設定）
  排紙しません。

❖ 用紙なしエラー（ヨウシナシエラー）
現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。「印刷時」に設定すると用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。「常時」に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

- 印刷実行時（工場出荷時の設定）
  用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。
- 用紙なし時
  用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

❖ 自動排紙時間（ジドウハイシジカン）
一定時間パソコンからデータが送信されない場合に本機内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて**【強制排紙】**キーを押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。「なし」に設定するとデータは自動的には印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。設定された時間が経過すると送信されてきたデータが1 ページの途中までであっても強制的に印刷されるため、適切な時間を設定することが重要です。

- 自動排紙しない（工場出荷時の設定）
- 10秒
- 15秒
- 20秒
- 25秒
- 60秒
- 300秒

❖ マクロキャッシュ（マクロキャッシュ）
プリンター言語モジュールがマクロキャッシュとして使用するメモリの上限を設定します。

- マクロなし（工場出荷時の設定）
- マクロ　2.1MB
- マクロ　4.3MB
- マクロ　8.4MB

❖ グラフィクス設定

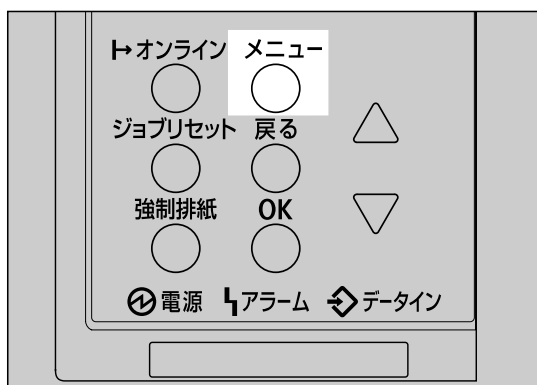
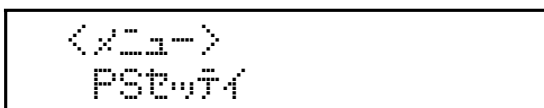
グラフィクスの線幅を設定します。オプショングラフィクスが有効なときに表示します。

- ゲンテンイチ
  - ヒダリシタ（工場出荷時の設定）
  - チュウオウ
- ペン1センハバ　0.0mm-1.5mm（0.4mm）
- ペン2センハバ　0.0mm-1.5mm（0.2mm）
- ペン3センハバ　0.0mm-1.5mm（0.1mm）
- ペン4センハバ　0.0mm-1.5mm（0.2mm）
- ペン5センハバ　0.0mm-1.5mm（0.2mm）
- ペン6センハバ　0.0mm-1.5mm（0.2mm）
- ペン7センハバ　0.0mm-1.5mm（0.2mm）
- ペン8センハバ　0.0mm-1.5mm（0.2mm）
- SPコマンド
  - ハイシスル（工場出荷時の設定）
  - ハイシシナイ
- 排紙モード
  - ヒョウジュン（工場出荷時の設定）
  - ジドウ

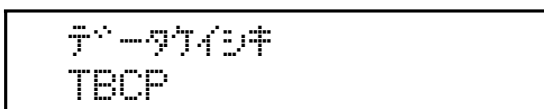
PS設定メニュー

IPSiO SP 4010で、オプションのPS3カードが装着されているときのメニュー項目です。PS設定メニューでは、PostScript 印刷を行うときの印刷条件を設定します。

PS設定メニューの設定を変更する

1 操作部の【メニュー】キーを押します

2【▲】または【▼】キーを押して、「PSセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
PSセッテイ

3【▲】または【▼】キーを押して、「2.データケイシキ」を表示させ、【OK】キーを押します。

4【▲】または【▼】キーを押して「TBCP」を表示させ、【OK】キーを押します。

データケイシキ
TBCP

設定が確定し、PS設定メニューに戻ります。

5【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

PS設定メニューの設定項目

❖ 両面設定（リョウメンセッテイ）
両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない（工場出荷時の設定）
- 長辺
- 短辺

❖ 白紙排紙（ハクシハイシ）
白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

- する（工場出荷時の設定）
- しない

❖ データ形式（データケイシキ）
データ形式を設定します。

- バイナリーデータ（工場出荷時の設定）
- TBCP

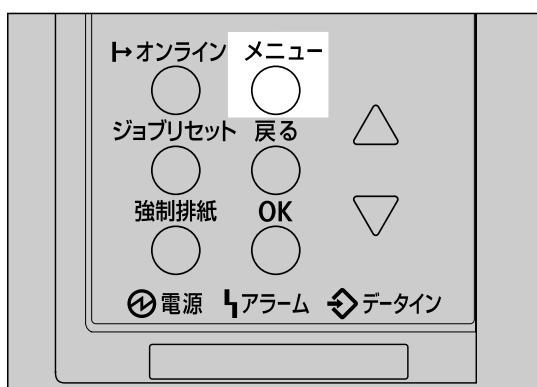
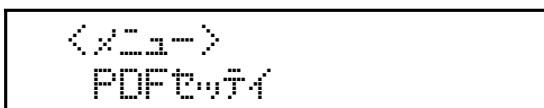
❖ 解像度（カイゾウド）
解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi（工場出荷時の設定）
- 1200dpi

PDF設定メニュー

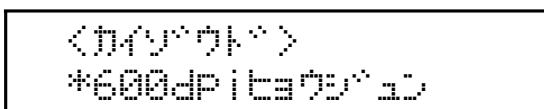
IPSiO SP 4010で、オプションのPS3カードまたはPDFダイレクトプリントカードを装着しているときのメニュー項目です。PDF設定メニューでは、PDFダイレクトプリントを行うときの印刷条件を設定します。

PDF設定メニューの設定を変更する

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

2【▲】または【▼】キーを押して「PDFセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
PDFセッテイ

3【▲】または【▼】キーを押して「4.カイゾウド」を表示させ、【OK】キーを押します。

4【▲】または【▼】キーを押して設定を変更し、【OK】キーを押します。

<カイゾウド>
*600dpi ヒョウジュン

設定が確定し、PDF設定メニューに戻ります。

5【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

4

PDF設定メニューの設定項目

❖ パスワード変更（パスワードヘンコウ）

印刷するPDFファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

- 今のパスワード
- 新規パスワード

❖ グループパスワード（グループパスワード）

Ridoc Desk Navigator Ltで設定したグループパスワードを設定します。
グループパスワードを使用する場合、オプションのセキュリティカードが本機に装着されている必要があります。

- 今のパスワード
- 新規パスワード

❖ 両面設定（リョウメンセッテイ）

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない（工場出荷時の設定）
- 長辺
- 短辺

❖ 白紙排紙（ハクシハイシ）

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

- する（工場出荷時の設定）
- しない

❖ 解像度（カイゾウド）

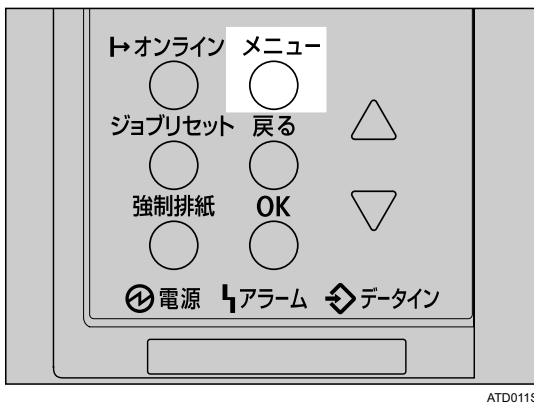
解像度を設定します。

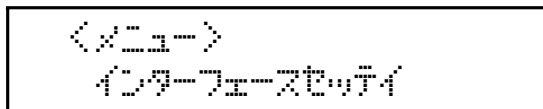
- 300dpi
- 600dpi（工場出荷時の設定）
- 1200dpi

インターフェース設定メニュー

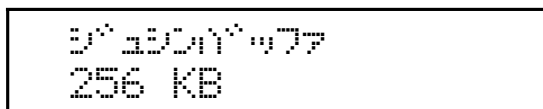
インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定とパソコンと本機をパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。変更したインターフェース設定の内容は電源を切っても保持されます。

インターフェース設定メニューの設定を変更する

1 操作部の【メニュー】キーを押します

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 インターフェースセッテイ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して、「1.ジュシンバッファ」を表示させ、【OK】キーを押します。

4 【▲】または【▼】キーを押して「256KB」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
ジュシンバッファ
256 KB
```

設定が確定し、インターフェースセッテイ設定メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

インターフェース設定メニューの設定項目

❖ 受信バッファ（ジュシンバッファ）

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB（工場出荷時の設定）
- 256KB
- 512KB

補足

❒IPSiO SP 4000では、16KB、32KB、64KBを設定することもできます。

❖ I/F切り替え時間（I/Fキリカエジカン）

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。

設定時間が短すぎると1つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

- 10秒
- 15秒（工場出荷時の設定）
- 20秒
- 25秒
- 60秒

❖ ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）

ネットワーク環境に本機を接続して印刷するために設定をします。詳しい各項目の設定方法については、＜セットアップガイド＞「インターフェース設定」を参照してください。

IPSiO SP 4000では、オプションのイーサネットインターフェースまたは無線LANインターフェースが装着されているときに表示されます。

- DHCP
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- NWフレームタイプ
- ユウコウプロトコル
- イーサネット速度

  イーサネットボードを使ってネットワーク通信するときの通信速度を選択することができます。

  - 自動設定（工場出荷時の設定）
  - 10M半二重
  - 10M全二重
  - 100M半二重
  - 100M全二重

  IPSiO SP 4000での設定値は次の通りです。

  - 自動設定（工場出荷時の設定）
  - 10Mbps固定
  - 100Mbps固定

- I/F選択
  - イーサネット（工場出荷時の設定）
  - IEEE 802.11b

補足

❒I/F選択は、IPSiO SP 4010で、オプションの拡張無線LANボードを装着しているときに表示されます。

❖ パラレルI/F設定（パラレルI/Fセッテイ）

パソコンと本機をパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。拡張1284ボード装着時に表示されます。
ここでの設定は、印刷条件の設定で「パラレルI/F 1」が「システムデフォルト」に設定されている場合のみ有効です。通常は変更する必要はありません。

- パラレルタイミング
  パラレルインターフェースのタイミングを設定します。
  - ACK inside
  - ACK outside（工場出荷時の設定）
  - STB down
- パラレル通信速度
  パラレル通信でDMA転送を使用して受信を行うかどうかを設定します。
  - 高速（工場出荷時の設定）
  - 標準
- セレクト状態
  パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。
  - High（工場出荷時の設定）
  - Low
- インプットプライム
  インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。
  - 有効
  - 無効（工場出荷時の設定）
- 双方向通信
  パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。市販のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「シナイ」に設定します。
  - する（工場出荷時の設定）
  - しない

❖ IEEE 802.11b（IEEE　802.11b）

無線LANを使用するときに必要な項目を設定します。拡張無線LANボード装着時に表示されます。

- 通信モード
  無線LANの通信モードを設定します。
  - 802.11 アドホック（工場出荷時の設定）
  - インフラストラクチャー
  - アドホック
- チャンネル
  アドホックモード選択時に使用するチャンネルを1～14の間で設定します。
- 通信速度
  無線LANの通信速度を設定します。
  - 自動設定（工場出荷時の設定）
  - 11 Mbps固定
  - 5.5 Mbps固定
  - 2 Mbps固定
  - 1 Mbps固定
- SSID
  SSIDを設定します。設定したSSIDを確認することもできます。
  SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号<ASCII　0x20～0x7e>で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。
  - ヒョウジ
  - ニュウリョク
- WEP設定
  無線LANの暗号化を設定します。
  IPSiO SP 4010の場合、WEPキーは、16進数またはASCII文字列で入力します。
  64bit WEPを使用する場合、16進数では10桁、ASCII文字列では5桁の文字列が使用できます。
  128bit WEPを使用する場合、16進数では26桁、ASCII文字列では13桁の文字列が使用できます。
  IPSiO SP 4000の場合、64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。
  - 有効
  - 無効（工場出荷時の設定）
  - 「ネットワークセッテイ」「IEEE 802.11b」メニューの各項目を、Webブラウザから設定することができます。

補足

❒［ネットワークセッテイ］や［IEEE 802.11b］メニューの、ネットワークに関する各設定を、Webブラウザからセッテイすることができます。

参照

Webブラウザからの設定方法について詳しくは、P.125 「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4010の場合）」、P.133 「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4000の場合）」およびWebブラウザのヘルプを参照してください。

Webブラウザを使う（IPSiO SP 4010の場合）

Webブラウザを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。この機能をWeb Image Monitorといいます。

❖ どんなことができるのか？

Web Image Monitorは、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンのWebブラウザ上からできる機能です。
Web Image Monitorでは以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の表示
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティの設定

❖ 本機の環境設定

この機能はTCP/IPプロトコルを使って動作します。Web Image Monitorを使用する場合は、本機でTCP/IPプロトコルの設定を行ってください。TCP/IPの設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

❖ 推奨ブラウザ

- Windows環境：
  Internet Explorer 5.5 以降
  Netscape 6.2 以降
- Macintosh環境：
  Netscape 6.2 以降
  Safari 1.0 以降

補足

❒ Netscape Navigatorをご使用でSSL（暗号化通信）の設定がされている場合、Netscape Navigator 7.0以降が必要となります。

❒ 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookieの使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。

❒ プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。

❒ ブラウザの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。

❒ Web Image Monitorで取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web Image Monitorのワークエリアに表示された［最新の情報に更新］をクリックしてください。

トップページを表示する

Web Image Monitorの表示方法とトップページの説明です。

1 **Webブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレス)/」と入力し、本機にアクセスします。**

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

DNSサーバー、WINSサーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。

Web Image Monitorは、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

1. **ヘッダーエリア**

ヘルプ、RICOH Homepageへのリンクや、キーワード検索用のダイアログが表示されます。

2. **メニューエリア**

ユーザーモードと管理者モードとの切り替えのためのログイン / ログアウトボタンが表示され、それぞれのモードのメニュー項目が表示されます。

メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3. **ワークエリア**

トップページでは、現在の機器の状態を表示します。

また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の［最新の情報に更新］をクリックしてください。なお、Webブラウザ画面全体を更新したい場合は、ブラウザの［更新］をクリックしてください。

4. **ヘルプ**

ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりすることができます。

メニュー構成とモード

Web Image Monitorには、ユーザーモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

また、お使いの機種により表示される項目が異なります。

❖ ユーザーモード

ユーザーモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

1. **状態**

給紙トレイ、排紙トレイとトナー残量の状態表示、本機の機能、システム情報とカウンターの表示、および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2. **ジョブ**

スプール印刷ジョブ、ジョブ履歴、エラー履歴の一覧表示、および試し印刷／機密印刷の一覧表示と印刷、および削除ができます。

3. **設定**

現在の本機の設定内容およびネットワーク設定の内容が表示されます。

また、ヘルプファイルのダウンロードをすることができます。

❖ 管理者モード

管理者としてログインする管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

1. **状態**

給紙トレイ、排紙トレイとトナー残量の状態表示、本機の機能、システム情報とカウンターの表示、および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2. **ジョブ**

スプール印刷ジョブの一覧表示と削除、ジョブ履歴とエラー履歴の一覧表示、および試し印刷／機密印刷の一覧表示と削除ができます。

3. **アドレス帳**

本機を利用するユーザーの情報を登録／表示／変更／削除することができます。

4. **設定**

本機のシステム設定やインターフェースの設定、およびセキュリティの設定ができます。

5. **プリンタージョブリセット**

トップページの［プリンタージョブリセット］ボタンをクリックすると、実行中のジョブ、または、実行中および待機中のすべてのジョブをリセットすることができます。

6. **リセット**

トップページの［リセット］ボタンをクリックすると、実行中のジョブが終了次第、本機のプリンター機能をリセットします。

参照

表示や設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

管理者モードでアクセスする

Web Image Monitorに管理者モードでアクセスする方法です。

1 Web Image Monitorのトップページで、［ログイン］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

2 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄です。

Web Image Monitorのヘルプについて

Web Image Monitorのヘルプを表示する方法です。

Web Image Monitorのヘルプをはじめてご使用になる場合、ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］、またはワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると設定画面が表示され、2種類の方法でWeb Image Monitorのヘルプを見ることができます。

❖ インターネットのWeb Image Monitorのヘルプを見る

最新のWeb Image Monitorのヘルプを見ることができます。

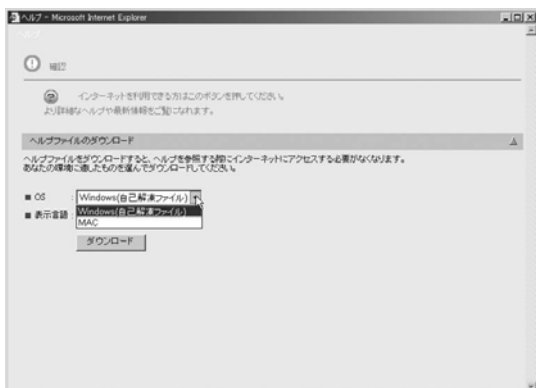
❖ Web Image Monitorのヘルプをダウンロードして見る

Web Image Monitorのヘルプをお使いのパソコンのローカルディスクへダウンロードして見ることができます。ヘルプのURLにローカルディスクのパスを指定すると、インターネットへ接続せずにヘルプを見ることができます。

補足

- ❒ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］をクリックすると、通常はWeb Image Monitorのヘルプの目次を表示します。
- ❒ワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

ヘルプのダウンロード

1 使用しているOSをドロップダウンメニューから選択します。

2 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。

3 ［ダウンロード］をクリックします。

4 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。

5 ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。

ダウンロードしたWeb Image Monitorのヘルプを見る場合は、解凍した場所のパスを設定してください。

ヘルプへのアドレス（URL）リンク

パソコンまたはWebサーバーのヘルプファイルに、ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］のアドレス（URL）を次の手順でリンクすることができます。

1 管理者モードでWeb Image Monitorにアクセスします。

2 左フレーム内の［設定］をクリックします。

3 ［Webpage］をクリックします。

4 「ヘルプリンク先設定」の［URL］にヘルプファイルへのパスを入力します。

例えば、C:¥HELP¥JAにヘルプファイルをコピーしていた場合、「file://C:/HELP/」と入力します。また、Web サーバー上にファイルをコピーしていて URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html の場合、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。

5 ［適用］をクリックします。

Webブラウザを使う（IPSiO SP 4000の場合）

Webブラウザを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。この機能をWeb Status Monitorといいます。

❖ どんなことができるのか？

Web Status Monitorは、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンのWebブラウザ上からできる機能です。

Web Status Monitorでは以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の表示
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティの設定

❖ 本機の環境設定

この機能はTCP/IPプロトコルを使って動作します。Web Status Monitorを使用する場合は、本機でTCP/IPプロトコルの設定を行ってください。TCP/IPの設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

❖ 推奨ブラウザ

- Windows環境：
  Internet Explorer 5.5 以降
  Netscape 6.2 以降
- Macintosh環境：
  Netscape 6.2 以降
  Safari 1.0 以降

補足

- ❒ Netscape Navigatorをご使用でSSL（暗号化通信）の設定がされている場合、Netscape Navigator 7.0以降が必要となります。
- ❒ 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookieの使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- ❒ プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ ブラウザの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- ❒ Web Status Monitorで取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Webブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。

トップページを表示する

Web Status Monitorの表示方法とトップページの説明です。

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレス)/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Status Monitorのトップページが表示されます。

DNSサーバー、WINSサーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。

Web Status Monitorは、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

1. **ヘッダーエリア**
   ［English］をクリックすると英語表示に切り替わります。［RICOH Homepage］をクリックするとリコーのホームページに、［ヘルプ］をクリックするとリコーのホームページ内にあるヘルプにジャンプします。

2. **メニューエリア**
   設定 / 確認を行うためのメニュー項目が並んでいます。メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3. **ワークエリア**
   トップページでは、現在の機器の状態を表示します。また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。
   ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、Webブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。

管理者モードでアクセスする

Web Status Monitorに管理者モードでアクセスする方法です。

1 **Web Status Monitorのトップページで、［設定］をクリックします。**

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

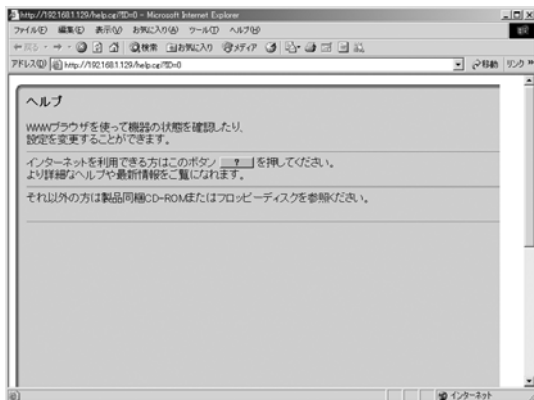
2 **パスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空白に、パスワードは「ricoh」と入力します。

管理者モードの画面が表示されます。

Web Status Monitorのヘルプについて

Web Status Monitorのヘルプを表示する方法です。

Web Status Monitorのヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］、またはワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックするとヘルプを見ることができます。

補足

- ワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。
- ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。CD-ROMの\HELP\WSMHELP\JA\index.htmlを開いてください。

5

Ridoc IO Adminを使う

Ridoc IO AdminはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上の機器を監視するソフトウェアです。ネットワーク上の複数の機器の管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

❖ Windowsの対象OSとプロトコルスタック

- Windows 95/98/Me日本語版
  Windows 95/98/Meに同梱のTCP/IPプロトコル
  Windows 95/98/Meに同梱のIPX/SPX互換プロトコル
  Windows 95/98/Meに同梱のNetWareネットワーククライアント
  NetWare Client32 for Windows 95
  IntraNetWare Client for Windows 95
  Novell Client for Windows 95/98/Me
- Windows 2000日本語版
  Windows 2000に同梱のTCP/IPプロトコル
  Windows 2000に同梱のIPX/SPXトランスポート
  Windows 2000に同梱のNetWare用クライアント
  Novell Client for Windows NT/2000/XP
- Windows Server 2003 日本語版
  Windows Server 2003に同梱のTCP/IPプロトコル
  Windows Server 2003に同梱のIPX/SPXトランスポート
- Windows XP日本語版
  Windows XPに同梱のTCP/IPプロトコル
  Windows XPに同梱のIPX/SPXプロトコル
  Novell Client for Windows NT/2000/XP
- Windows NT 4.0日本語版
  Windows NT 4.0に同梱のTCP/IPプロトコル
  Windows NT 4.0に同梱のIPX/SPX互換プロトコル
  Windows NT 4.0に同梱のClient Service for NetWare
  NetWare Client32 for Windows NT
  IntraNetWare Client for Windows NT
  Novell Client for Windows NT/2000/XP

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Adminでは以下の操作ができます。

- 機器の操作部からの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数の機器を監視できます。機器の台数が多いときはグループを作り、管理しやすいように機器を分類できます。
- 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 機器のネットワークに関する設定を変更できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- 登録されたユーザーコードごとに、印刷の利用可・不可を管理できます。
- 機器の状態変化をグループごとに設定し、通知することができます。

Ridoc IO Adminのインストール

Ridoc IO Adminのインストールについての説明です。

重要

- ❒起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

1 本機に同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Admin] をクリックします。

3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。

4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Adminをインストールします。

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

6 [OK] をクリックします。

「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

補足

- ❒システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

ネットワークインターフェースボードの設定を変更する

Ridoc IO Adminを使って、ネットワークインターフェースボードの設定を変更する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更する機器をクリックして反転表示させます。

4 ［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］を選択します。

Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ネットワークインターフェースボードが初期設定の状態の場合、イーサネットボード設定ツールが起動します。表示スタイルから［Webブラウザ］をチェックして［OK］をクリックします。

5 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

6 必要な項目を入力し、設定します。

7 Webブラウザを終了します。

8 Ridoc IO Adminを終了します。

参照

Webブラウザについて詳しくは、P.125 「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4010の場合）」または P.133 「Webブラウザを使う（IPSiO SP 4000の場合）」を参照してください。

機器側操作部のメニューをロックする

機器側操作部のメニューをロックする方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

3 一覧から機器側操作部のメニューをロックしたい機器をクリックして反転表示させせます。

4 ［ツール］メニューの［機器側設定］をポイントし、［機器側操作部のメニューロック］をクリックします。

Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

5 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

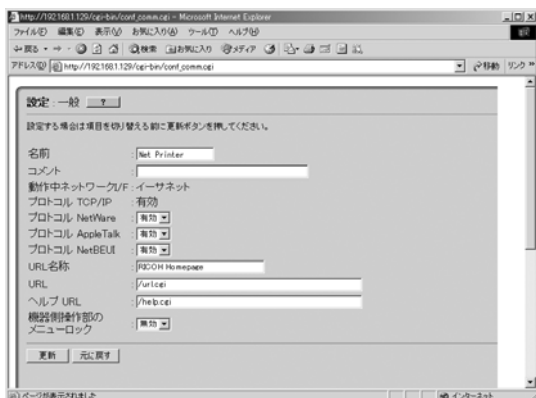
工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

IPSiO SP 4010の場合は、Web Image Monitorに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。

IPSiO SP 4000の場合は、Web Status Monitorに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。

6 Webブラウザを終了します。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

参照

設定項目について詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

用紙種類を設定する

用紙種類を設定する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

3 一覧から用紙種類を設定したい機器をクリックして反転表示させます。

4 ［ツール］メニューの［機器側設定］をポイントし、［用紙種類設定］をクリックします。

Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

5 ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

IPSiO SP 4010の場合は、Web Image Monitorに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。

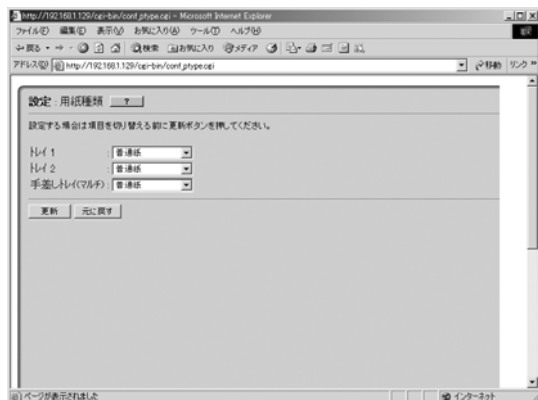
IPSiO SP 4000の場合は、Web Status Monitorに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。

6 Webブラウザを終了します。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

参照

設定項目について詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

5

ユーザー情報を管理する

Ridoc IO Adminでユーザー情報を管理する方法の説明です。

ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザーコードごとの印刷枚数を管理したり、利用可能な機能を制限したりすることができます。

ユーザー情報管理ツールを起動する

ユーザー情報管理ツールを起動する方法の説明です。

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。**

機器の一覧が表示されます。

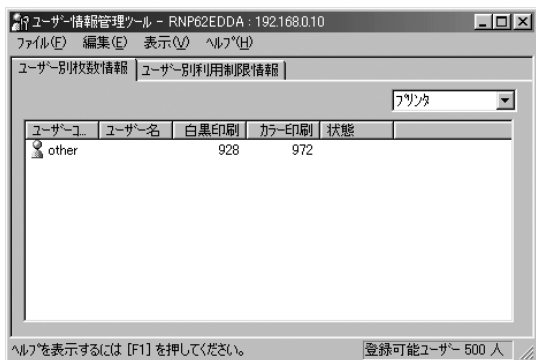
3 **一覧からユーザー情報を管理する機器をクリックして反転表示させます。**

4 **［ツール］メニューの［ユーザー情報管理ツール］を選択します。**

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

5 **ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**

工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

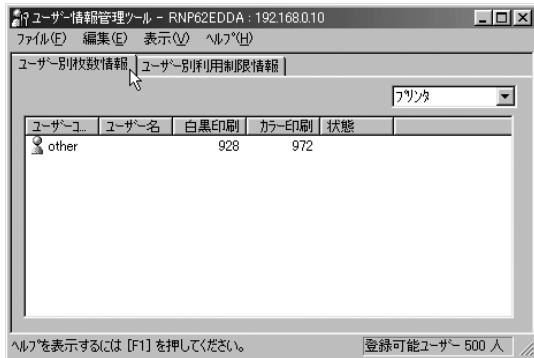
ユーザー情報管理ツールが起動します。

参照

ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

印刷枚数を表示する

ユーザーコード別の印刷枚数情報を表示する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminのユーザー情報管理ツールを起動します。

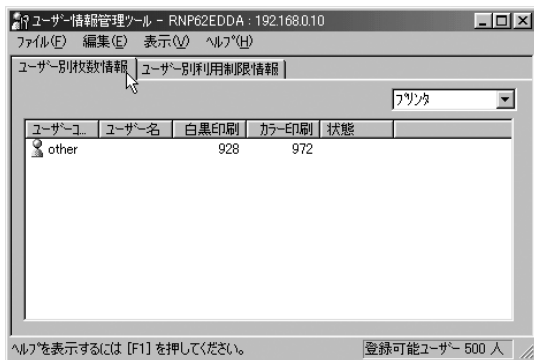
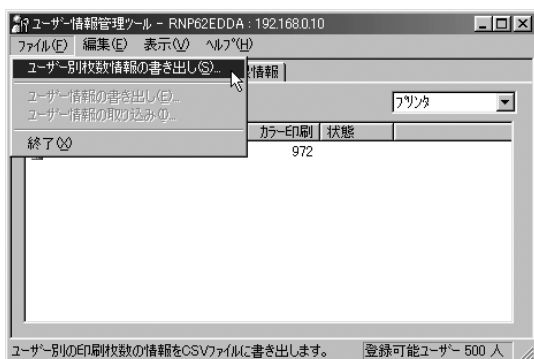
2 ［ユーザー別枚数情報］タブをクリックします。

本機で印刷した枚数に関する情報が表示されます。

3 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

印刷枚数の情報を保存する

ユーザーコード別の印刷枚数情報をcsvファイルで保存する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminのユーザー情報管理ツールを起動します。

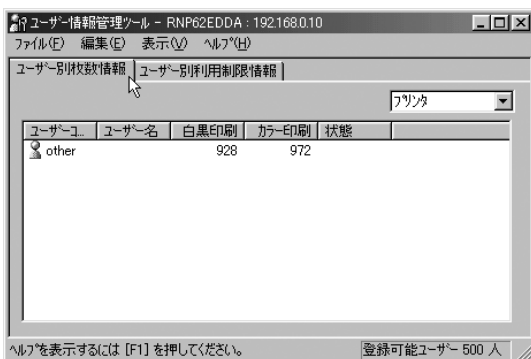
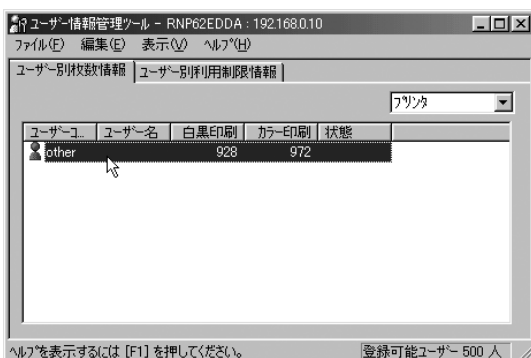
2 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別枚数情報］タブをクリックします。

3 ［ファイル］メニューをクリックし、［ユーザー別枚数情報の書き出し］をクリックします。

4 保存するフォルダとファイル名を指定し、［保存］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

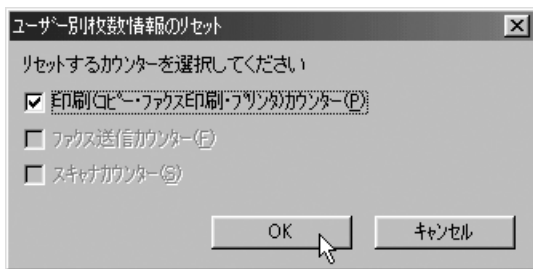
印刷枚数の情報をリセットする

ユーザーコードごとに、印刷枚数の情報をリセットし、表示を0に戻す方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminのユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別枚数情報］タブをクリックします。

3 リセットするユーザーをクリックします。

4 ［編集］メニューをクリックし、［ユーザー別枚数情報のリセット］をクリックします。

5

5 リセットする項目のチェックボックスにチェックを付け、［OK］をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

6 ［OK］をクリックします。

7 ［編集］メニューをクリックし、［設定内容の送信］をクリックします。

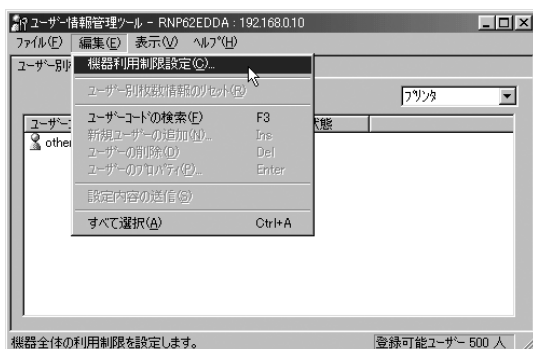
変更した情報が本機に反映されます。

8 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

利用制限を設定する

本機の機能について、機能ごとに利用制限を設定する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminのユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［編集］メニューをクリックし、［機器利用制限設定］をクリックします。

3 利用制限を設定する機能のチェックボックスにチェックを付けます。

4 ［OK］をクリックします。

設定内容が本機に反映されます。

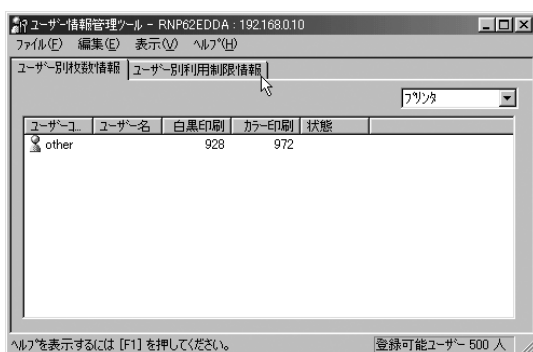
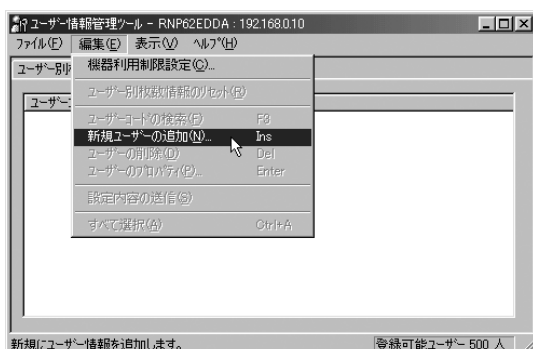
5 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

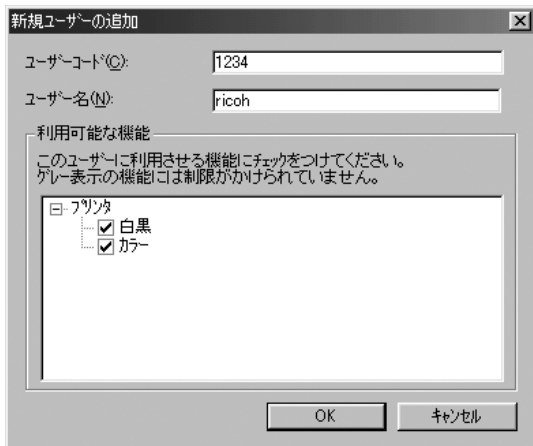
ユーザーごとに利用可能な機能を設定する

ユーザーごとに利用可能な機能を設定する方法の説明です。

ここでは、ユーザーを追加して利用可能な機能を設定する方法を説明します。

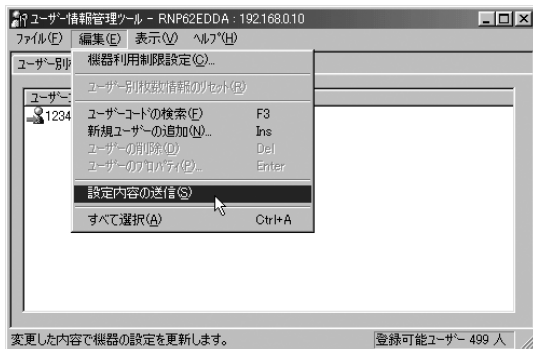
1 Ridoc IO Adminのユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別利用制限情報］タブをクリックします。

3 ［編集］メニューをクリックし、［新規ユーザーの追加］をクリックします。

4 ユーザーコードとユーザー名を入力します。

5 追加したユーザーに使用を許可する機能のチェックボックスにチェックを付けます。

チェックボックスがグレーになっている機能は利用制限が設定されていません。

6 ［OK］をクリックします。

ユーザーが追加されます。

7 ［編集］メニューをクリックし、［設定内容の送信］をクリックします。

設定内容が本機に反映されます。

8 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

参照

利用制限の設定方法について詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

省エネモードを設定する

省エネモードを設定する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

3 一覧から省エネモードを設定する機器をクリックして反転表示させます。

グループ内の機器を全て設定したいときには選択する必要はありません。

4 ［グループ］メニューをクリックし、［省エネモード］をポイントします。

グループ内の機器を全て設定する場合は［グループ機器］を選択ます。選択した機器だけを設定する場合は［選択機器］を選択します。いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。

5 Ridoc IO Adminを終了します。

参照

省エネモードの設定値について詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

パスワードを設定する

パスワードを設定する方法の説明です。

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更する機器をクリックして反転表示させます。

4 ［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］を選択します。

Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ネットワークインターフェースボードが初期設定の状態の場合、イーサネットボード設定ツールが起動します。表示スタイルから［Webブラウザ］をチェックして［OK］をクリックします。

5 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

6 ［設定］の［機器］をクリックします。

7 ［管理者登録/変更］をクリックし、設定を変更します。

8 Webブラウザを終了します。

9 Ridoc IO Adminを終了します。

機器の状態を表示する

機器の状態を表示する方法の説明です。

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。**

一覧に機器の状態がアイコンで表示されます。状態表示アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

3 **より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたい機器をクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。**

機器の状態が、ダイアログに表示されます。

4 **Ridoc IO Adminを終了します。**

参照

ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

本体機器名とコメントを変更する

本体機器名とコメントを変更する方法の説明です。

1 **Ridoc IO Adminを起動します。**

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］、［IPX/SPX］または［TCP/IP SNMP V3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。**

機器の一覧が表示されます。

3 **設定する機器をクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。**

Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

4 **ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

5 **［設定］の［機器］をクリックします。**

6 **［システム］をクリックし、設定を変更します。**

7 **Webブラウザを終了します。**

8 **Ridoc IO Adminを終了します。**

補足

❒［名前］には、本体機器名を半角英数31バイト以内で入力します。

❒工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。RNPで始まる名前は入力できません。

❒［コメント］には、機器のコメントを半角英数31バイト以内で入力します。

Ridoc IO Naviを使う

Ridoc IO Naviを使って機器を監視する方法の説明です。

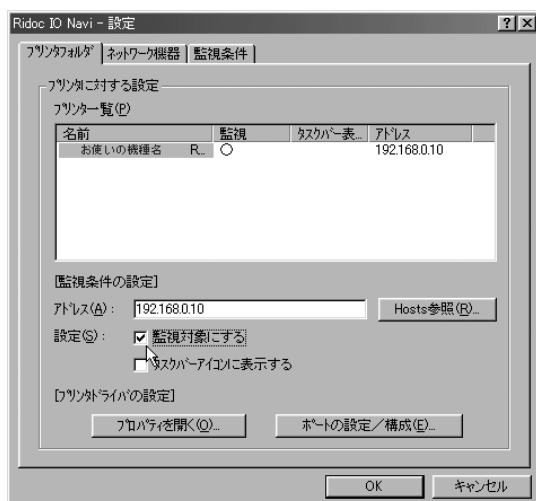
監視する機器を設定する

Ridoc IO Naviで監視する機器を設定する方法の説明です。

1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 タスクトレイの右端のRidoc IO Naviアイコンを右クリックし、表示されたポップアップメニューの［プロパティ］-［機器監視設定］をクリックします。

3 ［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。

4 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］にチェックを付けます。

［タスクバーアイコンに表示する］にチェックを付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

5 ［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

機器の状態を表示する

Ridoc IO Naviで機器の状態を表示する方法の説明です。

1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 タスクトレイの右端のRidoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。

機器の状態が、ダイアログに表示されます。

参照

ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合

Ridoc IO NaviでIPPを使用する際の注意事項です。

- 本機が受け付けるRidoc IO Naviからの印刷ジョブは、1件のみです。本機が印刷中のとき、他のユーザーがRidoc IO Naviを使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーのRidoc IO Naviは、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Naviが本機に接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、本機に接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、本機が印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Naviからの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなって本機により印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要があります。
- 他のパソコンから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーがRidoc IO Naviを使用して印刷しようとした場合、本機に接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPPの印刷ポート名にIPアドレスは使用できません。Ridoc IO Naviがポート名としてIPアドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。
- SSLを使用する場合、本機にアクセスするときは、「https://（本機のアドレス）/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorerがインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0以降を推奨します。
- 本機にアクセスするとき、［セキュリティの警告］が表示された場合、ご使用のパソコンに証明書をインストールする必要があります。この場合、［証明書のインポートウィザード］で証明書ストアの場所は、［証明書をすべて次のストアに配置する］を選択し、［信頼されたルート］の［ローカルコンピュータ］を選択します。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態を通知することができます。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。

アラートを通知するタイミングや状態なども設定することができます。

IPSiO SP 4000では、メール通知機能を使用できません。

1 本機の操作部を使用して、［システム設定］メニューの［メール通知設定］を［する］に設定します（工場出荷時は［する］に設定されています）。

2 Webブラウザを起動し、アドレスバーに「http://（本機のIPアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorerがインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer 6.0以降を推奨します。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

3 Web Image Monitorのトップページで、［ログイン］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄です。

5 左フレーム内の［設定］をクリックし、［機器］をクリックして表示される［メール］をクリックします。

6 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 受信欄の各項目
- SMTP欄の各項目
- POP before SMTP欄の各項目
- POP3/IMAP4欄の各項目
- メール受信ポート欄の各項目
- メール通知欄の各項目

7 ［適用］をクリックします。

「自動メール通知」の設定

1 左フレーム内の［自動メール通知］をクリックします。

通知項目に関する設定画面が表示されます。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 共通本文
- 通知先グループ欄の各項目
- 項目ごとの通知先欄の各項目
  項目の詳細を設定する場合は、［各項目の詳細設定］の［編集］をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して［OK］をクリックします。

3 ［適用］をクリックします。

4 Webブラウザを閉じます。

参照

システム設定メニューについては、P.109 「システム設定メニュー」を参照してください。

「要求時メール通知」の設定

1 左フレーム内の［要求時メール通知］をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 共通件名
- 要求時メール通知のアクセス制限の各項目
- 受信可能メールアドレス/ドメイン設定の各項目

3 ［適用］をクリックします。

4 Webブラウザを閉じます。

telnetを使う

telnetを使ってプリンターの状態や設定内容の確認や、各種の設定を行うことができます。

重要

- ❒ リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- ❒ パスワードはWeb Image MonitorまたはWeb Status Monitorによる設定で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

補足

- ❒ お使いの機種によっては、設定できないコマンドがあります。

操作の流れ

telnetを起動してから終了するまでの手順についての説明です。

重要

- ❒ リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 本機のIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてtelnetを起動します。

```
% telnet 本機のアドレスス
```

2 ログイン名とパスワードを入力します。

工場出荷時の設定の場合、IPSiO SP 4010ではユーザー名を「admin」と入力し、パスワードは空欄です。IPSiO SP 4000ではユーザー名を空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

3 コマンドを入力します。

4 telnetを終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enterキーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、**Enter**キーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、**Enter**キーを押します。

補足

- ❒「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- ❒ 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- ❒ リセットしてもActive状態である印刷中、または印刷処理待ちの印刷ジョブは印刷されますが、Waiting状態であるプリンターへのファイル転送待ちのジョブは破棄されます。

access

アクセスコントロールの表示と設定は、accessコマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> access
```

❖ アクセスレンジの設定

```
msh> access 対象番号range 開始アドレス　終了アドレス
```

（例）アクセス可能なIPアドレスを192.168.0.10から192.168.0.20に設定する

```
msh> access 1 range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

❖ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

- アクセスコントロールの初期化は、全てのアクセスレンジを工場出荷時の設定に戻し、「0.0.0.0」になります。

5

補足

❒ アクセスレンジは、印刷できるワークステーションをIPアドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。

❒ アクセスレンジの設定で、開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。

❒ アクセスレンジは、5件まで設定可能です。対象番号を省略した場合は、設定が無効になります。

❒ 制限されたIPアドレスからはWeb Image MonitorまたはWeb Status Monitorにアクセスすることはできません。

autonet

AutoNet機能を使用するには、autonetコマンドを使用します。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> autonet
```

❖ AutoNet機能の設定

```
msh> autonet {on|off}
```

- AutoNet機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> autonet priority
```

❖ インターフェースの優先設定

```
msh> autonet priority インターフェース
```

- AutoNetパラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。
- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

補足

❒ 現在のインターフェース優先順位の表示は、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

参照

AutoNet機能について詳しくは、P.295 「AutoNet機能を使用する」を参照してください。

bmlinks

BMLinkSの表示や設定は、bmlinksコマンドを使用します。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> bmlinks
```

❖ 動作モードの設定

```
msh> bmlinks mode {on|off}
```

- BMLinkSを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 工場出荷時は「on」が設定されています。

❖ BMLinkSの設定

msh> bmlinks パラメーター

パラメーター	設定される項目
profile {1801-86400}	BMLinkSプロファイルの有効期限を秒数で設定します。デフォルトは10,800です。
ttl {1-255}	AdvertiseパケットのTTL（Time To Live）を設定します。デフォルトは4です。
timeout {30-65535}	印刷データ受信タイムアウト時間を秒数で設定します。デフォルトは900です。
devicename 文字列	BMLinkSプリンタサービス名を設定します。デフォルトは、RNPxxxxxxです。これは、システム設定リストの「インターフェース情報」に記載されている「プリンタ名」です。
country 文字列	国名情報を設定します。 デフォルトはJPです。
orgnz 文字列	会社／組織名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
branch 文字列	支店名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
building 文字列	ビル名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
floor 文字列	階数情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
block 文字列	ブロック名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。

devicename

本体機器名の表示や設定は、devicenameコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

msh> devicename

❖ 本体機器名の設定

msh> devicename name 文字列

- 「文字列」には、本体機器名を31バイト以下で指定します。
- 1台の機器に複数の本体機器名を設定することはできません。

❖ 本体機器名の初期化

msh> devicename clear name

- 本体機器名を工場出荷時の設定に戻します。

dhcp

DHCPの設定は、dhcpコマンドを使用します。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> dhcp
```

❖ DHCP機能の設定

```
msh> dhcp インターフェース {on|off}
```

- DHCP機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- DNSサーバーアドレスやドメイン名をDHCPから取得する場合、必ず「on」に設定してください。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

❖ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> dhcp priority
```

❖ インターフェースの優先設定

```
msh> dhcp priority インターフェース
```

- DNSサーバーアドレスやゲートウェイアドレスが、どのインターフェースのDHCPサーバーのものを優先して利用するかを設定します。
- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

❖ DNSサーバーアドレスの選択

```
msh> dhcp dnsaddr {dhcp|Static}
```

- DNSサーバーのアドレスをDHCPサーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
- DNSサーバーのアドレスをDHCPサーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

❖ ドメイン名の選択

```
msh> dhcp domainname {dhcp|Static}
```

- ドメイン名をDHCPサーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
- ドメイン名をDHCPサーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

参照

DHCP機能について詳しくは、P.295 「DHCPを使用する」を参照してください。

DNSサーバーアドレスの設定については、P.162 「dns」を参照してください。

ドメイン名の設定については、P.163 「domainname」を参照してください。

diprint

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定は、diprintコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
timeout=300(sec)
bidirect off
```

- 「port」使用するポート番号が表示されます。
- 「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

❖ タイムアウトの設定

```
msh> diprint timeout {30～65535}
```

- ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。
- 工場出荷時の設定値は300（秒）です。

dns

DNS（Domain Name System）の表示や設定は、dnsコマンドを使用します。IPSiO SP 4000ではdnsコマンドを使用できません。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> dns
```

❖ DNSサーバーの設定

```
msh> dns 対象番号 server アドレス
```

- 「アドレス」には、DNSサーバーアドレスを設定します。
- 「対象番号」は1～3までです。3件まで登録できます。
- 「255.255.255.255」は設定できません。

❖ ダイナミックDNS機能の設定

```
msh> dns インターフェース ddns {on|off}
```

- ダイナミックDNS機能の有効／無効を指定します。
- ダイナミックDNS機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

❖ レコード重複時の動作指定

```
msh> dns overlap {update|add}
```

- レコードが重複したときの動作を指定します。
- 「update」は古いレコードを削除し、新しくレコードを登録するときに指定します。
- 「add」は古いレコードを残し、新しいレコードを追加登録するときに指定します。
- CNAMEの重複の場合は、設定にかかわらず更新を行います。

❖ CNAMEの登録

```
msh> dns cname {on|off}
```

- CNAMEを登録するかどうかを指定します。
- CNAMEの登録を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 登録されるCNAMEはRNPからはじまるデフォルトの名前です。CNAMEは変更できません。

❖ Aレコードの登録

```
msh> dns arecord {dhcp|own}
```

- 「dhcp」は本機を代行して、DHCPサーバがDNSクライアントとしてAレコードの登録を行う場合に指定します。
- 「own」は本機がDNSクライアントとしてAレコードの登録を行う場合に指定します。登録には、「DHCP」で指定した「DNSサーバアドレスの選択」および「ドメイン名の選択」の値が使用されます。

5

❖ レコードの更新間隔の設定

```
msh> dns interval 更新間隔時間
```

- ダイナミックDNS機能を使用しているときに、レコードを更新する間隔を指定します。
- 更新間隔を1時間単位で指定します。1〜255の間で指定します。
- 初期値は「24」です。

domainname

ドメイン名の表示や設定は、domainnameコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> domainname
```

❖ 現在の各インターフェースのドメイン名表示

```
msh> domainname インターフェース
```

❖ 各インターフェースのドメイン名設定

```
msh> domainname インターフェース name ドメイン名
```

- 「ドメイン名」は半角英数字63文字以下で指定します。
- イーサネットインターフェースと無線LANインターフェースは同じドメイン名になります。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

❖ 各インターフェースのドメイン名削除

```
msh> domainname インターフェース clear ドメイン名 => name
```

help

使用できるコマンドの一覧および使用方法の表示は、helpコマンドを使用します。

❖ コマンド一覧の表示

```
msh> help
```

❖ コマンド使用方法の表示

```
msh> help コマンド名
```

hostname

ホスト名を変更するには、hostnameコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> hostname
```

❖ 各インターフェースのホスト名の設定

```
msh> hostname インターフェース name ホスト名
```

- 「ホスト名」は、IPSiO SP 4010では半角英数字63文字以下、IPSiO SP 4000では半角英数字47文字以下で指定します。
- RNPまたはrnpではじまる名前は設定できません。
- イーサネットインターフェースと無線LANインターフェースは同じホスト名になります。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

❖ 各インターフェースのホスト名の初期化

```
msh> hostname インターフェース clear name
```

ifconfig

TCP/IPの、IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスの表示や設定は、ifconfigコマンドを使用します。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> ifconfig
```

❖ IPアドレスの設定

```
msh> ifconfig インターフェース アドレス
```

- この設定しない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

（例）イーサネットインターフェースのIPアドレスを192.168.15.16に設定する

```
msh> ifconfig ether 192.168.15.16
```

❖ ネットマスクの設定

```
msh> ifconfig インターフェース netmask アドレス
```

（例）イーサネットインターフェースのサブネットマスクを255.255.255.0に設定する

```
msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0
```

❖ ブロードキャストアドレスの設定

```
msh> ifconfig インターフェース broadcast アドレス
```

❖ インターフェース切り替え

```
msh> ifconfig インターフェース up
```

- 拡張無線LANボード（オプション）接続時に、イーサネットと無線LANのどちらを使用するか指定することができます。

補足

❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

❒ IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレスはイーサネットインターフェース、無線LANインターフェース共通です。

❒ TCP/IPの設定はイーサネットインターフェースと無線LANインターフェースで共通です。インターフェースの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェースが引き継ぎます。

❒ アドレスを16進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

info

給紙トレイ、排紙トレイ、およびエミュレーションなどの機器情報の表示は、infoコマンドを使用します。

❖ 機器情報の表示

```
msh> info
```

参照

表示される内容について詳しくは、P.183 「ネットワーク経由で確認できる情報」を参照してください。

ipp

IPPの使用環境の設定は、IPPコマンドを使用します。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> ipp
```

次の設定値が表示されます。

```
timeout=900(sec)
auth basic
```

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライをやめて印刷ジョブを一時停止するまでの時間（タイムアウト）が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

❖ タイムアウトの設定

```
msh> ipp timeout {30 - 65535}
```

- 印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は30〜65535 秒です。

❖ IPPユーザー認証方式の設定

```
msh> ipp auth {basic|digest|off}
```

- IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。
- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。
- ユーザー認証を行うように指定した場合、ユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは10組まで登録できます。

❖ IPPユーザー名の登録

```
msh> ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
msh> Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
msh> IPP user name:user1
msh> IPP password:*******
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed
```

netware

プリントサーバ名、ファイルサーバ名などのNetware関連の設定は、netwareコマンドを使用します。

❖ Netwareプリントサーバ名の設定

```
msh> netware pname 文字列
```

- 「文字列」には、Netwareプリントサーバ名を47文字以下で指定します。

❖ Netwareファイルサーバ名の設定

```
msh> netware fname 文字列
```

- 「文字列」には、Netwareファイルサーバ名を47文字以下で指定します。

❖ encapタイプの設定

```
msh> netware encap {802.3|802.2|snap|ethernet2|auto}
```

❖ リモートプリンタ番号の設定

```
msh> netware rnum {0-254}
```

❖ タイムアウト値の設定

```
msh> netware timeout {3-255}
```

❖ プリントサーバーモードへの設定

```
msh> netware mode pserver
msh> netware mode ps
```

❖ リモートプリンタモードへの設定

```
msh> netware mode rprinter
msh> netware mode rp
```

❖ NDSコンテキスト名の設定

```
msh> netware context 文字列
```

❖ SAPインターバル値の設定

```
msh> netware sap_interval {0-3600}
```

❖ ログインモードをファイルサーバ指定に設定

```
msh> netware login server
```

❖ ログインモードをNDSツリー指定に設定

```
msh> netware login tree
```

❖ ログインするNDSツリー名の設定

```
msh> netware tree NDS ツリー名
```

passwd

リモートメンテナンスのパスワードの変更は、passwdコマンドを使用します。

❖ パスワードの変更

```
msh> passwd
```

- [Old password:]が表示されるので、現在のパスワードを入力します。
- [New password:]が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
- [Retype new password:]が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

補足

❒ パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。

❒ 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で3〜8バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。

prnlog

プリントログ情報の表示は、prnlogコマンドを使用します。

❖ プリントログ情報の表示

```
msh> prnlog
```

- これまでに印刷した16件分のプリントログ情報が表示されます。

```
msh> prnlog {ID番号}
```

- 表示されたプリントログ情報のID番号を指定すると、印刷ジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

補足

❒ 表示される内容について詳しくは、P.183「ネットワーク経由で確認できる情報」を参照してください。

rendezvous

Rendezvous関連の表示と設定は、rendezvousコマンドを使用します。IPSiO SP 4000ではrendezvousコマンドを使用できません。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> rendezvous
```

❖ 現在のコンピューター名の表示

```
msh> rendezvous cname
```

❖ 現在の設置場所情報の表示

```
msh> rendezvous location
```

❖ Rendezvousのコンピューター名の設定

```
msh> rendezvous cname 文字列
```

- 「文字列」には、コンピューター名を半角英数字63文字以下で指定します。

❖ 設置場所情報の設定

```
msh> rendezvous location 文字列
```

- 「文字列」には、設置場所の情報を英数字32文字以下で指定します。

❖ プロトコルごとの優先順位の設定

```
msh> rendezvous diprint {0–99}
msh> rendezvous lpr {0–99}
msh> rendezvous ipp {0–99}
```

- diprint、lpr、ippそれぞれの優先度を設定します。数字が小さいほど優先度が高くなります。

❖ IP TTL値の設定

```
msh> rendezvous ipttl {1–255}
```

- IP TTL値（越えられるルータの数）を設定します。初期値は255です。

❖ コンピューター名と設置場所情報のリセット

```
msh> rendezvous clear {cname | location}
```

- 「cname」を指定するとコンピューター名をリセットします。本機を再起動すると、コンピューター名の表示は初期値になります。
- 「location」を指定すると設置場所情報をリセットします。設置場所情報の表示は空欄になります。

❖ インターフェースの設定

```
msh> rendezvous linklocal インターフェース
```

- この設定をしない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

route

TCP/IPルーティングテーブルの設定は、routeコマンドを使用します。

❖ 全route情報の表示

```
msh> route
```

❖ 該当route情報の表示

```
msh> route get destination
```

- 「destination」はIPアドレスを指定します。

❖ 指定されたdestinationの有効/無効の切り替え設定

```
msh> route active {host|net} destination {on|off}
```

- {host | net}省略時はhost設定となります。

❖ ルーティングテーブルへの追加設定


```
msh> route add {host|net} destination gateway
```

- 「destination」で表されるhost（or network）ルートおよび「gateway」で表されるgatewayアドレスをテーブルに追加します。
- 「destination」および「gateway」はIPアドレスを指定します。
- {host | net}省略時はhost設定となります。

❖ デフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add default gateway
```

- 「gateway」はIPアドレスを指定します。

❖ 指定されたdestinationのルーティングテーブルからの削除設定

```
msh> route delete {host|net} destination
```

- {host | net}省略時はhost設定となります。
- 「destination」はIPアドレスを指定します。

❖ 全route情報の削除設定

```
msh> route flush
```

補足

❒ ルーティングテーブルの最大値は16です。

❒ ルーターを越えて別のネットワークのネットワーク機器とやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。

❒ ゲートウェイアドレスはすべてのインターフェース共通になります。

set

プロトコルの情報の表示、有効／無効の設定は、setコマンドを使用します。

❖ プロトコルの情報（有効／無効）の表示

```
msh> set tcpip
msh> set appletalk
msh> set netware
msh> set smb
msh> set protocol
```

- protocolを指定すると、tcpip、appletalk、netware、smbの情報を表示します。

```
msh> set lpr
msh> set ftp
msh> set rsh
msh> set diprint
msh> set web
msh> set snmp
msh> set ssl
msh> set nrs
msh> set rfu
msh> set ipp
msh> set http
msh> set rendezvous
```

❖ プロトコルの有効／無効の設定

- プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。

```
msh> set tcpip {up|down}
```

- TCP/IPを無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。
- TCP/IPを無効にすると、lpr、ftp、rsh、diprint、web、snmp、ssl、ipp、http、rendezvousも使用できなくなります。

```
msh> set appletalk {up|down}
msh> set netware {up|down}
msh> set smb {up|down}
msh> set lpr {up|down}
msh> set ftp {up|down}
msh> set rsh {up|down}
msh> set diprint {up|down}
msh> set web {up|down}
msh> set snmp {up|down}
msh> set ssl {up|down}
```

- 本機にSSL（暗号化通信）の機能が無い場合は、有効に設定してもSSL（暗号化通信）を使用することはできません。

```
msh> set nrs {up|down}
msh> set rfu {up|down}
msh> set ipp {up|down}
msh> set http {up|down}
msh> set rendezvous {up|down}
```

show

ネットワークインターフェースボードの設定状況の表示は、showコマンドを使用します。

❖ 現在の設定値の表示

```
msh> show
```

- -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- SMBプロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力したデータを正しく表示するためには、シフトJISが表示できる環境で使用してください。

参照

表示される内容について詳しくは、P.192「ネットワークインターフェースボードの情報」を参照してください。

slp

SLPの設定を変更するには、slpコマンドを使用します

```
msh> slp ttl ttl_val
```

- NetWare 5/5.1のPureIP環境でご使用の場合、SLPを用いてNetWareサーバを検索します。slpコマンドを使うと、SLPマルチキャストパケットが使用するTTL値（通過できるルーターの数+1）を指定できます。
- 工場出荷時の設定は1です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこのTTL値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- 設定できるSLPパケットのTTL値は1～255です。

smb

コンピュータ名やワークグループ名などSMB関連の項目の設定、削除は、smbコマンドを使用します。

❖ コンピュータ名の設定

msh> smb comp コンピュータ名

- 「コンピュータ名」を英数半角15文字以下で設定します。RNPまたはrnpではじまる名前は設定できません。

❖ ワークグループ名の設定

msh> smb group ワークグループ名

- 「ワークグループ名」を英数半角15文字以下で設定します。

❖ コメントの設定

msh> smb comment コメント

- 「コメント」を英数半角31文字以下で設定します。

❖ 印刷完了通知の設定

msh> smb notif {on | off}

- 印刷完了通知をする場合は「on」、通知をしない場合は「off」を指定します。

❖ コンピュータ名の削除

msh> smb clear comp

❖ グループ名の削除

msh> smb clear group

❖ コメントの削除

msh> smb clear comment

❖ プロトコルの設定

msh> smb protocol [netbeui {up | down} | tcpip {up | down}]

- NetBEUI、およびTCP/IPプロトコルの有効／無効を指定します。有効にする場合は「up」、無効にする場合は「down」を指定します。

snmp

コミュニティ名などSNMPに関する表示、設定は、snmpコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> snmp
```

- 登録番号1の工場出荷時の設定は次のとおりです。
  コミュニティ名：public
  IPアドレス：0.0.0.0
  アクセスタイプ：read-only / trap off
- 登録番号2の工場出荷時の設定は次のとおりです。
  コミュニティ名：ricoh
  IPアドレス：0.0.0.0
  アクセスタイプ：read-write / trap off
- -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- 登録番号を指定すると、その番号の現在のコミュニティ設定内容を表示します。

❖ SNMP情報と使用可能なプロトコルの表示

```
msh> snmp ?
```

❖ コミュニティ名の設定

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

- 設定できる「登録番号」は1～10です。
- 登録番号の1～10にpublicが存在しない場合、Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviから機器を参照することはできません。コミュニティ名を変更した場合、Ridoc IO Adminとともにインストールされる「SNMPコミュニティ名設定ツール」で、機器側の設定に合わせてパソコンのコミュニティ名を変更してください。
- コミュニティ名は英数半角15文字以下で設定します。

❖ コミュニティ名の削除

```
msh> snmp 登録番号 clear name
```

- 削除できる「登録番号」は1～10です。

❖ アクセスタイプの設定

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
no	アクセスできません（not accessible）
read	情報の読み出しのみ可能（read-only）
write	情報の読み出しと書き込みが可能（read-write）
trap	エラー情報を通知（trap）

❖ プロトコルの設定

`msh> snmp {ip | ipx} {on | off}`

- 使用可能なプロトコルを選択します。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。
- TCP/IPの場合はip、IPX/SPXの場合は「ipx」を指定します。
- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ 登録番号ごとのプロトコルの設定

`msh> snmp 登録番号 active {ip | ipx} {on | off}`

- 登録番号ごとにプロトコルの設定を変更します。ただし、プロトコル設定で無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

❖ アクセス設定

`msh> snmp 登録番号 {ip/addr | ipx} アドレス`

- 「アドレス」には、使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。
- 「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。
- 「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。
- TCP/IPを使用するときはアドレスとしてIPアドレスを、IPX/SPXを使用するときはIPXアドレスを入力します。
- IPX アドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードのMACアドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

❖ sysLocationの設定

`msh> snmp location`

❖ sysLocationの削除

`msh> snmp clear location`

❖ sysContactの設定

`msh> snmp contact`

❖ sysContactの削除

`msh> snmp clear contact`

❖ SNMP V1V2機能の設定

`msh> snmp v1v2 {on | off}`

- 有効にする場合は「on」、無効にする場合は「off」を指定します。

❖ SNMP V3機能の設定

`msh> snmp v3 {on | off}`

- 有効にする場合は「on」、無効にする場合は「off」を指定します。

❖ SNMP TRAPの設定

`msh> snmp trap {v1 | v2 | v3} {on | off}`

- 有効にする場合は「on」、無効にする場合は「off」を指定します。

❖ リモート設定許可の設定

```
msh> snmp remote {on | off}
```

- 有効にする場合は「on」、無効にする場合は「off」を指定します。

❖ SNMP V3 TRAPの設定値の表示

```
msh> snmp v3trap
msh> snmp v3trap {1- 5}
```

- 1～5までの数字を設定すると、その番号の設定値のみ表示します。

❖ SNMP V3 TRAP送信先アドレスの設定

```
msh> snmp v3trap {1- 5} {ip/addr | ipx} アドレス
```

❖ SNMP V3 TRAP送信プロトコルの設定

```
msh> snmp v3trap {1- 5} active {ip | ipx} {on | off}
```

❖ SNMP V3 TRAPユーザーアカウントの設定

```
msh> snmp v3trap {1- 5} account アカウント名
```

- 「アカウント名」は英数半角32文字以下で設定します。

❖ SNMP V3 TRAPユーザーアカウントの削除

```
msh> snmp v3trap {1- 5} clear account
```

❖ SNMP V3暗号アルゴリズムの設定

```
msh> snmp v3auth {md5 | sha1}
```

❖ SNMP V3暗号化の設定

```
msh> snmp v3priv {auto | on}
```

- 「auto」を設定すると、暗号化可能な場合に暗号化されます。
- 「on」を設定すると、平文通信は不可能となり、暗号化可能な場合のみ通信ができます。

補足

❒ SNMP V3の機能を使うには、セキュリティオプションが必要です。

❒ 暗号化可能な場合とは、本機にセキュリティオプションが装着されていて、暗号パスワードが設定されていることです。

5

sntp

SNTPの設定は、sntpコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> sntp
```

❖ NTPサーバーアドレスの設定

```
msh> sntp server アドレス
```

❖ インターバルの設定

```
msh> sntp interval インターバル値
```

- 設定したNTPサーバーと同期を取る間隔を指定します。工場出荷時の設定値は60（分）です。
- 設定できる「インターバルの値」は16〜16384（分）です。
- 0を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけNTPサーバーと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

❖ タイムゾーンの設定

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

- NTPサーバーから取得した時刻情報との時間差を設定します。時間の書式は24時間単位となります。

spoolsw

スプール印刷の設定は、spoolswコマンドを使用します。スプール印刷設定はdiprint、lpr、ipp、SMB、BMLinkS、およびftpプロトコルに対応しています。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> spoolsw
```

❖ スプール印刷機能の設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- スプール印刷機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ ジョブの初期化の設定

```
msh> spoolsw clear job {on | off}
```

- 本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、本機の電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定します。

❖ プロトコルの設定

```
msh> spoolsw diprint {on | off}
msh> spoolsw lpr {on | off}
msh> spoolsw ipp {on | off}
msh> spoolsw smb {on | off}
msh> spoolsw bmlinks {on | off}
msh> spoolsw ftp {on | off}
```

- プロトコルごとにスプール印刷機能の有効、無効を設定します。

補足

- ❒スプール印刷設定のspoolswコマンドは、本機にハードディスクが装着されている場合に有効になります。

status

本機の状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）の表示は、statusコマンドを使用します。

❖ 表示

```
msh> status
```

参照

表示される内容について詳しくは、P.183「ネットワーク経由で確認できる情報」を参照してください

syslog

本機のシステムログ情報として記録されたメッセージの表示は、syslogコマンドを使用します。

❖ メッセージの表示

```
msh> syslog
```

参照

表示される内容について詳しくは、P.197 「システムログ情報」を参照してください。

upnp

ユニバーサル プラグ アンド プレイに関する表示、設定は、upnpコマンドを使用します。

❖ 公開URLの表示

```
msh> upnp url
```

❖ 公開URLの設定

```
msh> upnp url 文字列
```

- 「文字列」には、URL文字列を入力します。

web

Web Image MonitorまたはWeb Status Monitor関連の表示、設定は、webコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> web
```

❖ リンク先として登録するURLの設定

```
msh> web x url http://リンク先のURLまたはIPアドレス/
```

- 「x」は対象番号の1～2を指定します。2件まで登録・指定できます。

❖ リンク先として登録されているURLの削除

```
msh> web x clear url
```

- 「x」は対象番号の1～2を指定します。

❖ リンク先として登録するURLのリンク名の設定

```
msh> web x name リンク名
```

- 「x」は対象番号の1～2を指定します。

❖ リンク先として登録されているURLのリンク名の削除

```
msh> web x clear name
```

- 「x」は対象番号の1～2を指定します。

❖ ヘルプの参照先URLの設定

```
msh> web help http://ヘルプのURLまたはIPアドレス/help/
```

❖ ヘルプの参照先URLの削除

```
msh> web clear help
```

wiconfig

無線LANの設定は、wiconfigコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> wiconfig
```

❖ 無線LANカードの情報の表示

```
msh> wiconfig cardinfo
```

- 無線LANインターフェースが有効になっていない場合、拡張無線LANカードの情報は表示できません。

❖ 設定

```
msh> wiconfig パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
mode {ap|adhoc|802.11adhoc}	インフラストラクチャーモード（ap）、802.11アドホックモードまたはアドホックモード（adhoc）の設定ができます。デフォルトは802.11アドホックモードです。

パラメーター	設定される項目
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時のSSIDを設定できます。SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。
channel frequency チャンネル番号	チャンネルを設定できます。1-14の間で設定できます。使用する機器間で同じチャンネルを使用してください。
enc {on|off}	WEP機能の有効/無効を設定できます。WEP機能を有効にするには「on」無効にするには「off」を指定します。有効にする場合は正しいWEPキーを入力してください。
key 文字列 val {1|2|3|4}	WEPを16進数で入力する場合に指定します。 64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。WEPは4つまで登録できます。valで登録する番号を指定します。 keyでWEPを指定すると、keyphraseで指定したWEPは上書きされます。この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じkey番号とWEPキーを設定してください。val以降の指定は省略可能です。省略した場合、key番号は1になります。
keyphrase 文字列 val {1|2|3|4} [*1]	WEPキーをACSII入力する場合に指定します。 64-bit WEPを使用する場合は、英数字5バイト、128-bit WEPを使用する場合には、英数字13バイトの文字列が使用できます。 WEPは4つまで登録できます。valで登録する番号を指定します。 keyphraseでWEPを指定すると、keyで指定したWEPは上書きされます。この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じkey番号とWEPキーを設定してください。val以降の指定は省略可能です。省略した場合、key番号は1になります。
encval {1|2|3|4}	4つのWEPキーのどれを使用してパケットを暗号化するかを指定します。 番号を指定しない場合は「1」が設定されます。
auth {open|shared}	WEP使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。 open：オープンシステム認証（デフォルト） shared：シェアードキー認証
rate {auto|11m|5.5m|2m|1m}	無線LANにおける通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。設定値と通信速度は次のとおりです。 auto：自動設定（デフォルト） 11m：11Mbps固定 5.5m：5.5Mbps固定 2m：2Mbps固定 1m：1Mbps固定

[*1] IPSiO SP 4000では設定できません。

wins

WINSサーバーの設定は、winsコマンドを使用します。

❖ 現在の設定の表示

```
msh> wins
```

- DHCPから取得したIPアドレスとWINSのIPアドレスが異なった場合、DHCPから取得したIPアドレスが有効です。

❖ WINS機能の設定

```
msh> wins インターフェース {on|off}
```

- WINS機能を有効するにはonを、無効にするときはoffを指定します。
- 「インターフェース」を必ず指定してください。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

❖ WINSサーバーのアドレス設定

```
msh> wins インターフェース {primary|secondary} IPアドレス
```

- primaryでプライマリWINSサーバのアドレスを設定できます。
- secondaryでセカンダリWINSサーバのアドレスを設定できます。
- IPアドレスに、255.255.255.255は指定できません。

❖ NBT（NetBIOS over TCP/IP）スコープIDの設定

```
msh> wins インターフェース scope スコープID
```

- スコープIDは半角英数字31文字以内で指定します。
- インターフェースを必ず指定してください。
- 「wlan」は無線LANインターフェース装着時に指定できます。
- IPSiO SP 4000の場合、「ether」はイーサネットインターフェース装着時に指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線LANインターフェース

SNMP

本機内蔵のイーサネットインターフェース、およびオプションの無線LANインターフェースではUDPとIPX上で動作するSNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。SNMPマネージャを使って本機の情報を取得することができます。

また、IPSiO SP 4010はユーザー認証、データの暗号化、アクセス制御のセキュリティ面が強化されているSNMPv3にも対応しています（IPSiO SP 4000は非対応です）。

SNMPv3の暗号化通信を使用するためには、本機にセキュリティオプションが装着されていることと、暗号パスワードが設定されていることが必要です。

重要

❒ 本機のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、SNMPコミュニティ名設定ツールを使用して接続するパソコンの設定を変更してください。詳しくはSNMPコミュニティ名設定ツールのヘルプを参照してください。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「ricoh」が設定されています。このコミュニティ名でMIB情報を取得することができます。

5

❖ SNMPコミュニティ名設定ツールの起動

- 本機に付属のCD-ROMから、Ridoc IO Adminをパソコンにインストールします。Ridoc IO Adminのインストール方法は、P.137 「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。
- Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、［スタート］ボタンをクリックし［プログラム］から［Ridoc IO Admin］をポイントして［SNMPコミュニティ名設定ツール］を起動します。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は、［スタート］ボタンをクリックし［すべてのプログラム］から［Ridoc IO Admin］をポイントして［SNMPコミュニティ名設定ツール］を起動します。

❖ サポートしているMIB（SNMPv1/v2）

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

❖ サポートしているMIB（SNMPv3）

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）
- SNMP-FRAMEWORK-MIB
- SNMP-TARGET-MIB
- SNMP-NOTIFICATION-MIB
- SNMP-USER-BASED-SM-MIB
- SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB

ネットワーク経由で確認できる情報

機器の状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

機器の状態

機器のステータスの確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されないステータスがあります。

- UNIXの場合
  lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。
- mshellの場合
  statusコマンドを使います。

ステータス	意味
Access Restricted	利用権限が無いのでジョブがキャンセルされました。
Add staples (Booklet: Back)	ブックレットフィニッシャーのステープル（奥）がなくなりました。
Add staples (Booklet: Both)	ブックレットフィニッシャーのステープルがなくなりました。
Add staples (Booklet: Front)	ブックレットフィニッシャーのステープル（手前）がなくなりました。
Adjusting...	初期設定またはカラー調整中です。
Call Service Center	エンジン部、またはコントローラー部に以上が発生しました。
Canceled	ジョブリセットされました。
Canceling Job...	ジョブリセット中です。
Card/Counter not inserted	プリペイドカードまたはキーカウンターがセットされていません。
Coin or amount not inserted	コインラックにコインが入っていません。
Coin/Key Counter not inserted	コインが投入されていないか、キーカウンターがセットされていません。
Configuring...	設定変更中です。
Cover Open: ADF	自動原稿送り装置が開いています。
Cover Open: Duplex Unit	両面ユニットのカバーが開いています。
Cover Open: Finisher	フィニッシャーのカバーが開いています。
Cover Open: Front	本体前カバーが開いています。
Cover Open: Front/Left	本体前カバーまたは左カバーが開いています。
Cover Open: Paper Exit / Rear	本体排紙口または後ろカバーが開いています。
Cover Open: Right	本体右下カバーが開いています。
Cover Open: Top	本体上カバーが開いています。
Data Size Error	データサイズエラーが発生しました。

ステータス	意味
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。
Empty: Cyan Toner	シアントナーがなくなりました。
Empty: Magenta Toner	マゼンタトナーがなくなりました。
Empty: Yellow Toner	イエロートナーがなくなりました。
Energy Saver Mode	省エネモード中です。
Error	エラーが発生しました。
Error at Printer: Red LED	プリンターにエラーが発生しました。
Error in Printer	プリンターにエラーが発生しました。
Error: Address Book	アドレス帳のデータに異常があります。
Error: Command Transmission	プリンター内部にエラーが発生しました。
Error: DIMM Value	メモリーエラーが発生しました。
Error: Ethernet Board	イーサーネットボードに異常が発生しました。
Error: HDD Board	ハードディスクエラーが発生しました。
Error: Memory Switch	メモリースイッチエラーが発生しました。
Error: Optional Font	プリンターのフォントファイルにエラーが発生しました。
Error: Optional RAM	オプションのSDRAMモジュールにエラーが発生しました。
Error: Parallel I/F Board	パラレルインターフェースにエラーが発生しました。
Error: PDL	ページ記述言語にエラーが発生しました。
Error: USB Interface	USBインターフェースにエラーが発生しました。
Error: Wireless Card	起動時に拡張無線LANカードがありませんでした。 拡張無線LANカードが起動後に抜かれました。
Error: Wireless Card or Board	拡張無線LANカードにエラーが発生しました。 拡張無線LANボードにエラーが発生しました。
Exceed Booklet Stapling Limit	ブックレットフィニッシャーのステープル制限枚数をオーバーしています。
Full: Copy Tray	本体排紙トレイが満杯です。
Full: Finisher	フィニッシャートレイが満杯です。
Full: Finisher Shift Tray	フィニッシャーのシフトトレイが満杯です。
Full: Finisher Shift Tray 1, 2	フィニッシャーのシフトトレイ1、2が満杯です。
Full: Finisher Upper Tray	フィニッシャー上トレイが満杯です。
Full: Hole Punch Receptacle	パンチくずが満杯です。
Full: Standard Tray	本体排紙トレイが満杯です。
Full: Waste Toner	廃トナーが満杯です。
Full: Waste Toner Bottle	廃トナーボトルが満杯です。
Hex Dump Mode	ヘキサダンプモード中です。
Immed. Trans. not connected	直接送信相手先とつながりませんでした。
Immediate Transmission Failed	直接送信中にエラーが発生しました。

ステータス	意味
In Use: Copier	コピー使用中です。
In Use: Fax	ファクス使用中です。
In Use: Finisher	他の機能がフィニッシャーを使用しています。
In Use: Input Tray	他の機能が給紙トレイを使用しています。
In Use: Staple Unit	他の機能がステープルユニットを使用しています。
Independent-supplier Toner	純正でないトナーがセットされています。
Key Card not inserted	キーカードがセットされていません。
Key Card/Counter not inserted	キーカードまたはキーカウンターがセットされていません。
Key Counter not inserted	キーカウンターがセットされていません。
Loading Toner...	トナー補給中です。
Low: Black Toner	ブラックトナーが残り少なくなりました。
Low: Cyan Toner	シアントナーが残り少なくなりました。
Low: Magenta Toner	マゼンタトナーが残り少なくなりました。
Low: Toner	黒トナーが残り少なくなりました。
Low: Yellow Toner	イエロートナーが残り少なくなりました。
Malfunction: Booklet Processor	ブックレットフィニッシャーに異常が発生しました。
Malfunction: Ext. Charge Unit	外部課金装置に異常が発生しました。
Malfunction: Finisher	フィニッシャーに異常が発生しました。
Malfunction: Interposer	合紙ユニットに異常が発生しました。
Malfunction: LargeCapacity Tray	大量給紙トレイに異常が発生しました。
Malfunction: Output Tray	排紙トレイのシフト機能に異常が発生しました。
Malfunction: Staple Unit	ステープルユニットに異常が発生しました。
Malfunction: Tray 1	給紙トレイ1に異常が発生しました。
Malfunction: Tray 2	給紙トレイ2に異常が発生しました。
Malfunction: Tray 3	給紙トレイ3に異常が発生しました。
Malfunction: Tray 4	給紙トレイ4に異常が発生しました。
Malfunction: Z-folding unit	Z折りユニットに異常が発生しました。
Memory Low: Copy	コピー動作中にメモリー不足が発生しました。
Memory Low: Data Storage	文書蓄積中にメモリー不足が発生しました。
Memory Low: Fax Scanning	ファクス送信中にメモリー不足が発生しました。
Memory Low: Scanning	スキャナー動作中にメモリー不足が発生しました。
Miscellaneous Error	その他エラーが発生しました。
Mismatch: Paper Size	選択された給紙トレイのサイズが、指定されたものと異なります。
Mismatch: Paper Size and Type	選択された給紙トレイの用紙種類とサイズが、指定されたものと異なります。

ステータス	意味
Mismatch: Paper Type	選択された給紙トレイの用紙種類が、指定されたものと異なります。
Near Replacing: Black PCU	ブラック感光体ユニットの交換が間近になりました。
Near Replacing: Color PCU	カラー感光体ユニットの交換が間近になりました。
Near Replacing: Develop. Unit C	現像ユニット（シアン）の交換が間近になりました。
Near Replacing: Develop. Unit K	現像ユニット（ブラック）の交換が間近になりました。
Near Replacing: Develop. Unit M	現像ユニット（マゼンタ）の交換が間近になりました。
Near Replacing: Develop. Unit Y	現像ユニット（イエロー）の交換が間近になりました。
Near Replacing: Fusing Unit	定着ユニットの交換が間近になりました。
Near Replacing: Maintenance Kit	メンテナンスキットの交換が間近になりました。
Near Replacing: Transfer Unit	転写ユニットの交換が間近になりました。
Nearly Full: Waste Toner	廃トナーがもうすぐ満杯です。
Need more Staples	ステープルを補給してください。
No Paper: Interposer Tray	合紙ユニットに用紙がありません。
No Paper: LCT	大量給紙トレイに用紙がありません。
No Paper: Selected Tray	指定されたトレイに用紙がありません。
No Paper: Tray 1	トレイ1に用紙がありません。
No Paper: Tray 2	トレイ2に用紙がありません。
No Paper: Tray 3	トレイ3に用紙がありません。
No Paper: Tray 4	トレイ4に用紙がありません。
Not Detected: B2 Lever	B2レバーが正しくセットされていません。
Not Detected: Black Toner	ブラックトナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Cyan Toner	シアントナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Develop. Unit (C)	現像ユニット（シアン）が正しくセットされていません。
Not Detected: Develop. Unit (K)	現像ユニット（ブラック）が正しくセットされていません。
Not Detected: Develop. Unit (M)	現像ユニット（マゼンタ）が正しくセットされていません。
Not Detected: Develop. Unit (Y)	現像ユニット（イエロー）が正しくセットされていません。
Not Detected: Duplex Feed Unit	両面搬送ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Finisher	フィニッシャーが正しくセットされていません。
Not Detected: Fusing Unit	定着ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Input Tray	給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: Interposer	合紙ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: LCT	大量給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: Magenta Toner	マゼンタトナーが正しくセットされていません。
Not Detected: PCU (C)	感光体ユニット（シアン）が正しくセットされていません。
Not Detected: PCU (K)	感光体ユニット（ブラック）が正しくセットされていません。

ステータス	意味
Not Detected: PCU (M)	感光体ユニット（マゼンタ）が正しくセットされていません。
Not Detected: PCU (Y)	感光体ユニット（イエロー）が正しくセットされていません。
Not Detected: Toner Magazine	トナーカートリッジが正しくセットされていません。
Not Detected: Transfer Roller	転写ローラーが正しくセットされていません。
Not Detected: Transfer Unit	転写ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 1	トレイ1が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 2	トレイ2が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 3	トレイ3が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 4	トレイ4が正しくセットされていません。
Not Detected: WasteToner Bottle	廃トナーボトルが正しくセットされていません。
Not Detected: Yellow Toner	イエロートナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Z-fold'g Internal	Z折りユニットが正しくセットされていません。
Not Reached, Data Deleted	不達文書が消去されました。
Not Reached, Data Removed	不達文書が消去されました。
Not Reached, Data Stored	不達文書が保存されました。
Offline	プリンターがオフライン状態です。
Original on Exposure Glass	コンタクトガラスに原稿が残っています。
Panel Off Mode	予熱モード状態です。
Panel Off Mode>>Printing ava.	操作パネルオフモード状態です。
Paper in Duplex Unit	両面ユニットに用紙が残っています。
Paper in Finisher	フィニッシャーに用紙が残っています。
Paper Misfeed: ADF	自動原稿送り装置で紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Duplex Unit	両面ユニットで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Input Tray	給紙トレイで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Internal/Output	本体内部で紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Output Tray	本体排紙部で紙づまりが発生しました。
Paper on Finisher Shift Tray 2	フィニッシャートレイ2に用紙が残っています。
Paper on FinisherShiftTray1、2	フィニッシャートレイ1、2に用紙が残っています。
Prepaid Card not inserted	プリペイドカードがセットされていません。
Print Complete	印刷が完了しました。
Printing	印刷中またはデータ受信中です。
Processing	データ処理中です。
RC Gate Connection Error	RC Gateとの接続に失敗しました。
Ready	正常です。
Replace Black PCU	感光体ユニット（ブラック）の交換時期です。

ステータス	意味
Replace Charger	チャージャーキットの交換時期です。
Replace Cleaning Web	クリーニングフェルトの交換が間近です。
Replace Color PCU	感光体ユニット（カラー）の交換時期です。
Replace Develop. Unit	現像ユニットの交換時期です。
Replace Develop. Unit (Black)	現像ユニット（ブラック）の交換時期です。
Replace Develop. Unit (Color)	現像ユニット（カラー）の交換時期です。
Replace Develop. Unit (Cyan)	現像ユニット（シアン）の交換時期です。
Replace Develop. Unit (Magenta)	現像ユニット（マゼンタ）の交換時期です。
Replace Develop. Unit (Yellow)	現像ユニット（イエロー）の交換時期です。
Replace Fusing Unit	定着ユニットの交換時期です。
Replace Maintenance Kit	メンテナンスキットの交換時期です。
Replace PCU	感光体ユニットの交換時期です。
Replace Transfer Belt	中間転写ベルトの交換時期です。
SD Card Authentication failed	SDカードからの認証に失敗しました。
Setting Remotely	RDS設定処理中です。
Skipped due to Error	エラースキップをしました。
Storage Complete	蓄積完了しました。
Storage Failed	蓄積に失敗しました。
Supplies Order Call failed	消耗品発注コールに失敗しました。
Suspend / Resume Key Error	フィニッシャーの停止ボタンが押されました。
Transmission Aborted	送信が中断されました。
Transmission Complete	送信完了しました。
Transmission Failed	送信に失敗しました。
Tray Error: Chaptering	章区切り紙に本文と同じトレイをしているため、給紙トレイ指定エラーが発生しました。
Tray Error: Duplex Printing	両面禁止トレイに両面印刷を指定したため、両面印刷設定トレイエラーが発生しました。
Unit Left Open: ADF	自動原稿送り装置が開いています。
Warming Up...	準備中です。

補足

- ❒UNIXのコマンドおよびパラメータについて詳しくは、P.241「UNIXで使う」を参照してください。
- ❒mshellのstatusコマンドについて詳しくは、P.178 「status」 を参照してください。
- ❒エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、P.101 「テスト印刷メニュー」 を参照してください。

機器情報

機器の給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報の確認方法と、項目の説明です。

- UNIXの場合
  rsh、rcp、ftpのinfoパラメータを使います。
- mshellの場合
  infoコマンドを使います。

❖ Input Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ名称が表示されます。
PageSize	ご使用の機器に装着されている給紙トレイに設定されている用紙サイズが表示されます。
Status	給紙トレイの状態が表示されます。 • Normal：正常 • NoInputTray：トレイなし • PaperEnd：用紙なし

❖ Output Tray

項目	内容
No.	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ名称が表示されます。
Status	排紙トレイの状態が表示されます。 • Normal：正常 • PaperExist：用紙あり • OverFlow：用紙が満杯 • Error：その他エラー

❖ Emulation

項目	内容
No.	ご使用の機器に装備されているエミュレーション番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装備されているエミュレーション名が表示されます。
Version	ご使用の機器に装備されている、各エミュレーションのヴァージョンが表示されます。

補足

❒ UNIXのコマンドおよびパラメータについて詳しくは、P.241「UNIXで使う」を参照してください。
❒ mshellのinfoコマンドについて詳しくは、P.166 「info」を参照してください。

5

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得するできる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちジョブの情報の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIXの場合
  lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメーターを使います。
- mshellの場合
  statusコマンドを使います。

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態が表示されます。 • Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 • Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元のユーザー名、ワークステーション名、またはアドレスが表示されます。
Job	印刷要求番号が表示されます。
Files	ファイル名が表示されます。
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ（スプール時）常に「0 bytes」と表示。

補足

❒ UNIXのコマンドおよびパラメータについて詳しくは、P.241「UNIXで使う」を参照してください。

❒ mshellのstatusコマンドについて詳しくは、P.178 「status」を参照してください。

5

プリントログ情報

これまでに印刷した過去16件分のジョブの記録の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIXの場合
  rsh、rcp、ftpのprnlogパラメーターを使います。
- mshellの場合
  prnlogコマンドを使います。

項目名	意味
ID	印刷要求番号が表示されます。
User	印刷要求元のユーザー名、ワークステーション名、またはアドレスが表示されます。
Page	印刷したページ数が表示されます。
Result	通信結果が表示されます。 • OK 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • NG 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lprコマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、rprinterでは発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間が表示されます。
User ID	プリンタードライバーで設定されたUser IDが表示されます。 印刷要求番号のIDを指定すると表示されます。
JobName	ファイル名が表示されます。 印刷要求番号のIDを指定すると表示されます。

補足

❒UNIXのコマンドおよびパラメータについて詳しくは、P.241「UNIXで使う」を参照してください。
❒mshellのprnlogコマンドについて詳しくは、P.168 「prnlog」 を参照してください。

5

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定内容の確認方法と、表示される項目の説明です。

- mshellの場合
  showコマンドを使います。お使いの機種によっては、表示されない項目があます。

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコルの有効（Up）、無効（Down）
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
SMB	
Ethernet interface	内部的なバージョン番号
Syslog priority	
NVRAM version	内部的なバージョン番号
Device name	本体機器名
Comment	コメント
Location	SNMP情報での管理者や連絡先
Contact	SNMP情報での設置場所
Soft switch	
AppleTalk	
Mode	選択中のAppleTalkプロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Mac OS上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効（Up）、無効（Down）
ftp	
lpr	
rsh	
telnet	
diprint	
web	
ftpc	

5

項目名	意味
snmp	
ipp	
autonet	
rendezvous	
rfu	
ssl	
nbt	
EncapType	フレームタイプ
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
Host name	ホスト名
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
DNS Domain	DNSドメインの種類
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessRange [X]:	アクセスコントロールレンジ
Time server	
Time Zone	
Time server polling time	
SYSLOG server	
Home page URL	ホームページのURL
Home page link name	ホームページのURL名
Help page URL	ヘルプページのURL
NetWare	
EncapType	フレームタイプ
RPRINTER number	リモートプリンタ番号
Print server name	プリントサーバ名
File server name	接続するファイルサーバ名
Context name	プリントサーバのコンテキスト
Switch	
Mode	動作モード
NDS/Bindery	（この値は固定です）
Packet negotiation	
Login Mode	ログインモード

5

項目名	意味
Print job timeout	パケットタイムアウト
Protocol	使用しているプロトコル
SAP interval time	
NDS Tree Name	NDSツリー名
SMB	
Switch	
Mode	（この値は固定です）
Direct print	（この値は固定です）
Notification	印刷完了通知
Workgroup name	ワークグループ名
Computer name	コンピュータ名
Comment	コメント
Share name[1]	共有名（プリンターの機種名です）
Protocol	
IEEE 802.11b	IEEE 802.11bインターフェース装着時に表示されます。
Host Name	ホスト名
DHCP	DHCPの使用／不使用
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
SSID	現在使用中のSSID
Channel range	使用可能なチャンネル範囲
Channel	現在使用中のチャンネル
Communication mode	無線LANの通信モード
Authentication	
Tx Rate	無線LANの通信速度
WEP encryption	WEPの有効（On）、無効（Off）
Enctyption key	WEPキー
DNS	
Server[X]	DNSサーバーのIPアドレス Xには1～3の数字が入ります。
Selected DNS Server	選択しているDNSサーバー
Domain Name	
ether	イーサネット接続でのドメイン名
wlan	無線LAN接続でのドメイン名

5

項目名	意味
DDNS	
ether	イーサネット接続でのダイナミックDNS機能の使用／不使用
wlan	無線LAN接続でのダイナミックDNS機能の使用／不使用
WINS	
ether	
Primary WINS	イーサネット接続でのプライマリー WINSサーバのIPアドレス
Secondary WINS	イーサネット接続でのセカンダリWINSサーバのIPアドレス
Wlan	
Primary WINS	無線LAN接続でのプライマリー WINSサーバのIPアドレス
Secondary WINS	無線LAN接続でのセカンダリWINSサーバのIPアドレス
BMLinkS	BMLinkS機能搭載時に表示されます。
Mode	動作モードの設定
UUID	BMLinkSプリントサービスのUUID（Universally Unique Identifier）
Profile	プロファイルの有効期限
TTL	AdvertiseパケットのTTL
Timeout	印刷データ受信タイムアウト時間
Device Name	本体機器名
Country	国名情報
Organization	会社／組織名情報
Branch	支店名情報
Building	ビル名情報
Floor	階数情報
Block	ブロック名情報
UPnP	お使いの機種に、BMLinkSの機能があり、有効に設定されているときに表示されます。
URL	
Rendezvous	
Computer Name	機器名
Rendezvous Name (ether)	イーサネット接続でのRendezvous名
Rendezvous Name (wlan)	無線LAN接続でのRendezvous名
Location	プリンターの場所
Priority (diprint)	diprintの優先順位
Priority (lpr)	lprの優先順位
Priority (ipp)	ippの優先順位

項目名	意味
IP TTL	IP TTL値
LinkLocal Route for Multi I/F: Ethernet (ether)	無線LANが選択されているときは「IEEE 802.11b（wlan）」が表示されます。
SNMP	
SNMPv1v2	
SNMPv3	
protocol	
v1Trap	
v2Trap	
v3Trap	
SNMPv1v2 Remoto Setting	
SNMPv3 Privacy	
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIXの場合
  rsh、rcp、ftpのsyslogパラメーターを使います。
- mshellの場合
  syslogコマンドを使います。

メッセージ	状態、対処方法
Access to NetWare server <ファイルサーバ名> denied. Either there is no account for this print server on the NetWare server on the password was incorrect.	（プリントサーバ動作時）ファイルサーバにログインできません。<ファイルサーバ>上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。
add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap送信先ホストのIPアドレスを指定して下さい。
add_sess: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。
add_sess_ipx: bad trap addr: <IPXアドレス>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPXアドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。Trap送信先ホストのIPXアドレスを指定して下さい。
add_sess_ipx: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。
ANONYMOUS FTP LOGIN FROM < IPアドレス>, <パスワード>	ホスト< IPアドレス>よりパスワード<パスワード>でanonymousログインされました。
anpd start. (AppleTalk)	anpd（AppleTalk Network Package Daemon）を起動しました。
Attach FileServer=<ファイルサーバ>	ニアレストサーバとして<ファイルサーバにアタッチしました。>
Attach to print queue <プリントキュー名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>にアタッチしました。
Cannot create service connection	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。
Cannot find rprinter（<プリントサーバ名>/<プリンタ番号>）（リモートプリンタ起動時）	<プリントサーバ名>上に<プリンタ番号>のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。

メッセージ	状態、対処方法
Change IP adress from DHCP Server.	本機がDHCPサーバからのIPアドレスのリース更新時に、使用していたIPアドレスが変更されました。毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、DHCPサーバを設定してください。
child process exec error!（プロセス名）	本機がネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。
Connected DHCP Server（<DHCPサーバアドレス>）.	DHCPサーバからのIPアドレス取得に成功しました。
connection from <IPアドレス>	ホスト<IPアドレス>よりログインされました。
Could not attach to FileServer <エラー番号>	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。
Could not attach to PServer <プリントサーバ名>	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバに接続できません。プリントサーバの設定を確認してください。
Current Interface Speed : < EhternetI/F速度>	現在のEthernet I/Fの速度です。（10Mbpsまたは100Mbps）。
Current IP address（<現在のIPアドレス>）.	DHCPサーバから取得した<現在のIPアドレス>で動作します。
Current IPX address <IPXアドレス>	IPXアドレスが<IPXアドレス>です。
DHCP lease time expired.	DHCPリース切れになりました。DHCP Discoverを再び行います。なお、使用していたIPアドレスが使用できなくなります。
DHCP server not found.	DHCPサーバが見つかりませんでした。ネットワーク上にDHCPサーバが起動していることを確認してください。
dhcpcd start.	dhcpcd（DHCPクライアントサーバ）を起動しました。
Duplicate IP=< IPアドレス>（from < MACアドレス>）.	本機に設定されたIPアドレスが重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示されたMACアドレスの機器をチェックしてください。
Established SPX Connection with PServer,（RPSocket=<ソケット番号>, connID=<コネクションID>）	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバと接続を確立しました。
exiting	lpdのサービスを終了しました。
Exit pserver	（プリントサーバ動作時）必要な設定がされていないため、プリントサーバを終了しました。
Frametype=<フレームタイプ名>	NetWareで使用するフレームタイプを<フレームタイプ名>に設定しました。
httpd start.	httpdが起動しました。
inetd start.	inetdを開始します。
IPP cancel-job: permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。

5

メッセージ	状態、対処方法
ipp disable.	IPP機能は利用できません。
ipp enable.	IPP機能が利用可能です。
IPP job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).	DHCPサーバから取得したIPアドレスのリース時間は<リース時間>秒、更新時間は<更新間隔>秒で表示されます。
Login to fileserver <ファイルサーバ名>（< IPX|IP>,< NDS|BINDERY>）	（プリントサーバ動作時）本機が<ファイルサーバ>にNDSまたはBINDERYモードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。
multid start.	マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。
nbstart start. (NetBEUI)	NetBEUIプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
NBT Registration Broadcast(< NetBIOS名>)	< NetBIOS名>とIPアドレスのマッピング（NetBIOS名の解決）をローカルブロードキャストで行います。
nbtd start.	nbtd（NetBIOS over TCP/IP Daemon）を起動しました。（本サービスはDHCPモード時のみ起動されます。）
NetBEUI Computer Name=<コンピュータ名>	NetBEUIのコンピュータ名を決定しました。
nmsd start. (NetBEUI)	nmsd（NaMe Server Daemon）を起動しました。
npriter start. (NetWare)	（リモートプリンタ動作時）NetWareサービスをリモートプリンタモードで起動しました。
nwstart start. (NetWare)	NetWareプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
Open log file <ファイル名>	（プリントサーバ動作時）監視ログファイルをオープンしました。
papd start. (AppleTalk)	papd（Printer Access Protocol Daemon）を起動しました。
phy release file open failed.	ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。
Print queue <プリントキュー名> cannot be serviced by printer 0, <プリントサーバ名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>を確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。
Print server <プリントサーバ名> has no printer	（プリントサーバ動作時）<プリントサーバ名>にプリンタが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。
print session full	印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。
Printer <プリンタ名> has no queue	（プリントサーバ動作時）<プリンタ名>にプリントキューが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。

メッセージ	状態、対処方法
pserver start. (NetWare)	（プリントサーバ動作時）NetWareサービスをプリントサーバモードで起動しました。
Required computer name（<コンピュータ名>）is duplicate name	ネットワーク上に同じ（<コンピュータ名>）のプリンター名を検出しました。起動処理は、（<コンピュータ名>）にサフィックス（0、1・・・）を追加して（<コンピュータ名>）を決めます。重複しないコンピュータ名を設定してください。
Required file server（<ファイルサーバ名>）not found	<ファイルサーバ名>で設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。
restarted.	lpdのサービスを開始しました。
sap enable, saptype=< SAPタイプ>, sapname=<SAP名>	SAP機能が起動されました。SAP（SAPタイプ、SAP名）パケットを発行し、NetWareサーバ上のSAPテーブルにサービスの存在を登録します。
session <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
session_ipx <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
Set context to <NDSコンテキスト名>	<NDSコンテキスト名>を設定しました。
shutdown signal received. network service rebooting...	ネットワークのリブート処理を行います。
smbd start. (NetBEUI)	smbd（Server Message Block Daemon）が起動しました。
SMTPC: failed to get smtp server ip-address.	SMTPサーバーのIPアドレスを取得できません。次の原因が考えられます。 • DNSサーバーを探せない。 ネットワークに接続されていない。 指定したDNSサーバーに接続できない。 DNSサーバーの指定が間違っている。 • DNSサーバーに、指定されたSMTPサーバのIPアドレスがない。
SMTPC: failed to connect smtp server. timeout.	応答待ちでタイムアウトしたため、SMTPサーバーに接続できません。次の原因が考えられます。 • SMTPサーバー名が間違っている。 • ネットワークに接続されていない。 • ネットワークの設定が間違っており、SMTPサーバーからの応答を取得できない。
SMTPC: refused connect by smtp server.	SMTPサーバーへの接続を拒絶されました。次の原因が考えられます。 • SMTPサーバーではないサーバーを指定した。 • SMTPサーバーのポート番号が間違っている。
SMTPC: no smtp server. connection close.	SMTPプロトコルの応答が返ってこないため、SMTPサーバーに接続できません。次の原因が考えられます。 • SMTPサーバーではないサーバーを指定した。 • SMTPサーバーのポート番号が間違っている。

メッセージ	状態、対処方法
SMTPC: failed to connect smtp server.	SMTPサーバーに接続できません。次の原因が考えられます。 • ネットワークに接続されていない。 • ネットワークの設定が間違っており、SMTPサーバーからの応答を取得できない。 • SMTPサーバー名が間違っている。 • SMTPサーバーの指定が間違っている。 • DNSサーバーに、指定されたSMTPサーバーのIPアドレスがない。 • SMTPサーバーではないサーバーを指定した。 • SMTPサーバーのポート番号が間違っている。
SMTPC: username or password wasn't correct. [応答コード]（インフォメーション）	SMTPサーバーに認証接続できません。次の原因が考えられます。 • SMTPユーザー名の指定が間違っている。 • SMTPパスワードの指定が間違っている。 SMTPユーザー名、SMTPパスワードを確認してください。
Snmp over ip is ready.	tcp/ip上での通信が可能です。
Snmp over ipx is ready.	IPX上での通信が可能です。
SNMPD: account is unavailable: Same account name be used.	一般ユーザーアカウント名と管理者アカウント名が重複しているため、一般ユーザーアカウント名が無効になりました。
SNMPD: account is unavailable: The authentication password is not set up.	認証パスワードが設定されてなく、暗号パスワードのみ設定されているアカウントがあるため、アカウントが無効になりました。
SNMPD: account is unavailable: encryption is impossible.	本機にセキュリティオプションが装着されていないか、暗号化パスワードが設定されていないため暗号化ができません。アカウントが無効になっています。
SNMPD: trap account is unavailable.	Trap送信先アカウント名が、機器が管理するアカウント名とは別のものが指定されているため、そのアカウントではv3Trapは送信されません。
snmpd start.	Snmpdを開始しました。
started.	ダイレクトプリントサービスを開始しました。
started.	BMLinkSが起動しました。
Started.	Rendezvous機能が起動しました。
Terminated.	Rendezvous機能が終了しました。
Terminated. (PS not found)	PSが見つからないため、Rendezvousが終了しました。
The print server received error <エラー番号> during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.	プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。
WINS name refresh :Server No Response	WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。

5

メッセージ	状態、対処方法
WINS name registration/refresh error code（エラー番号）	重複しないNetBIOS名を設定して下さい。または、WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration:Server No Response	登録処理に対する応答がサーバからありません。WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS server address0.0.0.0	WINSサーバアドレスの指定がされていません。WINSによる名前解決を行う場合はWINSサーバアドレスを設定して下さい。
WINS Server=<WINS サーバアドレス> NetBIOS Name=<NetBIOS名>	<WINSサーバアドレス>への名前の登録が正常に終了しました。
WINS wrong scopeID	不正なスコープＩＤが使用されています。正常なスコープＩＤを設定して下さい。

5

補足

❒UNIXのコマンドおよびパラメータについて詳しくは、P.241「UNIXで使う」を参照してください。

❒mshellのsyslogコマンドについて詳しくは、P.178 「syslog」を参照してください。

Windowsネットワークプリンターを設定する

Windowsでネットワークプリンターを設定する方法の説明です。

クライアントからネットワークプリンターを使用するために共有設定をします。ネットワークプリンターをRidoc IO Navi経由で接続している場合、印刷通知設定をすることができ、印刷結果をクライアントに通知することができます。

重要

- ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［プリンタ］ウインドウを開きます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 ［共有］タブをクリックし、［共有する］にチェックを付けます。

4 プリンターをほかのバージョンのWindowsを使っているユーザーと共有する場合は、［追加ドライバ］をクリックします。

プリンタードライバーをインストールしたときに、「共有」にチェックを付けて代替ドライバーをインストールした場合、この操作は必要ありません。

5 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Ridoc IO Navi経由で印刷通知をする

Ridoc IO Naviの印刷通知機能を設定する方法の説明です。

プリントサーバーの設定をする

重要

- プリントサーバーの設定を変更するには、Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プログラム］、［RICOH Ridoc DeskNavigator］、［Ridoc IO Navi］、［プリントサーバー設定］をクリックします。

プリントサーバー設定ダイアログが表示されます。

2 「クライアントに印刷通知をする」をチェックして、[OK] をクリックします。

プリントサーバーの設定によって、ダイアログが表示されます。記載内容を確認して［OK］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、処理を中断します。

3 各クライアントへの設定についてダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。

これでプリントサーバーの設定は終了です。各クライアントで、印刷通知の設定が必要です。

補足

❒印刷中のジョブはスプーラ一時停止後に最初から再印刷されます。

❒拡張機能を使用していない場合、自動的に拡張機能を有効に設定します。

クライアントの設定をする

1 Windowsの [スタート] メニューから [プログラム]、[RICOH Ridoc DeskNavigator]、[Ridoc IO Navi]、[拡張機能設定] をクリックします。

拡張機能設定ダイアログが表示されます。

2 「拡張機能設定を使用する」にチェックを付けます。

3 「印刷通知」の「プリントサーバーを利用する場合に通知します。」にチェックを付けます。

4 [OK] をクリックします。

印刷通知設定ダイアログが閉じます。

5 [OK] をクリックします。

拡張機能設定ダイアログが閉じます。これでクライアントの設定は終了です。

補足

❒プリンタードライバーでも印刷通知の設定をしてください。

NetWareを使用する

NetWareでネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。NetWareでは本機を「プリントサーバ」または「リモートプリンタ」として接続することができます。

❖ セットアップの流れ

- プリントサーバとして使用するとき
  1.Ridoc IO Adminのインストール
  2.ネットワークインターフェースボードの設定
  3.電源を入れ直す
- リモートプリンタとして使用するとき
  1.Ridoc IO Adminのインストール
  2.ネットワークインターフェースボードの設定
  3.NetWareの設定
  4.プリントサーバの起動

補足

❒ NetWareが正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。

❒ 操作例は次の条件で設定しています。

- ファイルサーバーの名前…CAREE
- プリントサーバーの名前…PSERV
- プリンターの名前…R-PRN
- キューの名前…R-QUEUE

❖ Ridoc IO Adminについて

本機をNetWare環境で使用するには、Ridoc IO Adminを使用してNetWareのプリント環境を設定します。

補足

❒ 次の環境でRidoc IO Adminを使用してプリント環境を設定するときは、Novellから提供されているNetWareクライアントがインストールされている必要があります。

- Windows 95/98/Meで、NDSモードのとき
- Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でNDSモードまたはバインダリモードのとき

参照

Ridoc IO Adminのインストール方法は、P.137 「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

❖ Ridoc IO Adminに表示されるプリンターについて

Ridoc IO Adminには、ネットワークに接続されているプリンターの一覧が表示されます。
表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。

6

プリントサーバを使用する（NetWare 3.xJ）

NetWare 3.xJを使用し、プリントサーバーとして接続するための設定方法の説明です。

1 Supervisorまたは同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 イーサネットボード設定ツールを起動します。

3 ［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

4 設定するプリンターを選択します。

5 必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。

6

6 ［NetWare］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

7 ［バインダリモード］をクリックして選択し、［ファイルサーバ名］を入力し、［次へ］をクリックします。

- ［ファイルサーバ名］には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例ではCAREE）を、47バイト以内の半角英数字で入力します。［参照］をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。

8 ［プリントサーバ名］、［プリンタ名］、［プリントキュー名］を入力し、［次へ］をクリックします。

- ［プリントサーバ名］には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を英数字で47バイト以内で入力します。
- ［プリンタ名］には、NetWareのプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- ［プリントキュー名］には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合R-QUEUE）を入力します。

9 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

10 本機の電源を入れ直します。

補足

- ❒本機が設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

```
F:> USERLIST
```

- ❒正しく動作していると、接続しているユーザー名としてプリントサーバ名（この例ではPSERV）が表示されます。
- ❒表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。
- ❒イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- ❒イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

プリントサーバを使用する（NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6/6.5J）

NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6/6.5Jを使用し、プリントサーバーとして接続するための設定方法の説明です。

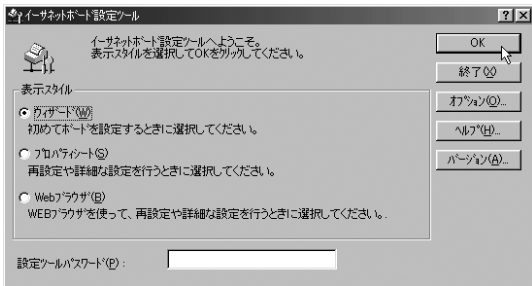
重要

❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6/6.5Jでプリントサーバとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。

❒ NetWare 5/5.1J、NetWare 6/6.5Jをお使いの場合は、本機をプリントサーバとしてお使いください。

1 サーバーにAdminでログインします。

2 イーサネットボード設定ツールを起動します。

3 ［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

4 設定するプリンターを選択します。

5 必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。

6 ［NetWare］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

7 ［NDSモード］をクリックして選択し、［ファイルサーバ名］、［NDSツリー］、［NDSコンテキスト名］を入力し、［次へ］をクリックします。

- ［ファイルサーバ名］には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例ではCAREE）を、47バイト以内の英数半角英数字で入力します。［参照］をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。
- ［NDSツリー］には、プリントサーバーを作成するNDSツリー名を、32バイト以内の半角英数字（-、_使用可）で入力します。［参照］をクリックして一覧からNDSツリーを選択することもできます。
- ［NDSコンテキスト名］には、プリントサーバーを作成するコンテキストを入力します。コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド（.）で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORK にプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

8 ［プリントサーバ名］、［プリンタ名］、［プリントキュー名］、［キューボリューム］を入力し、［次へ］をクリックします。

- ［プリントサーバ名］には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を47バイト以内の半角英数字で入力します。
- ［プリンタ名］には、NetWareのプリンター名（この例では、R-PRN）を47バイト以内の半角英数字で入力します。
- ［プリントキュー名］には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合R-QUEUE）を入力します。
- ［キューボリューム］には、キューを作成するボリュームを入力します。ボリュームはオブジェクトを下の階層から順にピリオドで区切って入力します。［参照］をクリックして一覧からボリュームを選択することもできます。

9 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

10 本機の電源を入れ直します。

補足

❒表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。

❒プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。

❒イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。

❒イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

❒本機が設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

```
F:> NLIST USER /A/B
```

❒正しく動作していると、接続しているユーザー名としてプリントサーバ名（この例ではPSERV）が表示されます。

参照

NetWare 5/5.1J、NetWare 6/6.5JのピュアIP環境でお使いの方は、P.210「プリントサーバを使用する（NetWare 5/5.1JのピュアIP環境）」、P.213「プリントサーバを使用する（NetWare 6/6.5JのピュアIP環境）」を参照してください。

6

プリントサーバを使用する（NetWare 5/5.1Jのピュア IP環境）

NetWare 5/5.1Jのピュア IP環境で、プリントサーバーとして接続する設定方法の説明です。

重要

- ❒ NetWare 5/5.1Jのピュア IP環境でキューベースのプリントサーバを作成する場合、NetWareアドミニストレータを使用してファイルサーバ上にプリントキューを作成する必要があります。
- ❒ ピュア IP環境でお使いの場合は、リモートプリンタとして使用できません。
- ❒ ピュア IP環境でお使いの場合は、本機でTCP/IPプロトコルが使用できるように設定してください。

イーサネットボード設定ツールでの設定

1 サーバーにAdminでログインします。

2 イーサネットボード設定ツールを起動します。

3 ［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

4 設定するプリンターを選択します。

5 ［NetWare］タブをクリックします。

6 環境を設定します。

［ログオンモード］グループで、［ファイルサーバーモード］か［NDSモード］を選択します。

［ファイルサーバーモード］を選択すると、［ファイルサーバ名］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

［NDSモード］を選択すると、［NDSツリー］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

7 ［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。

47バイト以内の半角英数字で入力してください。

8 ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。47バイト以内の半角英数字で入力してください。

9 ［NDSツリー］に、NDSツリー名を入力します。

［参照］をクリックすると、NDSツリーを一覧から選択できます。32バイト以内の半角英数字（-、_使用可）で入力してください。

10 NDSコンテキスト名に、NDSコンテキスト名を入力します。

127バイト以内の半角英数字で入力してください。

コンテキスト名はRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

11 [動作モードグループ]の[プリントサーバ]をクリックして選択します。

12 [OK]をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

NetWareアドミニストレータでの設定

1 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

2 プリントキューを作成します。印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、[オブジェクト]メニューの[作成]をクリックします。

3 [オブジェクトクラス]ボックスの[プリントキュー]をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

4 [プリントキュー名]ボックスにプリントキューの名前を入力します。

5 [プリントキューボリューム]ボックスのブラウザボタンをクリックします。

6 [オブジェクト]ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

7 設定内容を確認し、[作成]をクリックします。

8 プリンターを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト]メニューの[作成]をクリックします。

9 [オブジェクトクラス]ボックスの[プリンタ]をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

10 [プリンタ名]ボックスにプリンターの名前を入力します。

11 [作成後に詳細を設定]をクリックしてチェックを付け、[作成]をクリックします。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。

13 ［オブジェクト］ボックスで、あらかじめ作成したキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

14 ［環境設定］をクリックし、［プリンタタイプ］ボックスのドロップダウンメニューから［パラレル］を選び、［通信］をクリックします。

15 ［接続タイプ］グループの［手動ロード］をクリックし、［OK］をクリックします。

16 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

17 プリントサーバーを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

18 ［オブジェクトクラス］ボックスの［プリントサーバ］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

19 ［プリントサーバ名］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名と一致させてください。

20 ［作成後に詳細を設定］をクリックしてチェックを付け、［作成］をクリックします。

21 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。

22 ［オブジェクト］ボックスで、あらかじめ作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

23 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

24 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ 停止する

```
CAREE: unload pserver
```

❖ 起動する

```
CAREE: load pserver
```

補足

- ❒ 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。
- ❒ イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- ❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

プリントサーバを使用する（NetWare 6/6.5JのピュアIP環境）

NetWare 6/6.5JのピュアIP環境で、プリントサーバーとして接続する設定方法の説明です。

重要

- ❒ NetWare 6/6.5JのピュアIP環境でキューベースのプリントサーバを作成する場合、NetWareアドミニストレータを使用してファイルサーバ上にプリントキューを作成する必要があります。
- ❒ ピュアIP環境でお使いの場合は、リモートプリンタとして使用できません。
- ❒ ピュアIP環境でお使いの場合は、本機でTCP/IPプロトコルが使用できるように設定してください。

イーサネットボード設定ツールでの設定

1 **サーバーにAdminでログインします。**

2 **イーサネットボード設定ツールを起動します。**

3 **［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**

4 **設定するプリンターを選択します。**

5 **［NetWare］タブをクリックします。**

6 **環境を設定します。**

［ログオンモード］グループで、［ファイルサーバーモード］か［NDSモード］を選択します。

［ファイルサーバーモード］を選択すると、［ファイルサーバ名］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

［NDSモード］を選択すると、［NDSツリー］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

7 **［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。**

47バイト以内の半角英数字で入力してください。

8 **［ファイルサーバ名］に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。**

［参照］をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。47バイト以内の半角英数字で入力してください。

9 **［NDSツリー］に、NDSツリー名を入力します。**

［参照］をクリックすると、NDSツリーを一覧から選択できます。

10 NDSコンテキスト名に、NDSコンテキスト名を入力します。

127バイト以内の半角英数字で入力してください。

コンテキスト名はRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

11 ［動作モードグループ］の［プリントサーバ］をクリックして選択します。

12 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

NetWareアドミニストレータでの設定

1 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

2 プリントキューを作成します。印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、［Object］メニューの［Create...］をクリックします。

3 ［Class of new object］ボックスの［Print Queue］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

4 ［Print Queue name］ボックスにプリントキューの名前を入力します。

5 ［Print Queue Volume］ボックスのブラウザボタンをクリックします。

6 ［Available objects］ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

7 設定内容を確認し、［Create］をクリックします。

8 プリンターを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、［Object］メニューの［Create...］をクリックします。

9 ［Class of new object］ボックスの［Printer］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

10 ［Printer name］ボックスにプリンターの名前を入力します。

11 ［Define additional properties］をクリックしてチェックを付け、［Create］をクリックします。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。[Assignments] をクリックし、[Print queues] グループの [Add...] をクリックします。

13 [Available objects]ボックスで、あらかじめ作成したキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

14 [Configuration]をクリックし、[Printer type]ボックスのドロップダウンメニューから[Parallel] を選び、[Communication] をクリックします。

15 [Connection type] グループの [Manual load] をクリックし、[OK] をクリックします。

16 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

17 プリントサーバーを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、[Object] メニューの [Create...] をクリックします。

18 [Class of new object] ボックスの [Print Server] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

19 [Print Server name] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名と一致させてください。

20 [Define additional properties] をクリックしてチェックを付け、[Create] をクリックします。

21 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。[Assignments] をクリックし、[Printers] グループの [Add...] をクリックします。

22 [Available objects] ボックスで、あらかじめ作成したプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

23 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

24 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

```
CAREE: load pserver
```

補足

- ❒ 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの [ネットワーク] ダイアログで変更します。
- ❒ イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- ❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

6

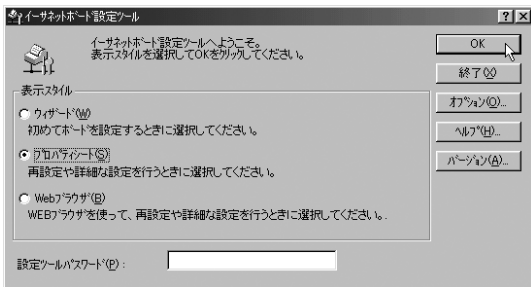
リモートプリンタとして使用する（NetWare 3.xJ）

NetWare 3.xJで、リモートプリンタとして接続するための設定方法の説明です。

イーサネットボード設定ツールでの設定

1 Supervisorまたは同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 イーサネットボード設定ツールを起動します。

3 ［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

4 設定するプリンターを選択します。

5 ［NetWare］タブをクリックします。

6 環境を設定します。［プリントサーバ名］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

47バイト以内で入力してください。

7 ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

8 ［動作モード］グループの［リモートプリンタ］をクリックして選択します。

9 ［リモートプリンタ番号］ボックスにプリンター番号を入力します。

プリントサーバー上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

10 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

PCONSOLEでの設定

1 コマンドプロンプトで「PCONSOLE」と入力します。

```
F:> PCONSOLE
```

2 プリントキューを作成します。

既存のプリントキューを使う場合は、プリンターを作成する手順に進んでください。

3 ［利用可能な項目］メニューから［プリントキュー情報］を選択します。

4 【Insert】キーを押し、プリントキュー名を入力します。

5 【Esc】キーを押します。

［利用可能な項目］メニューに戻ります。

6 プリンターを作成します。［利用可能な項目］メニューから［プリントサーバ情報］を選択します。

7 新しいプリントサーバーを作成する場合は、【Insert】キーを押し、プリントサーバー名を入力します。

既存のプリントサーバーを使う場合は、［プリントサーバ］一覧から使用するプリントサーバーを選択します。

前の手順で設定したRidoc IO Adminのプリントサーバー名と一致させてください。

8 ［プリントサーバ情報］メニューから［プリントサーバ構成］を選択します。

9 ［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタの構成］を選択します。

10 「インストールされていません」と表示されているプリンターを選択します。

前の手順で設定したRidoc IO Adminのリモートプリンター番号と一致させてください。

11 プリンターの名前を変更する場合は、新しい名前を入力します。

名前は選択したプリンターの番号に応じて「プリンタ×」と付けられています。

12 タイプとして［リモートパラレル，LPT1］を選択します。

IRQ、バッファサイズ、開始用紙、キューサービスモードは自動的に設定されます。

13 【Esc】キーを押し、確認画面で［Yes］を選択します。

14 【Esc】キーを押します。

［プリントサーバ構成メニュー］に戻ります。

15 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタでサービスされているキュー］を選択します。

16 前の手順で作成したプリンターを選択します。

17 【Insert】キーを押し、プリンターに割り当てるキューを選択します。

複数のキューを選択することもできます。

18 画面表示に従って、その他の項目を入力します。

入力後、プリンターにキューが割り当てられたことを確認してください。

19 「終了しますか？」と表示されるまで【Esc】キーを押し、［Yes］を選択します。

PCONSOLEが終了します。

20 **NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。**

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

```
CAREE: load pserver プリントサーバー名
```

プリンターが設定どおり動作していると、「プリントジョブ待機中」と表示されます。

補足

❒ 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。

❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。

❒ イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。

❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

リモートプリンタとして使用する（NetWare 4.xJ、5/5.1J）

NetWare 4.xJ、5/5.1Jで、リモートプリンタとして接続するための設定方法の説明です。

重要

- ❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1Jでリモートプリンターとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。
- ❒ ピュアIP環境の場合、リモートプリンターとして使用できません。

イーサネットボード設定ツールでの設定

1 **サーバーにAdminでログインします。**

2 **イーサネットボード設定ツールを起動します。**

3 **［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**

4 **設定するプリンターを選択します。**

5 **［NetWare］タブをクリックします。**

6 **環境を設定します。［ログオンモード］グループで［ファイルサーバーモード］か［NDSモード］を選択します。**

［ファイルサーバーモード］を選択すると、［ファイルサーバ名］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

［NDSモード］を選択すると、［NDSツリー］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

7 **［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバ名を入力します。**

NetWareアドミニストレータで設定する［プリントサーバ名］と一致させてください。47バイト以内の半角英数字で入力してください。

8 **［ファイルサーバ名］に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。**

［参照］をクリックして、一覧からファイルサーバを選択することもできます。47バイト以内の半角英数字で入力してください。

9 **［NDSツリー］には、ファイルサーバを作成するNDSツリー名を入力します。**

［参照］をクリックして一覧からNDSツリーとNDSコンテキスト名を選択することもできます。32バイト以内の半角英数字（-、_使用可）で入力してください。

10 NDSコンテキスト名に、プリントサーバのコンテキスト名を入力します。

127バイト以内の半角英数字で入力してください。

コンテキスト名はRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド (.) で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

11 ［動作モード］グループの［リモートプリンタ］をクリックして選択します。

12 ［リモートプリンタ番号］ボックスに、リモートプリンタ番号を入力します。

NetWareアドミニストレータでプリントサーバに割り当てる［プリンタ番号］と一致させてください。

13 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

NetWareアドミニストレータでの設定

1 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

2 プリントキューを作成します。印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

3 ［オブジェクトクラス］ボックスの［プリントキュー］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

4 ［プリントキュー名］ボックスにプリントキューの名前を入力します。

5 ［プリントキューボリューム］ボックスのブラウザボタンをクリックします。

6 ［オブジェクト］ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

7 設定内容を確認し、［作成］をクリックします。

8 プリンターを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

9 ［オブジェクトクラス］ボックスの［プリンタ］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

10 ［プリンタ名］ボックスにプリンターの名前を入力します。

11 ［作成後に詳細を設定］をクリックしてチェックを付け、［作成］をクリックします。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。

13 ［オブジェクト］ボックスで、あらかじめ前の手順で作成したキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

14 ［環境設定］をクリックし、［プリンタタイプ］ボックスのドロップダウンメニューから［パラレル］を選び、［通信］をクリックします。

15 ［接続タイプ］グループの［手動ロード］をクリックし、［OK］をクリックし、設定内容を確認して［OK］をクリックします。

16 プリントサーバーを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

17 ［オブジェクトクラス］ボックスの［プリントサーバ］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

18 ［プリントサーバ名］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名と一致させてください。

19 ［作成後に詳細を設定］をクリックしてチェックを付け、［作成］をクリックします。

20 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。

21 ［オブジェクト］ボックスで手順8—11で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

22 ［プリンタ］グループで、あらかじめ前の手順で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、［プリンタ番号］をクリックします。

23 プリンター番号を入力し、［OK］をクリックし、設定内容を確認して［OK］をクリックします。

Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンター番号と一致させてください。

24 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ 停止する

```
CAREE: unload pserver
```

❖ 起動する

```
CAREE: load pserver
```

補足

- ❒表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。
- ❒イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- ❒イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

リモートプリンタとして使用する（NetWare 6/6.5J）

NetWare 6/6.5Jで、リモートプリンタとして接続するための設定方法の説明です。

重要

❒ NetWare 6/6.5Jにおいてリモートプリンタとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。

❒ ピュアIP環境の場合、リモートプリンタとして使用できません。

イーサネットボード設定ツールでの設定

1 **サーバーにAdminでログインします。**

2 **イーサネットボード設定ツールを起動します。**

3 **［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**

4 **設定するプリンターを選択します。**

5 **［NetWare］タブをクリックします。**

6 **環境を設定します。［ログオンモード］グループで［ファイルサーバーモード］か［NDSモード］を選択します。**

［ファイルサーバーモード］を選択すると、［ファイルサーバ名］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

［NDSモード］を選択すると、［NDSツリー］に入力した文字列を基に接続先を決定します。

7 **［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバ名を入力します。**

NetWareアドミニストレータで設定する［プリントサーバ名］と一致させてください。

47バイト以内の半角英数字で入力してください。

8 **［ファイルサーバ名］に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。**

［参照］をクリックして、一覧からファイルサーバを選択することもできます。47バイト以内の半角英数字で入力してください。

9 **［NDSツリー］には、ファイルサーバを作成するNDSツリー名を入力します。**

［参照］をクリックして一覧からNDSツリーとNDSコンテキスト名を選択することもできます。32バイト以内の半角英数字（-、_使用可）で入力してください。

10 NDSコンテキスト名に、プリントサーバのコンテキスト名を入力します。

127バイト以内の半角英数字で入力してください。

コンテキスト名はRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド（.）で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

11 ［動作モード］グループの［リモートプリンタ］をクリックして選択します。

12 ［リモートプリンタ番号］ボックスに、リモートプリンタ番号を入力します。

NetWareアドミニストレータでプリントサーバに割り当てる［プリンタ番号］と一致させてください。

13 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

NetWareアドミニストレータでの設定

1 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

2 プリントキューを作成します。印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、［Object］メニューの［Create...］をクリックします。

3 ［Class of new object］ボックスの［Print Queue］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

4 ［Print Queue name］ボックスにプリントキューの名前を入力します。

5 ［Print Queue Volume］ボックスのブラウザボタンをクリックします。

6 ［Available objects］ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

7 設定内容を確認し、［Create］をクリックします。

8 プリンターを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、［Object］メニューの［Create...］をクリックします。

9 ［Class of new object］ボックスの［Printer］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

10 ［Printer name］ボックスにプリンターの名前を入力します。

11 ［Define additional properties］をクリックしてチェックを付け、［Create］をクリックします。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。［Assignments］をクリックし、［Print queues］グループの［Add...］をクリックします。

13 ［Available objects］ボックスで、あらかじめ前の手順で作成したキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

14 ［Configuration］をクリックし、［Printer type］ボックスのドロップダウンメニューから［Parallel］を選び、［Communication］をクリックします。

15 ［Connection type］グループの［Manual load］をクリックし、［OK］をクリックし、設定内容を確認して［OK］をクリックします。

16 プリントサーバーを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、［Object］メニューの［Create...］をクリックします。

17 ［Class of new object］ボックスの［Print Server］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

18 ［Print Server name］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名と一致させてください。

19 ［Define additional properties］をクリックしてチェックを付け、［Create］をクリックします。

20 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。［Assignments］をクリックし、［Printers］グループの［Add...］をクリックします。

21 ［Available objects］ボックスで、あらかじめ前の手順で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

22 ［Printers］グループで手順21で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、［Printer Number...］をクリックします。

23 プリンター番号を入力し、［OK］をクリックし、設定内容を確認して［OK］をクリックします。

Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンター番号と一致させてください。

24 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

```
CAREE: load pserver
```

補足

- ❒ 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。
- ❒ イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリストに、リコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- ❒ イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

7. Windowsの補足情報

Windowsからのファイル直接印刷

Windowsでコマンドを使用したファイル直接印刷の方法についての説明です。

重要

- ❒ この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえばPostScript 3用のポストスクリプトファイルなどです。
- ❒ 搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

❖ Windows 95/98/Me

ftpコマンドを使って印刷できます。

❖ Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0

lpr、rcp、ftpコマンドを使って印刷できます。

セットアップ

Windowsからファイル直接印刷するための、環境設定の方法の説明です。

1 本機の操作部でTCP/IPプロトコルを有効にし、IPアドレスなどTCP/IPに関するネットワーク環境を設定します。

本機のTCP/IPプロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。

2 WindowsにTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000/XP、Windows Server 2003でlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX用印刷サービス」を組み込みます。Windows NT 4.0の場合は「Microsoft TCP/IP印刷」を組み込みます。

参照

IPアドレスの設定方法について詳しくは、本機に同梱の使用説明書を参照してください。

DHCPを使用して本機のIPアドレスを設定するときは、P.295「DHCPを使用する」を参照してください。

本機の指定にホスト名を使用するときは、P.226「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

IPアドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNSを使用している場合

DNSサーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

参照

システム設定リストの印刷方法について詳しくは、P.101「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

その他の場合

印刷を行うコンピュータのhostsファイルに、ネットワークプリンターのIPアドレスとホスト名を追加します。追加のしかたはOSにより異なります。

7

Windows 95/98/Meの場合

1 **¥WINDOWS¥HOSTS.SAMを同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子を付けません）にします。**

2 **作成した¥WINDOWS¥HOSTSファイルをメモ帳などで開きます。**

3 **hostsファイルにIPアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。**

```
192.168.15.16  ricoh  # NP
```

192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。

4 **ファイルを上書き保存します。**

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合

1 メモ帳などでhostsファイルを開きます。

hostsファイルは以下の場所にあります。

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

¥WINNTはWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のインストール先のディレクトリです。

2 hostsファイルにIPアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

```
192.168.15.16  ricoh  # NP
```

192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。

3 ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr、rcp、ftpコマンドを使った印刷方法の説明です。

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各Windowsでのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

❖ Windows 95/98の場合：

［スタート］-［プログラム］-［MS-DOSプロンプト］

❖ Windows Meの場合：

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［MS-DOSプロンプト］

❖ Windows 2000の場合：

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

❖ Windows XP、Windows Server 2003の場合：

［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

❖ Windows NT 4.0の場合：

［スタート］-［プログラム］-［コマンドプロンプト］

補足

❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。

❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。

- lpr：10（IPSiO SP 4000では「5」）
- rcp：5
- ftp：3

❒ ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

参照

コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。詳しくは、P.241 「UNIXで使う」を参照してください。

エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

lpr

❖ IPアドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -Sプリンターの IPアドレス ［-Pオプション］ ［-ol］ ¥パス名¥ファイル名
```

❖ IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -Sプリンターのホスト名 ［-Pオプション］ ［-ol］ ¥パス名¥ファイル名
```

バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字のOと、小文字のL）オプションを付けてください。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=RPS -ol C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめhostsファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。

```
c:> rcp  [-b]  ¥パス名¥ファイル名  [¥パス名¥ファイル名...]  プリンターのホスト名:[オプション]
```

- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1とfile2のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp -b C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 ricoh:filetype=RPS
```

参照

hostsファイルに本機のホスト名を登録する方法について詳しくは、P.226「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put  ¥パス名¥ファイル名  [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput  ¥パス名¥ファイル名  [¥パス名¥ファイル名...]
```

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機のIPアドレス（またはhostsファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp  本機のアドレス
```

2 必要に応じてユーザー名（もしくはユーザーコード）を入力し、パスワードは何も入力しないで【Enter】キーを押します。

機器利用制限設定が無効の場合は、管理者以外のユーザー名を入力します。IPSiO SP 4010から印刷する場合は、工場出荷時のユーザー名の設定が「admin」になっていますので、「admin」以外のユーザー名を入力してください。

機器利用制限設定が有効の場合は、印刷可に設定されているユーザーコードを入力します。ユーザーコードが自動登録になっている場合は、常に印刷できます。

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

以下はC:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のPostScriptファイルを印刷する例と、file1とfile2を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=RPS
ftp> mput  C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mputコマンドではオプションを指定できません。
- mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。
- C:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のファイルをRPDLで印刷する例

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=R00
```

- C:¥PRINTディレクトリにある、file1とfile2という名前のファイルを印刷する例

```
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2
```

EtherTalkへの切り替え

Mac OSのEtherTalk環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定方法の説明です。

❖ **セットアップの流れ**

1.Macintosh側をEtherTalkに切り替える
2.本機の環境設定
3.プリンター名の変更
4.ゾーンの変更

補足

❒ 対象となるMac OSのバージョンは8.6以上、Mac OS Xのバージョンはv10.1以上です。
❒ Mac OSから印刷するにはPostScript 3を含むオプションの拡張エミュレーションが本機に増設されている必要があります。

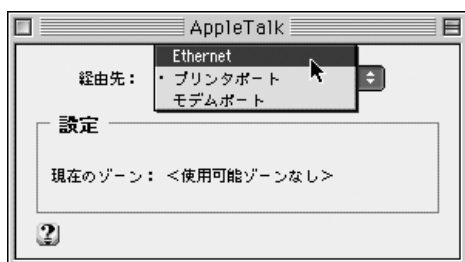
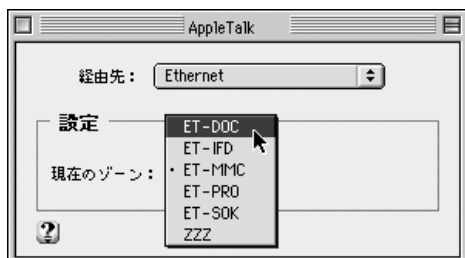
参照

EtherTalkに必要なソフトウェアのインストールについては、Mac OSのマニュアルを参照してください。

Mac OS

Mac OSの場合の、EtherTalkへの変更方法の説明です。

1 ［コントロールパネル］を開き、［AppleTalk］アイコンをダブルクリックします。

2 ［経由先］ポップアップメニューから「Ethernet」を選択します。

3 ゾーンを変更するときは、［現在のゾーン］ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4 ［AppleTalk］コントロールパネルを閉じます。

5 Mac OSを再起動します。

補足

❒ Mac OSの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1を例に説明しています。その他のバージョンをお使いの場合は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

Mac OS X

Mac OS Xの場合の、EtherTalkへの変更方法の説明です。

重要

❒ 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザ名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。

1 ［System Preference］または［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

2 ［AppleTalk］タブをクリックします。

3 「AppleTalk使用」をチェックします。

4 ゾーンを変更する場合には、［AppleTalkゾーン:］ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

5 設定が完了したら、［今すぐ適用］をクリックしてください。

補足

❒ Mac OS Xの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

本機の設定

プリンター側でAppleTalkプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

プリンター名の変更

同じネットワーク上に同機種のプリンターを複数台接続するときは、必ずプリンター名を変更してください。同じプリンター名があると、Mac OSの［セレクタ］上ではPRINTER0、PRINTER1のようにプリンター名の後に「0」「1」などの番号が付いて表示されます。Mac OSのEtherTalk環境でプリンター名を変更するには、PostScript 3を含んだオプションの拡張エミュレーションに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

プリンター名の変更のしかたについての詳細は、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

ゾーンの変更

ネットワーク上にゾーンを設定している場合は、必要に応じてプリンターが所属するゾーンを変更します。

ゾーンを変更するには、PostScript 3を含んだオプションの拡張エミュレーションに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

ゾーンの変更のしかたについての詳細は、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

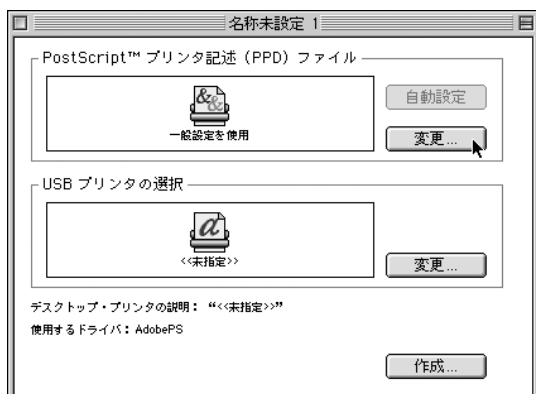
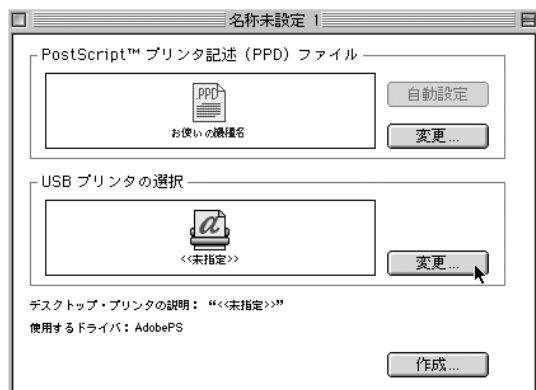
USBインターフェースを使う

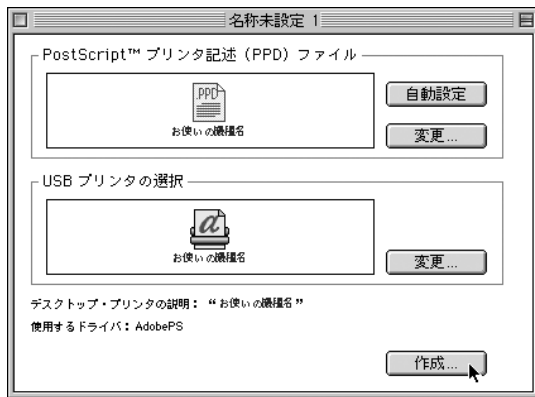
本機をUSB接続で使用する場合の設定方法の説明です。

重要

- ❒Mac OSから印刷するにはPostScript 3を含むオプションの拡張エミュレーションが本機に増設されている必要があります。

Mac OS

1. ハードディスク内の［AdobePS Components］フォルダを開きます。
2. ［デスクトップ・プリンタUtility］をダブルクリックします。
3. ［プリンタ：］ポップアップメニューから［AdobePS］を選択し、［デスクトップに作成...］から［プリンタ（USB）］を選択して、［OK］をクリックします。
4. ［PostScriptTMプリンタ記述（PPD）ファイル］の［変更］をクリックします。

5. 接続したプリンターのPPDファイルを選択し、［選択］をクリックします。
6. ［USBプリンタの選択：］で、［変更］をクリックします。

7. ［USBプリンタの選択：］で、接続したプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

8［作成］をクリックします。

メッセージが表示されます。

9［保存する］をクリックします。

10 保存先と名称を指定し、［保存］をクリックします。

デスクトップにプリンターアイコンが表示されます。

11［デスクトップ・プリンタUtility］を終了します。

補足

❒ Mac OSの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1を例に説明します。その他のバージョンをお使いの場合は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

❒ Mac OSでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。

❒ MacintoshとUSB接続で印刷する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。

参照

本機の操作部の設定方法について詳しくは、P.93「プリンター本体の設定」を参照してください。

Mac OS X

1 プリントセンターを起動します。

2 [追加] をクリックします。

3 ポップアップメニューから [USB] を選択します。

接続しているプリンターが表示されます。

4 プリンターを選択し、[プリンタの機種] ポップアップメニューから [RICOH] を選択します。

機種名の一覧が表示されます。

Mac OS X 10.1.xの場合、[プリンタの機種] ポップアップメニューに機種名の一覧が表示されます。

5 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、[追加] をクリックします。

6 [プリンタリスト] を閉じ、プリントセンターを終了します。

補足

❒操作方法は、使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS X 10.2.4を例に説明します。その他のバージョンをお使いの場合は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

Rendezvousを使う

Mac OS X 10.2.3〜Mac OS X 10.3.xでは、Rendezvousを使って本機に印刷できます。イーサネット接続、および無線LANで接続できます。

1 プリントセンターを起動します。

2 ［追加］をクリックします。

3 ポップアップメニューから［Rendezvous］を選択します。

接続しているプリンターが表示されます。

4 プリンターを選択し、［プリンタの機種］ポップアップメニューから［RICOH］を選択します。

機種名の一覧が表示されます。

5 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、［追加］をクリックします。

6 プリンタリストを閉じ、プリントセンターを終了します。

補足

- ❒ MacintoshとRendezvousで接続する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。
- ❒ Rendezvous上でIPアドレスの設定は必要ありません。

8

Bonjourを使う

Mac OS X 10.4以降では、Bonjourを使って本機に印刷できます。イーサネット接続、および無線LANで接続できます。

1 **プリンタ設定ユーティリティを起動します。**

2 **［追加］をクリックします。**

プリンタブラウザが起動し、接続しているプリンタが表示されます。

3 **プリンターを選択し、［使用するドライバ］ポップアップメニューから［RICOH］を選択します。**

機種名の一覧が表示されます。

4 **機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、［追加］をクリックします。**

5 **プリンタブラウザを閉じ、プリンタ設定ユーティリティを終了します。**

補足

❒ MacintoshとBonjourで接続する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。

❒ Bonjour上でIPアドレスの設定は必要ありません。

セットアップ

UNIXでネットワークプリンターとして使用する場合の、セットアップ方法の説明です。

セットアップの作業を簡単に行えるようにインストールシェルが用意されています。インストールシェルは通常のリモートプリンターのセットアップ作業（/etc/hostsの設定、/etc/printcapの設定、スプールディレクトリの作成）をシェルスクリプトにより自動化して行います。

❖ セットアップの流れ

- インストールシェルに対応したワークステーションの場合、本機へのIPアドレスを設定してからインストールシェルを実行します。
- インストールシェルに対応しないワークステーションの場合、本機へのIPアドレスを設定してから/etc/hostsを設定します。
- lpr コマンドを使うインストールシェルに対応しないワークステーションの場合、本機の IP アドレスを設定し/etc/hostsおよび/etc/printcapの設定をしてからスプールディレクトリを作成します。

❖ 対応ワークステーション

インストールシェルは次の 6 種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合はインストールシェルを使わないでセットアップしてください。

- SunOS 4.x.x
- Solaris 2.x （SunOS 5.x）、Solaris7、Solaris8
- HP-UX
- RedHat Linux
- UnixWare
- OpenServer

補足

❒ RedHat7.1以降では、インストール時のセキュリティ設定によりrsh/telnetが使用できないことがあります。セキュリティレベルをrsh/telnetで使用できるレベルに変更しておいてください。変更方法についてはRedHatの使用説明書を参照してください。

❒ インストールシェルは、CUPSをサポートしていません。CUPSの設定については、各ワークステーションおよびCUPSのマニュアルを参照してください。

❒ SolarisおよびHP-UXをご使用の場合、付属のadmintoolでも設定することができます。設定方法についてはadmintoolのマニュアルを参照してください。

❒ NIS（Network Information Service）やDNSを使用している場合は、あらかじめサーバ側の設定をしてからインストールシェルを実行してください。

IPアドレスの設定

あらかじめ本機のネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）。
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する。

IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかワークステーション側から確認してください。

1 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
# ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
192.168.15.16 is alive
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
no answer from 192.168.15.16
```

補足

❒ NISを使用している場合はマスターサーバー上の/etc/hostsに、DNSを使用している場合はネームサーバー上のデータファイルにIPアドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されたか確認してください。サーバーに登録したホスト名はIPアドレスの代わりに使用できます。

```
# ping ホスト名
```

参照

IPアドレスの設定方法については、本機に同梱の使用説明書を参照してください。

インストールシェルの実行

プリンターにIPアドレスを設定したら、インストールシェルを使ってワークステーションの印刷環境をセットアップします。

インストールシェルはftpを使ってプリンターから取り出します。

1 プリンターを使用するワークステーションにrootでログインします。

2 インストールシェルをコピーするディレクトリに移動します。

3 ftpコマンドで、設定したIPアドレスに接続します。

```
# ftp 192.168.15.16
Connected to 192.168.15.16
220 printer FTP server ready.
Name (192.168.15.16:root:)
```

4 ユーザー名の入力待ち画面では何も入力しないで【Return】キーを押します。

```
331 Password required for root.
Password:
```

5 パスワードの入力待ち画面では何も入力しないで【Return】キーを押します。

```
230 User root logged in.
ftp>
```

6 インストールシェルを取り出します。

```
ftp> get install
```

7 ftpを終了します。

```
ftp> bye
221 Goodbye.
#
```

8 インストールシェルを起動します。

```
# sh ./install
```

カレントディレクトリであることを示すピリオド（.）を付けてください。

9 使用しているワークステーションを数字で指定します。

```
Network printer install shell
  Select your workstation OS type.
  1. SunOS 4.x.x
  2. Solaris 2.x, Solaris 7-9(SunOS5.x)
  3. HP-UX
  4. UnixWare
  5. Linux
  6. OpenServer
  7. Quit
Enter <1-7>:
1
```

「7」を指定するとインストールシェルは終了します。

10 プリンターのIPアドレスを入力します。

```
Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:
192.168.15.16
```

ここで入力したIPアドレスが/etc/hostsに設定されます。

すでにプリンターのホスト名が登録されているときは、何も入力しないで【**Return**】キーを押します。このとき/etc/hostsには何も追加されません。

11 プリンターのホスト名を入力します。

```
Enter Printer host name :
ricoh
```

ここで入力した名前が/etc/hostsと/etc/printcapに設定されます。ただし、前の手順でIPアドレスを入力しなかったとき、/etc/hostsには何も追加されません。

12 プリンターの名前を設定します。

```
Enter logical printer name [default ricoh_prn]:
```

そのまま【**Return**】キーを押すと「default」に表示されている名前に設定されます。この名前を変更したいときは新しい名前を入力します。

ここで入力した名前が/etc/printcapに設定されます。

「default」には前の手順で入力したホスト名に_prnを付けた名前が表示されます。前の手順でホスト名を入力しなかったときはricoh_prnと表示されます。

13 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときはそのまま【**Return**】キーを押します。

```
Enter remote printer name [default lp]:
filetype=RPS
hosts file is modified
#
```

インストールシェルによるセットアップが終了します。

ここでオプションを指定すると、入力した文字列が/etc/printcapのrpケーパビリティに設定されます。lprで印刷すると、このオプションを使って印刷されます。

同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

14 テスト印刷します。

```
# lpr -Pricoh_prn ファイル名
```

参照

/etc/printcapについて詳しくは、P.245「/etc/printcapへのエントリーの追加」を参照してください。

/etc/hostsについて詳しくは、P.245 「/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加」を参照してください。

指定できるオプションについて詳しくは、P.250 「オプション指定」を参照してください。

9

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると印刷環境が自動的にセットアップされます。

ここでは、SunOS 4.xでインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。

インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に各ワークステーションのマニュアルを参照してください。

/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加

/etc/hostsに次の行が追加されます。

```
192.168.15.16  ricoh  # Network Printer
```

192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。

補足

- ❒ /etc/hostsはネットワーク内で通信するすべてのホストのIPアドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、1行で入力されます。
- ❒ NISやDNSを使用していない場合は、ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上の/etc/hostsに追加が必要です。

/etc/printcapへのエントリーの追加

/etc/printcapに次のエントリーが追加されます。

これはlprコマンドを使って印刷するための設定です。lprコマンドを使って印刷するには、/etc/hostsファイルの設定に加え、/etc/printcapにネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

```
ricoh_prn|Ricoh Network Printer:/
        :rm=ricoh:/
        :rp=filetype=RPS:/
        :sd=/usr/spool/ricoh_prnd:/
        :lf=/usr/adm/ricoh_prnd-errs:/
        :mx#0:
```

補足

- ❒ /etc/printcapはプリンターの名前や属性を登録するファイルです。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーションの/etc/printcapに、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- ❒ 同じプリンターに対し異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- ❒ 1つのエントリーはコロン（:）で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために途中に改行を入れることができ、その場合は改行の前にバックスラッシュ（\）を入力します。
- ❒ 1行目のフィールドはプリンターの名前です。ワークステーションからネットワークプリンターを指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることにより複数の名前を定義できます。
- ❒ 2行目以降のフィールドはプリンターの属性です。プリンターの属性はケーパビリティと呼ばれる2文字の名前で表されます。ケーパビリティについて詳しくは次の表を参照してください。

9

ケーパビリティ	説明
lp	本機のデバイス名です。 通常何も指定しません。
rm	/etc/hostsに登録した本機のホスト名です。
rp	印刷時のオプションを指定します。
sd	作成するスプールディレクトリのパス名です。
lf	ログを格納するファイルのパス名を設定します。 たとえば/usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズを設定します。通常何も指定しないか、適当な値を設定します。 0を指定すると無制限、指定しないと1024kバイトに設定されます。

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にdを付けた名前です。

補足

- ❒スプールディレクトリは、印刷を行うデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。
- ❒スプールディレクトリは /etc/printcap に書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。
- ❒スプールディレクトリは通常/usr/spoolの下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcapの中のsdケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループをdaemon、許可モードを775に設定します。以下はスプールディレクトリとして/usr/spool/ricoh_prndを作成するときのコマンド入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir ricoh_prnd
# chown daemon ricoh_prnd
# chgrp daemon ricoh_prnd
# chmod 775 ricoh_prnd
```

ログファイルの作成

/usr/admディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にd-errsを付けた名前です。

印刷方法

使用しているワークステーションに応じたコマンド入力の方法の説明です。

❖ BSD系UNIXワークステーションの場合

```
% lpr -Pプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]
```

名前がricoh_prnの本機に、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lpr -Pricoh_prn file1 file2
```

❖ Solaris、HP-UXの場合

```
% lp -d本機の名前 ファイル名 [ファイル名...]
```

名前がricoh_prnの本機に、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lp -dricoh_prn file1 file2
```

補足

- ❒ 本機の名前は、インストールシェル実行時に入力したプリンターの名前です。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です（IPSiO SP 4010は最大10セッション、IPSiO SP 4000は最大5セッション）。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。
- ❒ 搭載メモリーの増減によるセッション数の変化はありません。

9

rsh、rcp、ftpコマンドによる印刷

rsh、rcp、ftpコマンドを使って印刷することもできます。

補足

- ❒ OpenServer 5.06以上では、rshコマンドをrcmdコマンドと読み替えてください。
- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドの最大セッション数は次の通りです。
  - rsh/rcp：5
  - ftp：3

rsh

rchコマンドを使って印刷する場合のコマンド入力方法の説明です。

```
% rsh プリンターのホスト名 print [オプション] < ファイル名
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。

参照

オプション指定について詳しくは、P.250 「オプション指定」を参照してください。

rcp

rcpコマンドを使って印刷する場合のコマンド入力方法の説明です。

❖ ファイルを指定して印刷する場合

```
% rcp [-b] ファイル名 [ファイル名...] プリンターのホスト名：[オプション]
```

❖ ディレクトリすべてのファイルを印刷する場合

```
% rcp -r ディレクトリ名 プリンターのホスト名：[オプション]
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ❒ バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

参照

オプション指定について詳しくは、P.250 「オプション指定」を参照してください。

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

重要

- ❒ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- ❒mputコマンドではオプションを指定できません。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put ファイル名 [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ファイル名 [ファイル名...]
```

mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機のIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp 本機のアドレス
```

ホスト名はインストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。

2 必要に応じてユーザー名（もしくはユーザーコード）を入力し、パスワードは何も入力しないで【Return】キーを押します。

機器利用制限設定が無効の場合は、管理者以外のユーザー名を入力します。IPSiO SP 4010から印刷する場合は、工場出荷時のユーザー名の設定が「admin」になっていますので、「admin」以外のユーザー名を入力してください。

機器利用制限設定が有効の場合は、印刷可に設定されているユーザーコードを入力します。ユーザーコードが自動登録になっている場合は、常に印刷できます。

3 バイナリーファイルを印刷するときはファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

- file1という名前のファイルをRPCSで印刷する例

```
ftp> put file1 filetype=RCS
```

- file1とfile2という名前のファイルを印刷する例

```
ftp> mput file1 file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

オプション指定

オプションを使うことにより、本機固有のプリンター機能を使った印刷ができます。指定可能なオプションの種類と動作は、エミュレーションにより異なります。

❖ Solaris 2.6以上でオプションを指定する場合

- Solaris 2.6以上で複数のオプションを指定するときは、セミコロン（;）で区切ります。また、オプションにイコール（=）やカンマ（,）を含めることはできません。filetypeをオプションに指定するときは、イコールの代わりにアンダーライン（_）を使って、filetype_RPS省略形はfil_RPSのように入力してください。
- Solaris 2.6以上でオプションを指定するときは、各コマンドで指定できるオプション数が異なります。
    - rsh/rcp 1
    - lpr/ftp 文字列制限の範囲内で複数指定可能

❖ オプションに入力できる文字列について

- 本機が認識できるオプション文字列は最大512バイトです。
- PostScript 3をご使用の場合、本機が認識できるオプション文字列は最大256バイトです。
- OS によってはオプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、本機のプログラム登録を使ってください。

❖ オプションを指定するコマンドを入力する場合

- 複数のオプションを指定するときはカンマ（,）で区切って入力します。
- 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先します。
- イコール（=）を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ（,）を追加します。

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。お使いの機種によっては、設定できるエミュレーションの指定値が異なります。

❖ filetype（またはfil）＝エミュレーションの指定値（またはプログラム登録番号の指定値）

- エミュレーション：指定値
  RPCS：RCS
  RPDL：R00
  R98：R98
  R16：R16
  R55：R55
  RP-GL/2：RGL
  PostScript3：RPS
  RTIFF：RTF
  PDF：PDF
- プログラム登録番号：指定値
  プログラム1：P01
  プログラム2：P02
  プログラム3：P03
  プログラム4：P04
  プログラム5：P05
  プログラム6：P06
  プログラム7：P07
  プログラム8：P08
  プログラム9：P09
  プログラム10：P10
  プログラム11：P11
  プログラム12：P12
  プログラム13：P13
  プログラム14：P14
  プログラム15：P15
  プログラム16：P16

❖ PostScript 3で印刷場合のコマンド例（本機のホスト名ricohファイル名file1）

- <rsh> % rsh ricoh print filetype=RPS < file1
- <rcp> % rcp file1 ricoh:filetype=RPS
- <ftp> ftp> put file1 filetype=RPS

❖ ftpのcdコマンドの利用

ftpで印刷する場合は、cdコマンドでオプションを指定しておけば、putまたはmputコマンド使用時にそのオプションが有効になります。

```
ftp> cd オプション
```

補足

- ❒ 搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。
- ❒ 現在設定されているオプションを表示するにはpwdコマンドを使います。

```
ftp> pwd
```

漢字フィルター

漢字フィルターを使用すると、作成したテキストファイルと同じ漢字コードで印刷できます。

重要

- ❒エミュレーションがRPDLのときに有効です。漢字フィルターを指定するときはエミュレーションとしてRPDL（filetype=R00）を指定します。

❖ filter（またはflt）＝漢字コード指定値

- 漢字コード：指定値（省略値）
  EUC：EUC（E）
  JIS：JIS（J）
  シフトJIS：SJIS（S）

❖ EUC漢字コードのテキストファイルを印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh> % rsh ricoh print filetype=R00,filter=EUC < file1
<rcp> % rcp file1ricoh:filetype=R00,filter=EUC
<ftp> ftp> put file1 filetype=R00,filter=EUC

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。お使いの機種によっては、設定できる給紙トレイの指定値が異なります。

重要

❒エミュレーションがRPDL、PostScript 3、またはPDFのときに有効です。

❒増設していないトレイを指定しても無効です。

❖ RPDL

- tray=給紙トレイの指定値（給紙トレイ：指定値）
  給紙トレイ1：1
  給紙トレイ2：2
  ・
  ・
  ・
  手差しトレイ：T
- 給紙トレイの指定値は機器情報で得られる給紙トレイ番号に対応しています。
- 給紙トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print tray=2 < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:tray=2
  <ftp> ftp> put file1 tray=2

❖ PostScript 3

- tray=給紙トレイの指定値（給紙トレイ：指定値）
  給紙トレイ1：tray1
  給紙トレイ2：tray2
  給紙トレイ3：tray3
  給紙トレイ4：tray4
  LCT：lct
  手差しトレイ：bypass
  自動トレイ選択：all
- トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例（プリンターのホスト名ricohファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print tray=tray2 < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:tray=tray2
  <ftp> ftp> put file1 tray=tray2

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。お使いの機種によっては、設定できる用紙サイズの指定値が異なります。

重要

❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。

❒ 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。

❖ PostScript 3

- paper=用紙サイズの指定値
  指定値：a3（A3）, a4（A4）, a5（A5）, a6（A6）, jisb4（B4）, jisb5（B5）, jisb6（B6）, ledger（11×17）, letter（81/2×11）, halfletter（51/2×81/2）, legal（81/2×14）, jpost（はがき）, jpostd（往復はがき）, custom（不定形サイズ）
- A3の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricohファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print paper=a3 < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:paper=a3
  <ftp> ftp> put file1 paper=a3

❖ RPDL

- paper=用紙サイズの指定値（指定値：用紙サイズ）
  A3R：A3（ヨコ）
  A4R：A4（ヨコ）
  A4：A4（タテ）
  A5R：A5（ヨコ）
  A5：A5（タテ）
  B4R：B4（ヨコ）
  B5：B5（ヨコ）
  B5：B5（タテ）
  B6R：B6（ヨコ）
  A6R：A6（ヨコ）
  PCR：ハガキ（ヨコ）
  DLR：11×17（ヨコ）
  LGR：81/2×14（ヨコ）
  LTR：81/2×11（ヨコ）
  LT：81/2×11（タテ）
  HLR：51/2×81/2（ヨコ）
  WPC：往復ハガキ（タテ）
  WPCR：往復ハガキ（ヨコ）

  補足

  ❒ 用紙サイズ（ヨコ）の指定値は、機器の給紙方向に対して用紙の短辺から給紙するときに指定します。

  ❒ 用紙サイズ（タテ）の指定値は、機器の給紙方向に対して用紙の長辺から給紙するときに指定します。

- A3の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricohファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print paper=A3R < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:paper=A3R
  <ftp> ftp> put file1 paper=A3R

用紙種類

用紙の種類を指定します。お使いの機種によっては、設定できる用紙種類の指定値が異なります。

重要

❒エミュレーションがPostScript 3またはPDFのときに有効です。

❒存在しない用紙種類は指定しても無効です。

❖ mediatype=用紙種類の指定値

- 指定値：plain（普通紙）、letterhead（レターヘッド付き用紙）、transparency（OHPフィルム）、recycled（再生紙）、color（色紙）、special（特殊紙）、thick（厚紙）、thick2（厚紙2）、thin（薄紙）、label（ラベル紙）、plainduplexbackside（普通紙裏面印刷）、thickduplexbackside（厚紙裏面印刷）、plainorrecycled（普通紙/再生紙）、tabstock（インデックス紙）、translucent（トレーシングペーパー）

❖ 再生紙の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh> % rsh ricoh print mediatype=recycled < file1
<rcp> % rcp file1 ricoh:mediatype=recycled
<ftp> ftp> put file1 mediatype=recycled

排紙トレイ

排紙トレイを指定します。お使いの機種によっては、設定できる排紙トレイの指定値が異なります。

重要

❒エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。

❒存在しないトレイを指定しても無効です。

❖ RPDL

- bin=排紙トレイの指定値
  排紙トレイの指定値は機器情報で得られる排紙トレイ番号に対応しています。
- 排紙トレイ番号2のトレイに排紙する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print bin=2 < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:bin=2
  <ftp> ftp> put file1 bin=2

❖ PostScript 3

- outbin=排紙トレイの指定値（排紙トレイ：指定値）
  本体排紙トレイ：upper
  フィニッシャー上トレイ：finisherproop
  フィニッシャーシフトトレイ：finishershift
- 本体排紙トレイに排紙する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）

印刷部数

印刷部数を指定します。

重要

- ❒エミュレーションがRPDL、PostScript 3、またはPDFのときに有効です。
- ❒漢字フィルターを指定すると、印刷部数の指定は無効になります。
- ❒PostScript 3の場合、「qty」と同時に指定しないでください。

❖ copies=印刷部数（1〜999）

10部印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricohファイル名file1

<rsh> % rsh ricoh print copies=10 < file1

<rcp> % rcp file1 ricoh:copies=10

<ftp> ftp> put file1 copies=10

ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

重要

- ❒エミュレーションがPostScript 3またはPDFのときに有効です。
- ❒「copies」と同時に指定しないでください。
- ❒SDRAMモジュールの増設、または拡張HDDが必要です。どちらもない場合にソート部数を指定したときは、1部だけ出力されます。

❖ qty=ソート部数（1〜999）

10部ソートして印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh> % rsh ricoh print qty=10 < file1

<rcp> % rcp file1 ricoh:qty=10

<ftp> ftp> put file1 qty=10

両面印刷

用紙の両面に印刷できます。

重要

- ❒エミュレーションがRPDL、PostScript 3、またはPDFのときに有効です。
- ❒プリンター側に両面印刷ユニットが必要です。

❖ RPDL

- bothsideまたはbothleft（左とじ）
  bothright（右とじ）
  flip（上とじ）
  singleside（両面印刷の解除：片面印刷）
- 左とじで両面印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1
  <rsh> % rsh ricoh print bothside < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:bothside
  <ftp> ftp> put file1 bothside

❖ PostScript 3

duplex=on（両面印刷する）
duplex=off（両面印刷しない）
binding=longedge（両面印刷時の綴じ位置の設定：長辺）
binding=shortedge（両面印刷時の綴じ位置の設定：短辺）
binding=left（両面印刷時の綴じ位置の設定：左）
binding=top（両面印刷時の綴じ位置の設定：上）
binding=right（両面印刷時の綴じ位置の設定：右

- 両面印刷で綴じ位置を長辺にする場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print duplex on, binding=longedge < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:duplex on, binding=longedge
  <ftp> ftp> put file1 duplex on, binding=longedge

補足

- ❒RPDLで印刷オプションに漢字フィルターを指定している場合、両面印刷されないことがあります。このようなときは、漢字フィルターの指定をしないでください。
- ❒印刷データによって印刷したあと両面印刷が解除されないことがあります。次の印刷時にも両面印刷されるときはsinglesideを指定してください。

解像度

印刷する解像度を指定します。お使いの機種によっては、設定できる解像度の指定値が異なります。

重要

❒ エミュレーションがPostScript 3またはPDFのときに有効です。

❖ resolution=解像度（200,300,400,600,1200）

600dpiで印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）

<rsh> % rsh ricoh print resolution=600 < file1

<rcp> % rcp file1 ricoh:resolution=600

<ftp> ftp> put file1 resolution=600

補足

❒ 300dpiの印刷は本機の操作部で設定することはできません。オプション指定をした場合に限り使用できます。

ステープル

印刷物をステープルで綴じるときに指定します。

重要

❒ 本機にステープル機能があるフィニッシャーが必要です。

❒ エミュレーションがPostScript 3のときだけ有効です。

❖ staple=ステープル位置の指定値（ステープル位置：指定値）

左上1ヶ所：lefttop, lefttopslantport, lefttopslantland, lefttopvertport, lefttopvertland, lefttophorizport, lefttophorizland

右上1ヶ所：righttop, righttopverport, righttopvertland, righttopslantport, righttopslantland, righttophorizport, righttophorizland

左2ヶ所：left2port, left2land

右2ヶ所：right2port, right2land

上2ヶ所：top2port, top2land

- 左上1ヶ所をステープルで綴じる場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print staple=lefttop < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:staple=lefttop
  <ftp> ftp> put file1 staple=lefttop

パンチ

印刷物にパンチ穴をあけるときに指定します。

重要

- ❒本機にパンチ機能があるフィニッシャーが必要です。
- ❒エミュレーションがPostScript 3のときだけ有効です。

❖ punch=パンチ位置の指定値（パンチ位置：指定値）

左：leftport, leftland
右：rightport, rightland
上：topport, topland

- 用紙の左側にパンチする場合のコマンド例（本機のホスト名ricoh、ファイル名file1）
  <rsh> % rsh ricoh print punch=leftport < file1
  <rcp> % rcp file1 ricoh:punch=leftport
  <ftp> ftp> put file1 punch=leftport

❖ punchhole=パンチ穴の指定値（パンチ穴：指定値）

2穴：jp2
1穴：jp1

オプション指定の変更方法

lprで印刷するときにはインストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

❖ BSD系UNIXワークステーション

/etc/printcapから変更するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。
または、/etc/printcapから変更するプリンターのエントリーを探し、そのrpケーパビリティを新しいオプション指定に変更します。

❖ Solaris、HP-UX

変更するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリーを削除するには、以下のように操作します。

① スケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

② プリンターを削除します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -x プリンターの名前
```

③ スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lp/lpsched
```

補足

- ❒インストールシェルの使用について詳しくは、P.243「インストールシェルの実行」を参照してください。
- ❒/etc/printcapについて詳しくは、P.245 「/etc/printcapへのエントリーの追加」を参照してください。

9

本機の状態表示

BSD系UNIXワークステーションの場合、以下のコマンドを使ってプリンターの状態や情報を表示したりファイルにコピーすることができます。

表示する場合

本機の状態を表示するためのコマンドの説明です。

- lpqコマンドを使って本機の状態（ステータス）と印刷ジョブ情報を表示できます。
  % lpq -P 本機の名前
- rshコマンドまたはftpを使って、指定したパラメーターに応じた内容を表示できます。
  % rsh 本機のホスト名 パラメーター
  % ftp 本機のホスト名
  User: ユーザー名
  password:ftp> get パラメーター
- rsh、rcp、ftpで指定できるパラメーターには次の種類があります。
  stat：機器の状態（ステータス）
  stat：印刷ジョブの情報（印刷ジョブ情報）
  info：給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション（機器情報）
  prnlog：これまでに印刷した20件分の記録（プリントログ情報）
  syslog：ネットワークインターフェースボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）

ファイルにコピーする場合

rcpコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容をファイルにコピーできます。

```
% rcp プリンターのホスト名：パラメータ ファイル名
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ ファイル名
```

補足

❒パラメータの種類は、表示する場合と同じです。

9

CD-ROM収録ソフトウェア

ここでは、本機に同梱されているCD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」に入っているファイルの一覧です。

ファイル名	参照
SETUP.EXE	P.7 「おすすめインストール」
Windows 95/98/Me 用プリンタードライバー	P.262 「RPCSプリンタードライバー」 P.263 「RPDLプリンタードライバー」
Windows NT 4.0用プリンタードライバー	P.262 「RPCSプリンタードライバー」 P.263 「RPDLプリンタードライバー」
Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタードライバー	P.262 「RPCSプリンタードライバー」 P.263 「RPDLプリンタードライバー」
Ridoc IO Admin	P.264 「Ridoc IO Admin」
Ridoc Desk Navigator Lt	P.264 「Ridoc Desk Navigator Lt」
True Type World Windows版	P.266 「TrueTypeWorld」
各種マニュアル（HTMLファイル）	P.271 「各種マニュアル（HTMLファイル）」

ドライバー

Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。

重要

❒Windows MeでUSB接続するためには、リコーのホームページ(http://www.ricoh.co.jp/)からUSB Printing Supportをダウンロードし、インストールする必要があります。

参照

USB接続について詳しくは、P.35 「USB接続」を参照してください。

RPCSプリンタードライバー

RPCSプリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

❖ ファイル格納場所

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
  DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタードライバー
  DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP
- Windows NT 4.0用プリンタードライバー
  DRIVERS¥RPCS¥NT4

❖ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9821シリーズ。
  Windows NT 4.0で使用する場合、RISCベースのプロセッサ(MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC)環境では動作しません。
- 対象OS
  Windows 95/98/Me 日本語版
  Windows 2000/XP、Windows Server 2003 日本語版
  Windows NT 4.0 日本語版
- ディスプレイ解像度
  SVGA 800×600ドット以上

補足

❒詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

プリンタードライバーのインストール方法は、P.7「おすすめインストール」を参照してください。

RPDLプリンタードライバー

RPDLプリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

❖ ファイル格納場所

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
  DRIVERS¥RPDL¥WIN9X_ME
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタードライバー
  DRIVERS¥RPDL¥WIN2K_XP
- Windows NT 4.0用プリンタードライバー
  DRIVERS¥RPDL¥NT4

❖ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9821シリーズ。
  Windows NT 4.0で使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。
- 対象OS
  Windows 95/98/Me 日本語版
  Windows 2000/XP、Windows Server 2003 日本語版
  Windows NT 4.0 日本語版
- ディスプレイ解像度
  SVGA 800×600ドット以上

補足

❒ 詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

プリンタードライバーのインストール方法は、P.7「おすすめインストール」を参照してください。

Ridoc IO Admin

Ridoc IO Adminの機能とファイル格納場所の説明です。

Ridoc IO AdminはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

❖ **ファイル格納場所**

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK¥RIDOCIO¥ADMIN

参照

Ridoc IO Adminについては、P.136 「Ridoc IO Adminを使う」を参照してください。

Ridoc Desk Navigator Lt

Ridoc Desk Navigator Ltは、アプリケーションソフトで作成したファイルや既存のイメージファイルなど、多様なデータを 1つの文書として管理・印刷することができます。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストールと同時にJob Binder機能もインストールされます。

Job Binder機能では、複数のアプリケーションで作成したファイルやRidoc Desk Navigator Lt文書を、Ridoc Desk Navigator Ltの JobBinderフォルダに保存しておき、1つの文書として印刷したり、プレビュー機能で仕上がり状態を確認しながら保存した印刷データを後でステープル、両面などの指示をかけて印刷することができます。また、印刷する順番を後で変更することもできます。

❖ **ファイル格納場所**

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY¥RIDOCDSK

❖ **Ridoc Desk Navigator Ltの動作環境**

- パソコン
  対象OSが問題なく動作するPC/AT互換機
- 対象OS
  Microsoft Windows 98 SE 日本語版
  Windows Me 日本語版
  Windows 2000 Professional 日本語版（Service Pack 1以上）
  Windows 2000 Server 日本語版（Service Pack 1以上）
  Windows 2000 AdvancedServer 日本語版
  Windows XP Home Edition 日本語版
  Windows XP Professional 日本語版
  Windows Server 2003 日本語版
- ディスプレイ解像度
  SVGA　800×600ドット以上

補足

❒ NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズでは動作しません。

参照

Ridoc Desk Navigator Ltの使い方については、ヘルプを参照してください。

10

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Naviは以下のような機能を備えたソフトウェアです。Ridoc Desk Navigator Ltをインストールする際に、同時にインストールされます。

- Windows 95/98/Me/2000、Windows NT 4.0からTCP/IPプロトコル、IPPを使用して、Peer-to-Peerネットワークで印刷する機能を提供します。
- Windows XP、Windows Server 2003から TCP/IPプロトコル、IPPを使用して、Peer-to-Peerネットワークで印刷する機能を提供します。
- TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Naviでは以下の操作ができます。

- Peer-to-Peerプリント機能
  プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
  指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  並行／代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 機器監視機能
  印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  ユーザー IDを使ったジョブの履歴を確認できます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知］ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 自分が印刷した文書の履歴、印刷中のジョブ状態を一覧で確認できます。

補足

- ❒代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えばオプションの給紙テーブルなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ❒代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- ❒代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- ❒試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷／並行印刷はできません。

参照

Ridoc IO Naviの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

TrueTypeWorld

TrueTypeWorldのファイル格納場所と書体見本についての説明です。

❖ ファイル格納場所

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

FONTS¥WIN95NT

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が収録されています。

羽衣L
愛の広がる美しいフォント

羽衣E
愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体
愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流
愛の広がる美しいフォント

行刻
愛の広がる美しいフォント

半古印体
愛の広がる美しいフォント

行書体
愛の広がる美しいフォント

祥南行書体
愛の広がる美しいフォント

正楷書体
愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体
愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体
愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体
愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体
愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9
愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～（注）	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～＆HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～＆HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～＆HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～＆HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～＆HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™; W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™; W9	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™; W4	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™; W8	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

（注）Windows3.1のフォーマットで収録しています。

基本仕様

True Type Worldの基本仕様に関する説明です。

❖ 文字について

7,602文字（MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む）
フォーマット/Windows 95日本語版準拠のTrueType Collection形式（拡張子：ttc）

補足

❒ Windows 95以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。

❒ フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG～」	固定ピッチ情報のみ格納

❒ 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType　Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。

❖ 対象OS

TrueTypeフォントの対象OSは、下記の通りです。

- Microsoft Windows 95/98/Me日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0日本語版
- Microsoft Windows 2000/XP日本語版
- Microsoft Windows Server 2003日本語版

Windowsへのインストール

True Type WorldのWindowsへのインストール方法の説明です。

ここでは、操作例としてWindows 95/98/Meへのインストール方法を説明しています。

重要

- ❒ すでにWindows 3.1版のTrueTypeWorldがインストールされているパソコンには、同梱のCD-ROM内のTrueTypeWorldをインストールしないでください。
- ❒ インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- ❒ リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。**

3 **［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。**

4 **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

5 **［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。**

6 **［フォルダ］ボックスで、［fonts］から［win95nt］の順にフォルダを開きます。**

7 **［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。**

8 **［[FONTS]フォルダにフォントをコピーする］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。**

これでインストールは終了です。

補足

- ❒ Windowsをインストールしたハードディスクに、1書体当たり約2～7MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- ❒ インストール後、フォント名は3つの書体名「HG～」、「HGP～」、「HGS～」で表示されます。たとえば「行書体」の場合、［コントロールパネル］の［フォント］フォルダの中では、フォント名が「HG行書体＆HGP行書体＆HGS行書体」と表示されます。
- ❒ その他のOSへのインストール方法については、OSに同梱の説明書を参照してください。

文字コード印刷ツール

内蔵フォントを印刷するソフトウェアが収録されています。

❖ **ファイル格納場所**
同梱のCD-ROM内の次のディレクトリに格納されています。

```
UTILITY¥CODE
```

以下の条件でソフトウェアを実行してください。

- パソコンと本機をパラレルインターフェースケーブルで接続します。
- A4の用紙をセットします。

印刷する

1 CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

オートランでインストーラーが起動したときはキャンセルしてください。

2 Windows上から実行するときは、MS-DOS画面に切り替えます。

- Windows 95/98の場合
［スタート］－［プログラム］－［MS-DOSプロンプト］
- Windows Meの場合
［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOSプロンプト］
- Windows 2000の場合
［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］
- Windows XP、Windows Server 2003の場合
［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］
- Windows NT 4.0の場合
［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］

3 CD-ROMの「¥UTILITY¥CODE」ディレクトリに移動します。

例えばプロンプトに対して次のように入力します（ここではCD-ROMドライブがドライブDとして説明しています。お使いのパソコンCD-ROMドライブ名に合わせて変更してください）。

```
> CD D:¥UTILITY¥CODE
```

4 印刷される内容に応じて、以下のようにコマンド入力します。

```
D:¥UTILITY¥CODE> FONTMAP　コマンド
```

コマンド	印刷される内容
RPDL	RPDL半角、RPDL JIS全角、RPDL JIS全角特殊、新旧JIS比較 （印刷枚数：25枚）
SJIS	RPDL SJIS全角 （印刷枚数：19枚）
KAIGAI	国別指定 半角 （印刷枚数：5枚）

コマンド入力後はパソコンのディスプレイに＊印で進行状況を表します。
＊が80個になると転送が終了し、印刷が開始します。

各種マニュアル（HTMLファイル）

各種マニュアル（HTMLファイル）のファイル格納場所についての説明です。

❖ **ファイル格納場所**

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

MANUAL

印刷条件を設定する

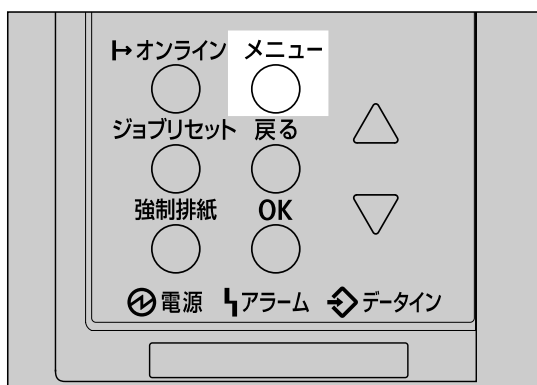
ここでは、MS-DOSアプリケーションから印刷する場合に必要な印刷条件の設定方法について説明します。印刷データを正しく印刷するには、アプリケーションやパソコンに合わせた印刷条件を設定する必要があります。正しい印刷条件を設定しないと、思いどおりの印刷結果が得られません。

印刷条件の設定は、本機の操作部を使用して行います。

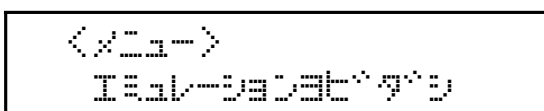
なおWindowsでプリンタードライバーを使用して印刷する場合は、プリンタードライバーで印刷条件を設定するため、本機で設定する必要はありません。

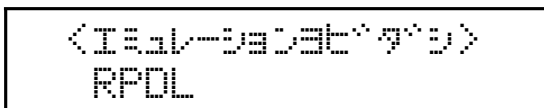
エミュレーションを切り替える

エミュレーションを切り替える方法を説明します。

1 【メニュー】キーを押します。

ATD011S

2 【▲】または【▼】キーを押して「エミュレーションヨビダシ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ﾒﾆｭｰ>
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ

3 【▲】または【▼】キーを押して「RPDL」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ>
RPDL

エミュレーションが切り替わり、次の画面が表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ　ﾄﾚｲ1
RPDL　A4ﾀﾃ

10

印刷条件を設定する

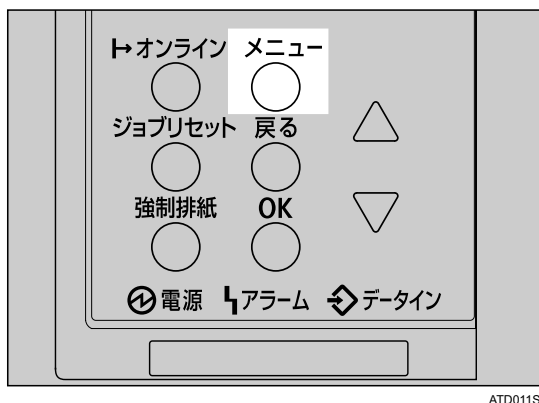
印刷条件の設定方法

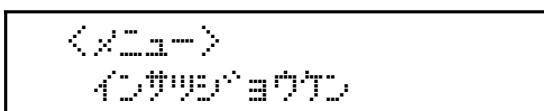
印刷条件の設定について説明します。この操作で設定した「印刷条件」は、次の条件で初期値に戻ります。

エミュレーションがRPDLになっていることを確認してから、操作してください。

- 本機の電源を切ったとき
- ほかのエミュレーションに切り替わったとき

使用頻度が高いアプリケーションの環境は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておくと、エミュレーションが切り替わったり、本機の電源を切っても、プログラムを呼び出せば、同じ条件で印刷することができます。

1 【メニュー】キーを押します。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インサツジョウケン」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
インサツジョウケン

選択しているエミュレーションが本機で印刷条件を設定できない場合、［印刷条件］が画面に表示されません。

3 【▲】または【▼】キーを押して項目を選び、【OK】キーを押して印刷条件を設定します。

4 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

参照

プログラム登録についてはP.286 「よく使う印刷条件を登録する」を参照してください。

印刷条件の設定項目については、P.276 「RPDLの印刷条件の設定項目」を参照してください。

設定した印刷条件は、印刷条件リストで内容を確認できます。P.284 「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

RPDLの印刷条件一覧

ご使用の機種、接続したオプションによっては、表示されない項目もあります。

項目	設定値				
	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10
	11				
1. 給紙トレイ	トレイ2/手差し	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2	トレイ3 *1
	マルチトレイ	手差し *1			
2. 印刷方向	単票・縦	単票・横	帳票・縦	帳票・横	
3. CR,LF,FF機能	CR,LF,FF	CR+LF,LF,FF	CR,LF・FF+CR	CR+LF,LF・FF+CR	
4. 自動改行	する	しない			
5. 行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ	
6. 文字ピッチ	10CPI	12CPI	15CPI	フォントサイズ	
7. ANKフォント	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック15	ボールドフェイスPS	ラインプリンタ
	明朝半角				
89. 国別指定	アメリカ	イギリス	ドイツ1	ドイツ2	フランス
	スウェーデン	フィンランド	スイス	日本1	日本2
	日本3				
A. キャンセルコード	CR	クリア			
B. 印刷領域	標準	最大	センタリング		
D. リミットレス給紙	しない	する			
I. スペーシングユニット	H=1/120, V=1/48	H=1/180, V=1/120	H=1/160, V=1/120	H=1/160, V=1/160	H=1/240, V=1/120
	H=1/240, V=1/240	H=1/400, V=1/400	H=1/600, V=1/600	H=1/1200, V=1/1200	
J. 漢字コード	新JIS/JISコード	旧JIS/JISコード	新JIS/シフトJISコード	旧JIS/シフトJISコード	JIS X0213/JISコード
	JIS X0213/シフトJISコード				
K. 左余白	0mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます。）				
L. 上余白	0mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます。）				

項目	設定値				
	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10
	11				
M. 変倍率	100% （等倍）	88% （11×14 → B4）	80% （B4 → A4）	75% （B4 → A4）	70% （11×14 → A4）
	67% （A3 → A4）	115% （B4 → A3）	86% （11×14 → B4）		
O. 半角ピッチ	1/2	2/3			
P. グラフィックス	簡易グラフィックス	RPGL	グラフィックス自動		
Q. ページ長	11インチ	最大長			
R. イメージ濃度	うすく	中間	こく		
T. 漢字フォント	明朝	ゴシック			
U. ANKサイズ	1200センチポイント （600～2100の範囲で、10センチポイント単位で設定できます。）				
V. 漢字サイズ	960センチポイント （600～1800の範囲で、10センチポイント単位で設定できます。）				
W. グラフィックスユニット	1/400インチ	1/240インチ	1/600インチ	1/1200インチ	
Y. 文字ストリング	する	しない			
Z. 外字文字数	256文字	512文字	768文字	1034文字	
A02. 印字モード *2	トナーセーブモード2	スムージングオン	トナーセーブモード1	スムージングオフ	
A03.両面とじ方向	上とじ	左とじ	右とじ		
A04. エンジン解像度	400dpi	（400dpi）	600dpi	1200dpi	
A06.両面印刷	しない	する			

*1 オプション装着時に設定できます。

*2 トナーセーブモード1とトナーセーブモード2は、どちらを選択しても同じ動作になります。

10

RPDLの印刷条件の設定項目

ここではRPDL印刷条件の設定項目を、項目番号順に説明します。

❖ 1. 給紙トレイ

使用する給紙トレイを選択します。
「システムデフォルト」に設定すると、現在の給紙トレイを選択します。

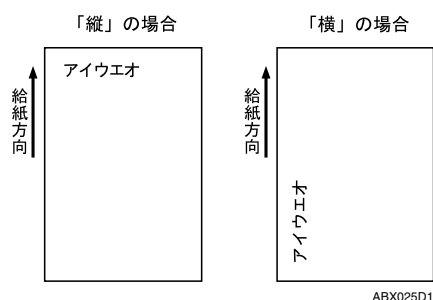
重要

❒ 給紙トレイが「システムデフォルト」に設定されているプログラムやエミュレーションに切り替わった場合、用紙設定の「優先給紙トレイ」またはシステム初期設定「給紙トレイ優先設定：プリンター」で設定されている給紙トレイが選択されます。

❖ 2. 印刷方向

印刷方向（縦または横）と、印刷する用紙（単票または帳票）を設定します。

- 単票・縦（工場出荷時の設定）
- 単票・横
- 帳票・縦
- 帳票・横

「縦」に設定すると、給紙方向に対して垂直に文字が印刷されます。
「横」に設定すると、給紙方向に対して平行に文字が印刷されます。

補足

❒ 実際に印刷できる用紙は単票だけです。「帳票」に設定すると、複数分のデータを 1枚の用紙に印刷することができます。

❖ 3. CR,LF,FF機能

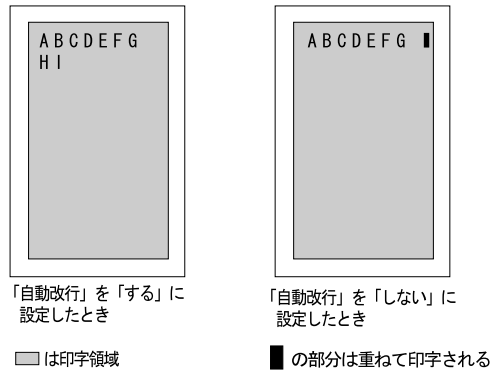
CR（復帰）、LF（改行）、FF（改ページ）コードを受信したときの本機の動作を設定します。

- CR,LF,FF
- CR+LF,LF,FF
- CR,LF・FF+CR（工場出荷時の設定）
- CR+LF,LF・FF+CR

「CR,LF•FF+CR」は「CR,LF+CR,FF+CR」を表します。「CR+LF,LF•FF+CR」は「CR+LF,LF+CR,FF+CR」を表します。
CR、LF、FFに対してそれぞれ「CR」、「LF」、「FF」を設定した場合は、コードの意味のままの動作となります。その他の動作は次のとおりです。組み合わせを考えて設定してください。
CR+LFに設定したときは、復帰の後に改行が行われます。
LF+CRに設定したときは、改行の後に復帰が行われます。
FF+CRに設定したときは、改ページの後に復帰が行われます。

❖ 4. 自動改行

データが用紙の幅を超える場合に、自動的に改行するかどうかを選択します。

- しない（工場出荷時の設定）
  印刷領域から超えたデータは、右端に重なって印刷されます。
- する
  印刷領域の幅で自動的に改行されます。

補足

❒ 実際に印刷した場合、「ページ幅」での設定値と実際の用紙サイズによって印刷結果が異なります。

❖ 5. 行ピッチ

1インチ（約25.4mm）あたりに印刷する行数を選択します。

- 6LPI（工場出荷時の設定）
- 3LPI
- 8LPI
- フォントサイズ

補足

❒「LPI」はLine Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表します。たとえば「8LPI」に設定すると、1インチ（約25.4mm）あたり8行印刷することになります。

❖ 6. 文字ピッチ

1インチ（約25.4mm）あたりに印刷するANKフォント（英数カナ文字）の文字数を選択します。

- 10CPI（工場出荷時の設定）
- 12CPI
- 15CPI
- フォントサイズ

補足

❒「CPI」はCharacter Per Inchの略で、1インチあたりの文字数を表します。たとえば「10CPI」に設定すると、1インチ（約25.4mm）あたり10文字になります。

❒「フォントサイズ」に設定すると、文字ピッチはフォントの文字幅になります。ソフトウェアで文字幅を設定できる場合は、ソフトウェアの設定が優先されます。

❖ 7.　ANKフォント

ANKフォントを設定します。

- クーリエ10（工場出荷時の設定）
- プレステージエリート12
- レターゴシック15
- ボールドフェイスPS
- ラインプリンタ
- 明朝半角

補足

❒「明朝半角」は、全角文字の中の半角文字を使ってANK文字（アルファベット、数字、カナ）を印刷します。書体は、「明朝」と同じです。

❖ 89.　国別指定

ANKフォントの一部は、国によって異なります。どの国のフォントにするか選択します。

- アメリカ
- イギリス
- ドイツ1
- ドイツ2
- フランス
- スウェーデン
- フィンランド
- スイス
- 日本1（工場出荷時の設定）
- 日本2
- 日本3

補足

❒ANKフォントで「明朝半角」を設定すると「日本1」固定となります。

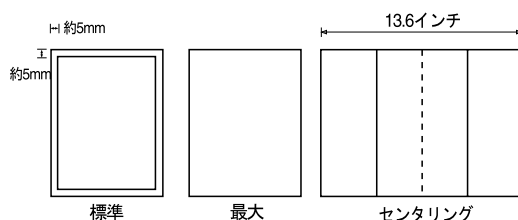
❖ A. キャンセルコード

キャンセルコード（CAN 18h）を受信したときの動作を選択します。

- CR（工場出荷時の設定）
  「CR機能」「CR,LF,FF機能」で設定した動作になります。
- クリア
  データがクリアされ、印刷位置がホームポジションに戻ります。

❖ B. 印刷領域

用紙上の印刷領域を選択します。

- 標準（工場出荷時の設定）
  印刷領域の上下左右に約5mmずつの余白ができます。
- 最大
  用紙サイズいっぱいに印刷できますが、上下左右5mmの領域は正常に印刷できない場合があります。
- センタリング
  用紙上で中央に印刷領域を配置します。

❖ D. リミットレス給紙

印刷中に給紙トレイの用紙がなくなった場合、他の給紙トレイに自動的に切り替えて印刷するかどうかを設定します。

- しない
  トレイは切り替わりません。用紙がなくなったら停止しますので、トレイに用紙を補給してください。
- する（工場出荷時の設定）
  自動的に同条件のトレイに切り替わり、印刷を継続します。ただし、手差しトレイへは切り替わりません。

補足

❒ 切り替え対象の給紙トレイは、用紙のなくなった給紙トレイと同サイズ、同紙種、同方向の用紙がセットされている場合に有効です。

❒ リミットレス給紙の対象となるトレイは、普通紙または再生紙が設定されているトレイです。

❖ I. スペーシングユニット

1ドットの仮想の大きさを選択します。

- H=1/120,V=1/48（工場出荷時の設定）
- H=1/180,V=1/120
- H=1/160,V=1/120
- H=1/160,V=1/160
- H=1/240,V=1/120
- H=1/240,V=1/240
- H=1/400,V=1/400
- H=1/600,V=1/600
- H=1/1200,V=1/1200

補足

❒「H」は横方向、「V」は縦方向です。単位はdpiです。たとえば、「H=1/180,V=1/120」に設定した場合は、横方向が180dpi、縦方向が120dpiになります。

❒ 実際の印刷では、「エンジン解像度」の設定値に合った値に換算されて印刷されます。

❖ J. 漢字コード

漢字コード「新JIS」「旧JIS」「JIS X0213」と「JISコード」「シフトJISコード」の組み合わせを設定します。

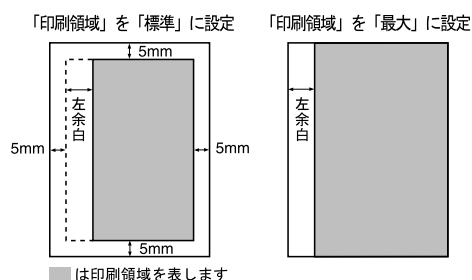
- 新JIS/JISコード（工場出荷時の設定）
- 旧JIS/JISコード
- 新JIS/シフトJISコード
- 旧JIS/シフトJISコード
- JIS X0213/JISコード
- JIS X0213/シフトJISコード

❖ K. 左余白

用紙の左余白を0～50mmの範囲で、1mm単位で設定できます（工場出荷時は00mm）。

補足

❒ 余白は、「印刷領域」で設定されている印字領域の内側に設定されます。したがって、設定した余白の分だけ印字開始位置が右にずれます。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

10

❖ L. 上余白

用紙の上余白を0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます（工場出荷時は00mm）。

補足

❒ 余白は、「印刷領域」で設定されている印字領域の内側に設定されます。したがって、設定した余白の分だけ印字開始位置が下がります。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

❖ M. 変倍率

変倍率を設定して、拡大または縮小して印刷できます。

- 100%（等倍）（工場出荷時の設定）
- 88%（11×14→B4
- 80%（B4→A4）
- 75%（B4→A4'）
- 70%（11×14→A4）
- 67%（A3→A4）
- 115%（B4→A3）
- 122%（A4→B4）
- 141%（A4→A3）
- 200%（A5→A3）
- 50%（A3→A5）

設定した変倍率により、文字ピッチと行ピッチが変更されます。このとき、文字は変倍率に応じた適当なサイズが選択されます。イメージデータは変倍率に応じて変倍されます。したがって、イメージデータと文字データが混在する場合、変倍率を設定するとイメージが多少ずれることがあります。このときに使用されるフォントは、エンジン解像度、フォントサイズ、変倍率によって異なります。

補足

❒ アプリケーションで縮小印刷を指定できる場合、この設定が無効になることがあります。

❒ アプリケーションで縮小が行われている場合、この変倍率の設定によりさらに拡大、縮小されることがあります。アプリケーションで縮小が行われている場合は、本機は等倍で印刷して、印刷結果を確認してください。

❖ O. 半角ピッチ

全角文字に対する半角文字のピッチを設定します。半角文字ピッチの初期値が変わるだけで、全角文字のピッチは変わりません。

- 1/2（工場出荷時の設定）
  全角文字1文字分が半角2文字分になります。
- 2/3
  全角文字2文字分が半角3文字分になります。

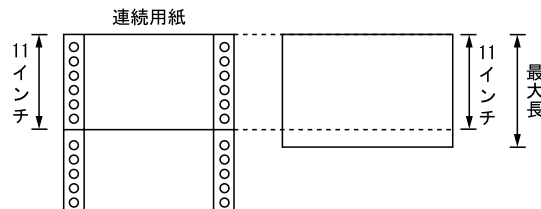
❖ P. グラフィックス

使用するグラフィックスのコマンド体系を設定します。

- 簡易グラフィックス（工場出荷時の設定）
  プリンターに内蔵されている簡易グラフィックスのコード体系になります。
- RPGL
  RPGLのオプショングラフィックスモードになります。
- グラフィックス自動
  オプションの「RP-GL/2」がセットされている場合、グラフィックスモードの設定コマンドを送らなくても自動的にRP-GLのオプショングラフィックスモードで印刷されます。

❖ Q. ページ長

ページの長さを設定します。ページ長は、実際の用紙の1ページの長さではなく、用紙の印刷可能領域に印刷するデータの長さです。設定したページ長まで印刷されると、排紙されます。

- 11インチ（工場出荷時の設定）
  連続用紙（帳票）に印刷する場合と同じ形式で印刷できます。
- 最大長
  印刷領域とページ長が同じになります。

補足

❒「11インチ」の設定は、次の用紙サイズ、印刷方向、変倍率の場合だけに有効です。この条件に合わない場合は、「最大長」に設定したときと同じ動作をします。

用紙サイズ	印刷方向	変倍率
A3	ヨコ	100%
A4	タテ	100%
B4	ヨコ	88%
B5	タテ	88%
A4	ヨコ	70%
A5	タテ	70%

❖ R. イメージ濃度

イメージデータの印刷濃度を設定します。変倍して印刷したときに、ここでの設定が有効になります。

- うすく（工場出荷時の設定）
- 中間
- こく

補足

❒中間に設定した場合は、イメージデータの横方向が濃いめに、縦方向が薄めに印刷されます。
❒簡易グラフィックスの1ドットラインは、「こく」「中間」に設定すると太めに印刷されます。

❖ T. 漢字フォント

漢字の書体が設定できます。

- 明朝（工場出荷時の設定）
- ゴシック

❖ U. ANKサイズ

ANKフォントの縦方向のサイズを600～2100センチポイントの範囲で、10センチポイント単位で設定できます（工場出荷時は1200センチポイント）。

❖ V. 漢字サイズ

漢字フォントの縦方向のサイズを600～1800センチポイントの範囲で、10センチポイント単位で設定できます（工場出荷時は960センチポイント）。

補足

❒1センチポイントは1/7,200インチです。

❖ W. グラフィックスユニット

イメージ印刷のドットの単位、および簡易グラフィックスの単位を設定します。たとえば、「1/240インチ」に設定すると、簡易グラフィックスの1ドットは1/240インチ（1インチ＝約25.4mm）になります。

- 1/400インチ
- 1/240インチ（工場出荷時の設定）
- 1/600インチ
- 1/1200インチ

❖ Y. 文字ストリング

文字ストリングコマンドを受信した後に受信する文字コードを16進コードとして解釈するかどうかを設定します。16進コードを送信できないときに有効な手段となります。

- する
  文字形式の制御コマンドが有効になります。
- しない（工場出荷時の設定）
  通常の文字列として扱われます。

❖ Z. 外字文字数

本機に登録できる外字フォントの文字数を設定します。外字は、外字フォントの登録コマンドで登録可能です。

- 256文字（工場出荷時の設定）
- 512文字
- 768文字
- 1,034文字

❖ A02. 印字モード

印字モードでは、スムージング機能を使用するかどうか、また、トナーをセーブして印刷するかどうかの設定を行います。
スムージング機能とは、文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷する機能です。本機にはスムージング機能が内蔵されていますので、本機の解像度を越えた高品質な印刷ができます。

- トナーセーブモード2
  トナーを節約するときに選択します。薄めに印刷されます。
- スムージングオン（工場出荷時の設定）
  文字や図形の輪郭のギザギザが自動的になめらかになって印刷されます。
- トナーセーブモード1
  トナーを節約するときに選択します。薄めに印刷されます。
- スムージングオフ
  写真やハーフトーンのデータを印刷するときに選択します。

補足

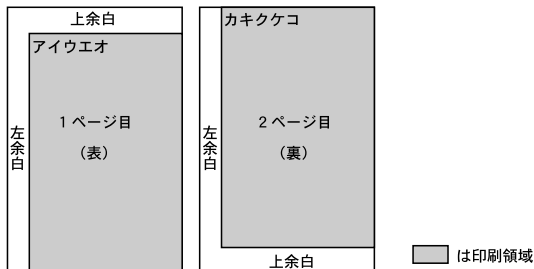
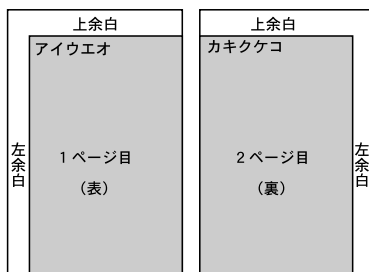
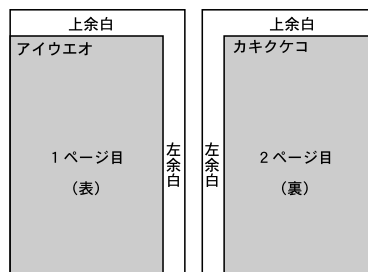
❒ トナーセーブモード1とトナーセーブモード2は、どちらを選択しても同じ動作になります。

❒ トナーセーブモード1またはトナーセーブモード2を選択した場合、細い線が消える、網掛けパターンが出ない、網掛けパターンの濃淡の差がはっきりしなくなるなどの現象が起こることがあります。

❖ A03. 両面とじ方向

両面印刷時のとじ代の位置を選択します。「上とじ」は「上余白」、「左とじ」と「右とじ」は「左余白」で設定した値が、とじ代の幅になります。

- 上とじ
- 左とじ（工場出荷時の設定）
- 右とじ

上とじ

左とじ

右とじ

❖ A04.　エンジン解像度

本機内部での実際の解像度です。

補足

❒「dpi」はDot Per Inchの略で、1インチあたりの描画ドット数を表します。たとえば「600dpi」の設定では、1インチ（約25.4mm）あたり600個の点で描画します。

❖ A06. 両面印刷

両面印刷するかどうかを設定します。

- しない（工場出荷時の設定）
- する

印刷条件リストを印刷する

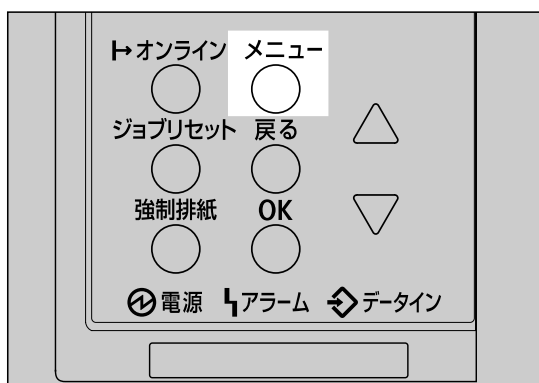
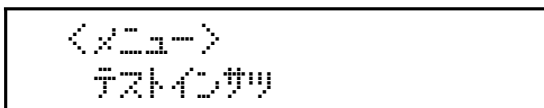
現在設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

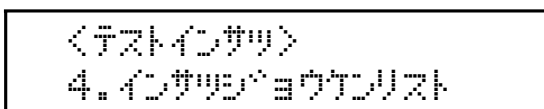
重要

- ❒現在使用しているエミュレーションから他のエミュレーションに切り替えると、現在使用しているエミュレーションの設定内容は初期値に戻ります。
- ❒RPCSなど印刷条件が設定できないエミュレーションを選択しているときは、印刷条件リストを印刷することはできません。

1 **【メニュー】キーを押します。**

2 **【▲】または【▼】キーを押して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<メニュー>
テストインサツ

3 **【▲】または【▼】キーを押して「4.インサツジョウケンリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<テストインサツ>
4.インサツジョウケンリスト

印刷条件リストが印刷されます。

4 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

印刷条件リストの見方

RPDLの印刷条件リストの印刷例です。他のエミュレーションも、印刷条件の部分以外は同様の内容になります。

RPDLⅣ印刷条件一覧

システム構成

バージョン	RPDLⅣ	x.xx	システム	【お使いの機種名】		x.xx.x
メモリ	トータル	196608KB	フリー	19680KB	受信バッファ	128KB
特殊印刷	しない					
紙サイズ	トレイ1	A4	トレイ2	A4	トレイ3	A4R
	手差し	FREE				

印刷条件

1．給紙トレイ	システム　デフォルト	L．上余白	0 mm
2．印刷方向	単票　縦	M．変倍率	100%
3．CR，LF，FF機能	CR, LF・FF+CR	O．半角ピッチ	1/2
4．自動改行	しない	Q．ページ長	11インチ
5．行ピッチ	6LPI	R．イメージ濃度	うすく
6．文字ピッチ	10CPI	T．漢字フォント	明朝
7．ANKフォント	クーリエ　10	U．ANKサイズ	1200　センチポイント
89．国別指定	日本1	V．漢字サイズ	960　センチポイント
A．キャンセルコード	CR	W．ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽﾕﾆｯﾄ	1/240インチ
B．印刷領域	標準	Y．文字ストリング	しない
D．リミットレス給紙	する	Z．外字文字数	256文字
I．スペーシングユニット	1/120, 1/48	A02. 印字モード	スムージング　オン
J．漢字コード	新JIS／JISコード	A04. エンジン解像度	400dpi
K．左余白	0 mm		

プログラムキー登録状況

NO．1	未登録	NO．5	未登録	NO．9	未登録	NO．13	未登録
NO．2	未登録	NO．6	未登録	NO．10	未登録	NO．14	未登録
NO．3	未登録	NO．7	未登録	NO．11	未登録	NO．15	未登録
NO．4	未登録	NO．8	未登録	NO．12	未登録	NO．16	未登録

アサイン　フォント

(0)	COURIER 10	ABCDEFGHIJKLMNOPQRST
(1)	COURIER 10	ABCDEFGHIJKLMNOPQRST
(2)	PRESTIGE ELITE 12	ABCDEFGHIJKLMNOPQRST
(3)	LETTER GOTHIC 15	ABCDEFGHIJKLMNOPQRST
(4)	BOLD FACE PS	ABCDEFGHIJKLMNOPQRST
(5)	CHUMINCYO	ABCDEFGHIJKLMNOPQRST

エラー履歴

エラーなし。

1. **システム構成**

本機のシステム構成が印刷されます。

2. **印刷条件**

本機の印刷条件が印刷されます。印刷条件について詳しくはP.274 「RPDLの印刷条件一覧」を参照してください。

3. **プログラムキー登録状況**

本機に登録されているプログラムが印刷されます。プログラムについて詳しくはP.286「よく使う印刷条件を登録する」を参照してください。

4. **アサインフォント**

そのモジュールで使用できるフォントが印刷されます。

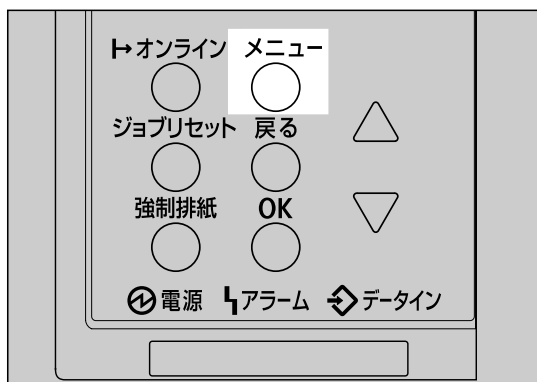
5. **エラー履歴**

エラーの記録が印刷されます。

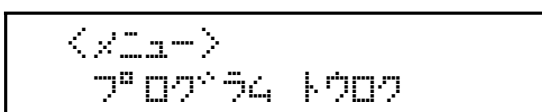
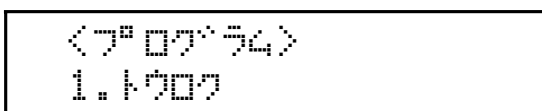
よく使う印刷条件を登録する

プログラムを登録する

設定した印刷条件をプログラム登録できます。

1 【メニュー】キーを押します。

ATD011S

2 【▲】または【▼】キーを押して「プログラムトウロク」を表示させ、【OK】キーを押します。

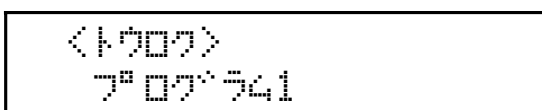
<メニュー>
プ ログ ラム トウロク

3 「1.トウロク」と表示されていることを確認し、【OK】キーを押します。

<プ ログ ラム>
1.トウロク

4 【▲】または【▼】キーを押して登録先のプログラム番号を表示させ、【OK】キーを押します。

登録済みのプログラム番号には、登録時のエミュレーションが表示されます。

登録済みのプログラム番号を指定して登録し直すと、新たな登録内容に書き換えられます。

登録済みのプログラム番号を指定して[OK]キーを押すと、「ウワガキトウロクスルバアイハOKキーヲオシテクダサイ」と表示されます。上書きするときは、[OK] キーを押します。新たな登録内容に書き換えられます。

<トウロク>
プ ログ ラム1

プログラムが登録されたことを示すメッセージが表示されます。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

参照

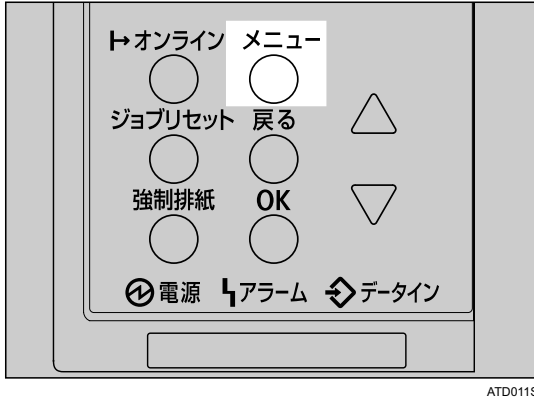
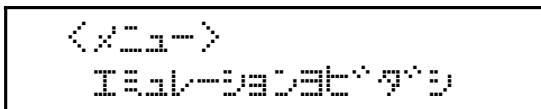
印刷条件の設定項目については、P.276 「RPDLの印刷条件の設定項目」を参照してください。
設定した印刷条件は、印刷条件リストで内容を確認できます。P.284 「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

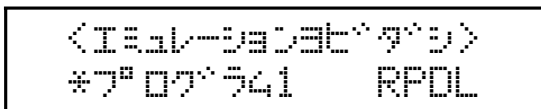
10

プログラムを呼び出す

登録したプログラムを呼び出します。

1 【メニュー】キーを押します。

2 【▲】または【▼】キーを押して「エミュレーションヨビダシ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ﾒﾆｭｰ>
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ

3 【▲】または【▼】キーを押して目的のプログラムを選択し、【OK】キーを押します。

<ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ>
*ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ1　　RPDL

プログラムが呼び出され、プログラム番号が画面に表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ　　ﾄﾚｲ1
RPDL　　1　　A4ﾀﾃ

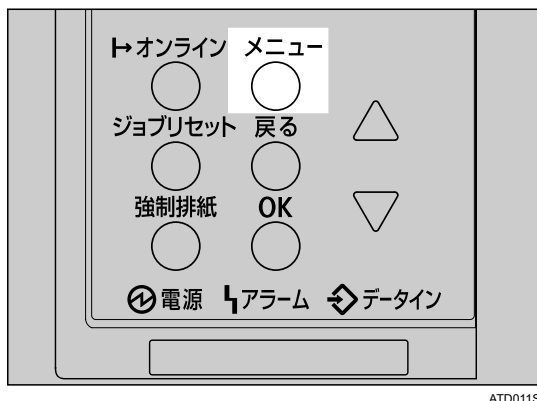
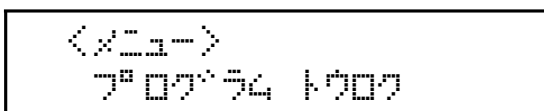
選択したプログラム番号が画面に表示されていることを確認してください。

プログラムを削除する

操作部で登録したプログラムを消去できます。

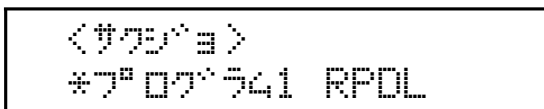
1 【メニュー】キーを押します。

2 【▲】または【▼】キーを押して「プログラムトウロク」を表示させ、【OK】キーを押します。

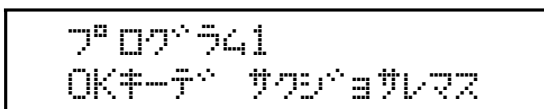
```
<ﾒﾆｭｰ>
 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾄｳﾛｸ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して「2.サクジョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ>
2.ｻｸｼﾞｮ
```

4 【▲】または【▼】キーを押して削除するプログラムを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｻｸｼﾞｮ>
*ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ1 RPDL
```

確認のメッセージが表示されます。

5 【OK】キーを押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ1
OKｷｰﾃﾞ ｻｸｼﾞｮｻﾚﾏｽ
```

選択したプログラムが削除されます。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

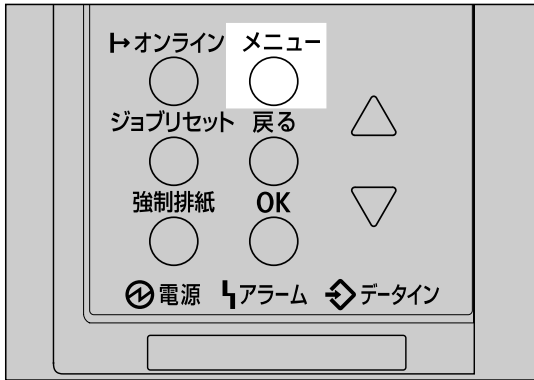
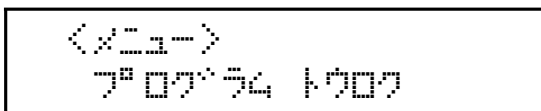
プログラムの内容を印刷する

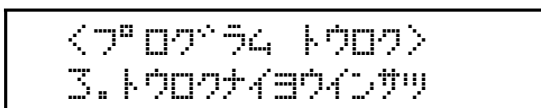
操作部で登録したプログラムの内容を、印刷して確認できます。

現在呼び出されているプログラムの登録一覧を印刷します。呼び出されているプログラム以外の登録一覧を印刷する場合は、P.287「プログラムを呼び出す」を参照してプログラムを呼び出してください。

1 【メニュー】キーを押します。

2 【▲】または【▼】キーを押して「プログラム トウロク」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 &lt;ﾒﾆｭｰ&gt;
  ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾄｳﾛｸ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して「3.トウロクナイヨウインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 &lt;ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾄｳﾛｸ&gt;
 3.ﾄｳﾛｸﾅｲﾖｳｲﾝｻﾂ
```

登録されているプログラム内容が印刷されます。

4 【オンライン】キーを押します。

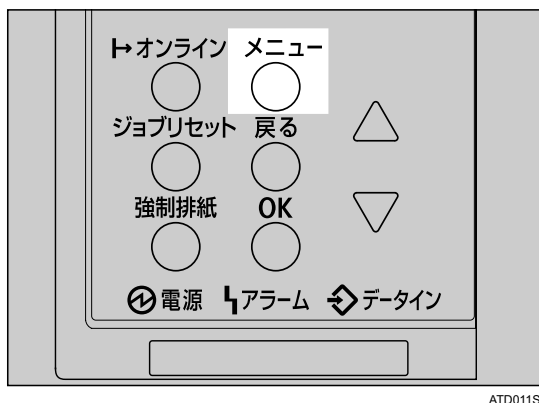
通常の画面に戻ります。

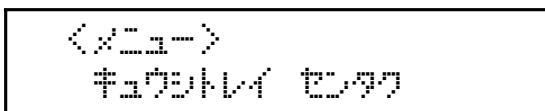
10

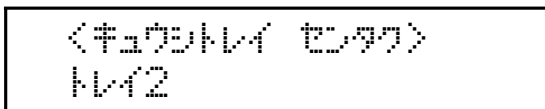
給紙トレイを選択する

操作部を使い、給紙トレイを選択することができます。

1 【メニュー】キーを押します。

ATD011S

2 【▲】または【▼】キーを押して「キュウシトレイ　センタク」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 キュウシトレイ センタク
```

3 【▲】または【▼】キーを押して選択するトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<キュウシトレイ センタク>
トレイ2
```

給紙トレイが選択されます。

4 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

プリンタードライバーの補足情報

不正コピーを抑止する

この機能は、IPSiO SP 4010でRPCSプリンタードライバーを使用するときに有効です。

本機のプリンタードライバーを使用すると不正コピー抑止のための背景地紋と文字列地紋（「コピー禁止」など）をつけて印刷することができます。本機で印刷した文書を他の複写機／複合機でコピーやスキャンしたり、ドキュメントボックスへの蓄積を行うと、地紋を浮き出させることができます。また、オプションの不正コピーガードモジュールが搭載された複写機／複合機でコピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積を行うと、文書全体をグレー地に変換させることができます。

参照

プリンタードライバーの操作については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

不正コピー抑止印刷

プリンタードライバーで不正コピー抑止のための背景地紋と文字列地紋をつけて印刷できます。

本機で印刷した文書を他の複写機／複合機でコピーやスキャンしたり、ドキュメントボックスへの蓄積を行うと、地紋が浮き出るため、不正コピーを抑止できます。

❖ **文字列に「コピー禁止」を入れて印刷した文書の例**

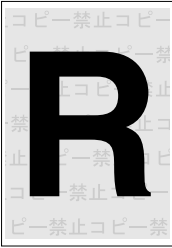
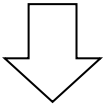
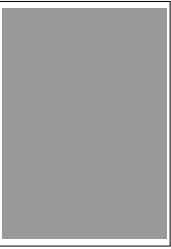
本機でできるのは、文書の印刷のみです。

❖ 不正コピー抑止印刷を行うときの注意事項

重要

- ❒ 不正コピー抑止印刷は、情報漏洩を防止するものではありません。
- ❒ コピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積結果をすべて保証しているものではありません。

制限

- ❒ RPCSプリンタードライバーのみ対応しています。
- ❒ 600dpiより低い解像度で印刷した文書は、コピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積時に地紋効果が得られない場合があります。
- ❒ 印刷するデータに対して、部分的に文字列や模様をつけることはできません。
- ❒「ロゴ」「紋証」等を文字列に入れることはできません。
- ❒ 印刷時間は、使用するパソコンのスペックに依存します。
- ❒ 不正コピー抑止印刷した文書のコピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。

補足

- ❒ 不正コピー抑止印刷のための文字列を効果的に浮き上がらせるために、文字列サイズは70〜80pt（最低50pt）、文字列角度は30〜40度で使用してください。

不正コピーガード機能

プリンタードライバーで不正コピーガードのための地紋をつけて印刷した文書を、不正コピーガードモジュールが装着された複写機／複合機でコピーやスキャンしたり、ドキュメントボックスへの蓄積を行うと、文書の文字や画像をグレー地に変換し、情報漏洩を防止します。

❖ 文字列なし文書と文字列に「コピー禁止」を入れて印刷した文書の例

本機でできるのは、文書の印刷のみです。

補足

- ❒ 不正コピーガード文書には文字列を入れて印刷することも可能です。ただし、不正コピーガードモジュールが装着された複写機／複合機でのコピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積結果は、文字列なし不正コピーガード文書と同様にグレー地に変換されます。
- ❒ 文字列入り不正コピーガード文書を、不正コピーガードモジュールが装着されていない複写機／複合機で、コピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積を行うと地紋効果が現れます。

❖ 不正コピーガードを使用するときの注意事項

制限

- ❒ オプションの不正コピーガードモジュールが装着された複写機／複合機を使用した場合のみ不正コピーガード機能が有効です。
- ❒ 不正コピーガード文書の複写機／複合機でのコピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積結果は、印刷データのレイアウト条件によって異なります。
- ❒ オプションの不正コピーガードモジュールが装着された複写機／複合機でのコピー・スキャン・ドキュメントボックスへの蓄積結果はグレー地となるため、地紋効果は得られません。

補足

- ❒ 用紙サイズは、B5以上をご使用ください。
- ❒ 用紙種類は普通紙、または白色度70%以上の再生紙をご使用ください。
- ❒ 両面印刷は可能ですが、文字や模様が透けることにより、機能が正常に動作しない場合があります。

おことわり

① 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件等によっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しない場合もあります。この点をご理解の上、ご使用ください。

② 不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ネットワークで運用する場合の注意事項

ネットワークにISDN回線を接続している場合

リコー製のネットワークユーティリティには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によってはISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

リモート側のネットワーク上にNetWareのファイルサーバーが存在している場合、プリンターから送出されるパケットによりISDN回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これはNetWareの仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDNルータでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットがISDN回線に流れないように設定してください。

フィルタリングするプリンターのMACアドレス（物理アドレス）は、プリンターから印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。

ルータの設定を変更できない場合は、次に示すプリンターの設定による方法で対応してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWareを使用する場合）

1 本書のセットアップ方法に従い、必ずファイルサーバーを指定します。

Ridoc IO Adminでは、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、[NetWare] タブの [ファイルサーバ名] ボックスにファイルサーバー名を入力します。

2 NetWareの使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。

参照

システム設定リストについて詳しくは、P.101 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

使用するフレームタイプを選択する方法について詳しくは、本機に同梱の使用説明書を参照してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWareを使用しない場合）

1 イーサネットボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択でNetWareを無効にします。

プロトコルを無効にする方法については、＜セットアップガイド＞「インターフェース設定」を参照してください。

DHCPを使用する

本機をDHCP環境で使用することができます。WINSサーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名をWINSサーバーに登録することができます。

- 動作対象のDHCPサーバーは、Windows 2000 Server、Windows Server 2003、Windows NT4.0 Server、NetWare、およびUNIXに標準添付されているDHCPサーバーです。
- 本機がDHCPから取得したIPアドレスは、システム設定リストで確認できます。
- WINSサーバーを使用する場合は、P.296 「WINSサーバーを使用する場合」を参照してWINSサーバーを設定してください。
- WINSサーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。
- WINSサーバーを使用しない場合は、毎回同じ IPアドレスが割り当てられるように、本機に割り当てるIPアドレスをDHCPサーバーで予約してください。
- 複数のDHCPサーバーが存在する場合は、すべてのDHCPサーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答したDHCPサーバーからの情報で動作します。
- ネットワークにISDN回線を接続している環境でDHCPリレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびにISDN回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

参照

システム設定リストの印刷方法は、P.101「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

AutoNet機能を使用する

DHCPサーバーからIPアドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に169.254.xxx.xxxではじまるネットワーク上で使用されていないIPアドレスを自動選択して使用できます。

AutoNet機能を使用するために、telnetでAutoNetの設定を「on」にしてください。

補足

- ❒ AutoNet機能で自動選択されたIPアドレスは、DHCPサーバーがIPアドレスの割り当てを再開すると、DHCPサーバーから割り当てられたIPアドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- ❒ 本機が使用しているIPアドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.101 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ AutoNetモードで動作中の場合、WINSサーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- ❒ AutoNet機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3以降が稼働しているMacintoshとは通信できます。

参照

AutoNetの設定方法について詳しくは、P.158 「autonet」を参照してください。

WINSサーバーを使用する場合

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名をWINS（Windows Internet Name Sarvice）サーバーに登録することができます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP 環境で使用している場合、Ridoc IO Naviのポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターがWINSサーバーを使用できるようにする設定について説明します。

サポートするWINSサーバーは、Windows NT 4.0 Server Service Pack 4以降またはWindows 2000 ServerのWINSマネージャーです。

WINSサーバーの設定については、Windowsのヘルプを参照してください。

WINSサーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。

登録できるプリンター名は、半角英数字で15バイト以内です。

Webブラウザを使用する方法（IPSiO SP 4010の場合）

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

3 ［ログイン］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は「admin」と入力し、パスワードは空欄です。

5 メニューエリアの［設定］をクリックし、［ネットワーク］をクリックして表示される［TCP/IP］をクリックします。

6 ［Ethernet］欄の［WINS］が「有効」になっていることを確認し、［プライマリWINSサーバー］と［セカンダリWINSサーバー］にそれぞれWINSサーバーのIPアドレスを入力します。

7 ［適用］をクリックします。

8 Webブラウザを終了します。

Webブラウザを使用する方法（IPSiO SP 4000の場合）

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Status Monitorのトップページが表示されます。

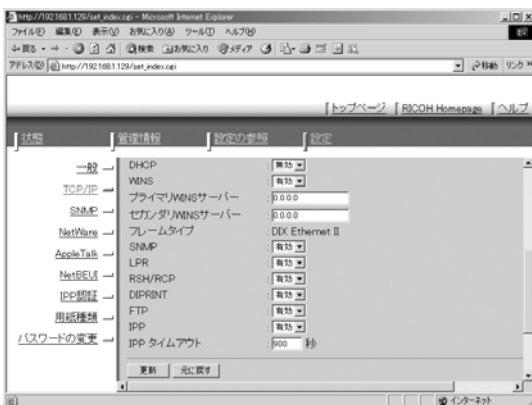
3 ［設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄、パスワードを「ricoh」と入力します。

5 ［TCP/IP］をクリックします。

6 ［WINS］が「有効」になっていることを確認し、［プライマリWINSサーバー］と［セカンダリWINSサーバー］にそれぞれWINSサーバーのIPアドレスを入力します。

7 ［更新］をクリックします。

8 Webブラウザを終了します。

telnetを使用する方法

P.157 「telnetを使う」を参照してください。

ダイナミックDNS機能を使用する

ダイナミックDNSとは、DNSサーバが管理しているレコード（AレコードおよびPTRレコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境にDNSサーバがあり、本機がDNSクライアントである場合、ダイナミックDNS機能によって動的にレコードを更新することができます。

この機能は、IPSiO SP 4010で使用することができます。

更新処理について

本機のIPアドレスが静的かDHCPから取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

ダイナミックDNS機能を使用しない場合、本機のIPアドレスが変更されると、DNSサーバで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。

本機でレコードの更新を実行する場合、DNSサーバの設定が次のどちらかになっている必要があります。

- セキュリティ設定がされていない
- セキュリティ設定で、更新を許可するクライアント（本機）をIPで指定している

❖ 静的IP設定の場合

IPアドレス、ホスト名が変更された場合、本機がAレコード、およびPTRレコードを更新します。また、Aレコードを登録する際に、CNAMEも登録します。登録できるCNAMEは次のとおりです。

- イーサネット、IEEE802.11bの場合
  RNPPRNXX（PRNXXはMACアドレスの下位3バイトの16進数）

❖ DHCP設定の場合

DHCPサーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- 本機がDHCPサーバーからIPアドレスを取得する際、DHCPサーバーがAレコードとPTRレコードを更新
- 本機がDHCPサーバーからIPアドレスを取得する際、本機がAレコードを更新し、DHCPサーバーがPTRレコードを更新

Aレコードを登録する際に、CNAMEも登録します。登録できるCNAMEは次のとおりです。

- イーサネット、IEEE802.11bの場合
  RNPPRNXX（PRNXXはMACアドレスの下位3バイトの16進数）

補足

❒メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG（0））はサポートしていません。

動作対象のDNSサーバー

❖ 静的IP設定の場合

- Windows 2000 Serverに標準添付のMicrosoft DNSサーバー
- BIND8.2.3以降

❖ DHCP設定の場合で本機がAレコードを更新する場合

- Windows 2000 Serverに標準添付のMicrosoft DNSサーバー
- BIND8.2.3以降

❖ DHCP設定の場合で、DHCPサーバーがレコードを更新する場合

- Windows 2000 Serverに標準添付のMicrosoft DNSサーバー
- BIND8.2.3以降
- NetWare 5J以降に標準添付のDNSサーバー

動作対象のDHCPサーバー

本機の代理でAレコード､およびPTRレコードを更新することができるDHCPサーバーは次のとおりです。

- Windows 2000 Server（Service Pack 3以降）に標準添付のMicrosoft DHCPサーバー
- ISC DHCP 3.0以降
- NetWare 5J以降に標準添付のDHCPサーバー

ダイナミックDNS機能の設定方法

telnetでdnsコマンドを使用して設定します。詳細は、P.162 「dns」を参照してください。

SSL（暗号化通信）の設定

この機能はIPSiO SP 4010で、オプションの暗号化カードを装着しているときに使用することができます。

通信経路の保護と暗号化通信ができるように、サーバー証明書を作成、導入します。

サーバー証明書は、機器自身で作成、導入する自己証明書と、任意の認証局に証明書を申請し機器に導入する2つの運用形態があります。

❖ **設定の流れ（自己証明書）**

① サーバー証明書の作成と導入
Web Image Monitorを使用してサーバー証明書を作成、導入します。

② SSLを有効にする
Web Image Monitorを使用し、［SSL/TLS］の設定を有効にします。

❖ **設定の流れ（認証局証明書）**

① サーバー証明書の作成
Web Image Monitorを使用し、サーバー証明書を作成します。
証明書の作成後の申請や内容は認証局によって異なるため、認証局の要求する申請方法にしたがって手続きします。

② サーバー証明書の導入
Web Image Monitorを使用し、サーバー証明書を導入します。

③ SSLを有効にする
Web Image Monitorを使用し、［SSL/TLS］の設定を有効にします。

サーバー証明書の作成と導入（自己証明書）

Web Image Monitorを使用し、サーバー証明書を作成、導入します。

サーバー証明書に、自己証明書を利用する場合の説明です。

1 **Webブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**

3 **本機にログインします。**

ネットワーク管理者がログインします。ログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

4 **［設定］、［セキュリティ］、［サーバー証明］の順にクリックします。**

［サーバー証明］エリアが表示されます。

5 **［作成］をクリックします。**

6 **必要な設定項目を入力します。**

参照

表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

7 **［OK］をクリックします。**

設定が書き換えられます。

8 **［OK］をクリックします。**

セキュリティの警告に関するダイアログが表示されます。

9 内容を確認して［はい］をクリックします。

［証明書状態］に［導入済み］が表示され、本機にサーバー証明書が導入されます。

10 本機からログアウトします。

補足

❒本機からサーバー証明書を削除する場合は、［削除］をクリックします。

サーバー証明書の作成（認証局証明書）

Web Image Monitorを使用し、サーバー証明書を作成します。

サーバー証明書に、認証局証明書を利用する場合の説明です。

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

3 本機にログインします。

ネットワーク管理者がログインします。ログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

4 ［設定］、［セキュリティ］、［サーバー証明］の順にクリックします。

［サーバー証明］エリアが表示されます。

5 ［要求］をクリックします。

6 必要な設定項目を入力します。

参照

表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

7 ［OK］をクリックします。

［SSLサーバー証明］エリアの［証明書状態］に［要求中］が表示されます。

［要求の内容］に表示された文字列を認証局に申請します。

8 本機からログアウトします。

9 サーバー証明書を認証局に申請します。

申請方法は、認証局により異なります。申請先の認証局に確認してください。

また、申請に必要な情報は、Web Image Monitorで作成したデータを利用してください。

補足

❒Web Image Monitorを使用してサーバー証明書を作成することができますが、申請の提出をできるものではありません。

❒サーバー証明書の要求を取りやめる場合は、［取りやめ要求］をクリックします。

サーバー証明書の導入（認証局証明書）

Web Image Monitorを使用し、サーバー証明書を導入します。

サーバー証明書に、認証局証明書を利用する場合の説明です。認証局から送られてきたサーバー証明書の内容を導入します。

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレス)/」と入力し、本機にアクセスします。

3 本機にログインします。

ネットワーク管理者がログインします。ログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

4 [設定]、[セキュリティ]、[サーバー証明]の順にクリックします。

[サーバー証明]エリアが表示されます。

5 [導入]をクリックします。

6 サーバー証明書の内容を入力します。

[証明書要求]の入力ボックスに認証局から送られてきたサーバー証明書の内容を入力します。

参照

表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

7 [OK]をクリックします。

[証明書状態]に[導入済み]が表示され、本機にサーバー証明書が導入されます。

8 本機からログアウトします。

SSLを有効にする

本機にサーバー証明書を導入後、SSLの設定を有効にします。

この設定は、サーバー証明書が自己証明書を利用する場合、または認証局証明書を利用する場合のどちらにも共通の設定方法です。Web Image Monitorを使用し、管理者モードで設定します。

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレス)/」と入力し、本機にアクセスします。

3 本機にログインします。

ネットワーク管理者がログインします。ログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

4 [設定]、[セキュリティ]、[SSL/TLS]の順にクリックします。

[SSL/TLS設定]エリアが表示されます。

5 [SSL/TLS]の[有効]をクリックします。

6 [適用]をクリックします。

SSLの設定が有効になります。

7 本機からログアウトします。

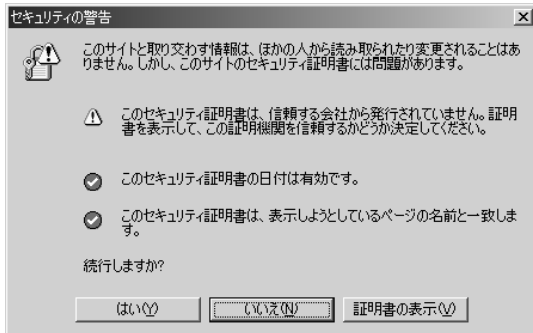
補足

❒ [SSL/TLS通信許可設定]を[暗号化のみ]に設定した場合、本機にアクセスするときは、「https://(本機のアドレス)/」と入力します。

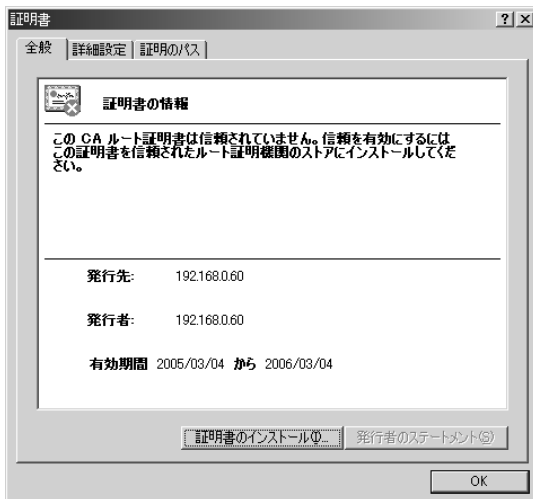
SSL（暗号化通信）のユーザーの設定

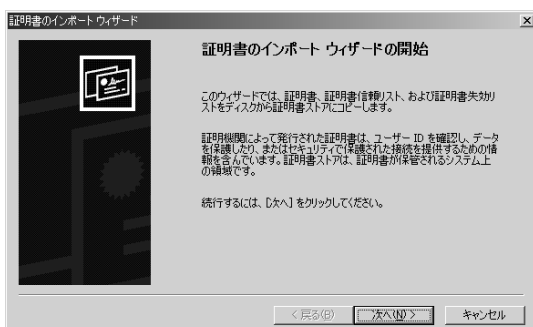
本機にサーバー証明書を導入し、SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、ユーザーのパソコンに証明書をインストールする必要があります。ネットワーク管理者から証明書のインストールについて、各ユーザーに伝えてください。

WebブラウザやIPPで本機にアクセスするとき、セキュリティに関する警告ダイアログが表示された場合、［証明書のインポートウィザード］を起動し、証明書をインストールしてください。

1 セキュリティに関するダイアログが表示された場合、［証明書の表示］をクリックします。

［証明書］が表示されます。

証明書の内容を確認し、証明書の有効期限が切れているなどの問題でユーザーから問い合わせがある場合は、適切な対応をしてください。

2 ［全般］タブから［証明書のインストール］をクリックします。

［証明書のインポートウィザード］が表示されます。

3 ［証明書のインポートウィザード］にしたがって、証明書をインストールします。

補足

- ❒本機に導入しているサーバー証明書が認証局証明書の場合は、認証局に証明書ストアの場所を確認してください。

参照

IPPで本機にアクセスするときの証明書ストアの場所は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

Windowsターミナルサービス/MetaFrameを使用する場合

Windowsターミナルサービス/MetaFrameを使用する方法の説明です。

動作環境

使用可能なOSとMetaFrameとの組み合わせは次のとおりです。

❖ Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition

- MetaFrame 1.8 （SP3/FR1+SP3/SP4/FR1+SP4）
- MetaFrame XP （SP1/FR1）

❖ Windows 2000 Server

- MetaFrame 1.8 （SP3/FR1+SP3/SP4/FR1+SP4）
- MetaFrame XP （SP1/SP2/FR1/FR1+SP2/FR2/SP3/FR1+SP2/FR2+SP3/FR3）
- MetaFrame Presentation Server 3.0

❖ Windows Server 2003

- MetaFrame XP（FR3）
- MetaFrame Presentation Server 3.0

制限

動作が制限される環境についての説明です。

❖ 「Windowsターミナルサービス」動作時

Windows NT Server 4.0 Terminal Server EditionまたはWindows 2000 Serverファミリでターミナルサービスを実行している環境でRidoc IO Naviをインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。インストールモードでインストールを行うには、次の2通りの方法があります。

① ［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］を使用してRidoc IO Naviをインストールします。

② MS-DOSコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /INSTALL
```

インストールモードを終了するには、MS-DOSコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /EXECUTE
```

補足

❒ 詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

❖ 印刷時

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生する場合があります。事前検証のうえ、運用してください。

❖「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、MetaFrameサーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、MetaFrameサーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDNなどの電話回線を利用したWAN環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- MetaFrame XP 1.0以降をご使用の場合は、「Citrix管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。
- サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処方法を行ってください。
    - MetaFrame 1.8 SP3/FR1+SP3/SP4、MetaFrame XP1.0 SP1/SP2/SP3/FR1
    レジストリにて「完了していない印刷ジョブを削除する」設定を実施します（詳細についてはMetaFrameのReadmeを参照してください）。
    - MetaFrame XP1.0 FR2/FR3
    - MetaFrame Presentation Server 3.0
    Citrix管理コンソールの「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

❖「プリンタードライバーの複製機能」使用時

事前検証のうえ、運用してください。
正しく複製がされない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

❖ RPDLドライバーを使用される場合

ユニバーサルプリンタードライバー利用時（MetaFrame XP 1.0 FR1、FR2）、クライアント側のドライバーがRPDLドライバー（RPDLミニドライバー含む）の場合、用紙サイズいっぱいに描画されたデータが、一部切れて印刷されてしまう場合があります。この場合は、印刷領域を「拡張」もしくは「最大」に設定して、ご使用ください。

参照

制限事項の詳細については、リコーホームページを参照してください。

10

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

expat（Ver 1.95.2）について

本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェア（以下、ソフトウェア）にはexpat Ver 1.95.2（以下expat1.95.2）を下記の条件のもとで使用しています。

- expat1.95.2を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat 1.95.2の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

補足

❒expat1.95.2 に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。
http://expat.sourceforge.net/

NetBSDについて

1.Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

JPEG LIBRARY

- The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

samba（Ver 2.2.2-ja-1.1）について

本製品に搭載しているSMB送信機能ではsamba ver 2.2.2-ja-1.1（以下samba 2.2.2-ja-1.1）を使用しています。

Copyright (C) Andrew Tridgell 1994-1998

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details. You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 675 Mass Ave, Cambridge, MA 02139, USA.

本製品に搭載しているSMB送信機能に関するソースコードは次のURLが示すWWWサイトより入手が可能です。

http://support-download.com/services/scbs

10

RSA BSAFE®

- This product includes RSA BSAFE® cryptographic or security protocol software from RSA Security Inc.
- RSA is a registered trademark and BSAFE is a registered trademark of RSA Security Inc.in the United States and/or other countries.
-

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

商標

- Macintosh、Mac OS、Apple、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriterは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- BMLinkSは、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- UPnP™; is a trademark of the UPnP™; Implementers Corporation.
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
* Windows® XPの製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows Server 2003の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Web Edition
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

重要

- ❒ 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- ❒ 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP 4010/SP 4000 ソフトウェアガイド

消耗品に関するお問い合わせ

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文はお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスのお問い合わせは最寄りのサービス実施店にご連絡ください。転居の際は、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

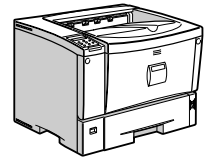
リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル」にご連絡ください。

コールはイプシオ
0120-56-1240
FAX 0120-479-417

● 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）
※対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音をさせていただいております。

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。
● インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA　　2006年7月　　G110-8602